TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝デジタル複合機

印刷ガイド

GA-1190J

●このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機 e-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この**印刷ガイド**は、以下のオプションを装着したe-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207用の説明書です。
- ネットワークプリンタユニット

この印刷ガイドでは、クライアントソフトウェアのインストール、プリンタドライバの使いかたなど、コンピュータから本機へ印刷するために必要なことを説明しています。
本機をネットワークプリンタとして使用するためのネットワークサーバーおよび各クライアントのセットアップ情報については、**ネットワーク管理ガイド[印刷編]**を参照してください。また、お使いのコンピュータ、アプリケーションソフトウェア、およびネットワークに関する概要については、それぞれの製品に付属している取扱説明書を参照してください。

印刷機能を使用する前に、本書をよくお読みください。また、本書をお手元に置いて、大切に保管してください。

使用許諾契約書

この契約は、お客様と東芝テック株式会社(以下「東芝テック」という)および/または東芝テックのサプライヤー(以下「サプライヤー」という)との間の契約です。ソフトウェアパッケージを開封するか或いはソフトウェアの使用を開始する事をもってお客様はこの契約に同意したことになります。契約条項を承認できない場合は、速やかにソフトウェアパッケージ及びマニュアル等の付属品をご返送ください。

ソフトウェアならびに印刷物(マニュアルなどの文書)の著作権を含む知的財産権その他権利は「東芝テック」(東京都品川区東五反田2丁目17番2号)および/または「サプライヤー」が保有しております。

1.定義

"ソフトウェア"とはプリンタドライバソフトウェア, TWAINドライバソフトウェアおよび本製品と一緒に提供されるCDに含まれるソフトウェアをいいます。

"指定機器"とは、お客様がソフトウェアと共に購入した本製品を言います。

2.使用許諾

お客様は、指定機器の各種機能を動作させる目的にのみソフトウェアを使用することができます。

お客様はソフトウェアを貸与またはリースすることはできません。

お客様は、本契約条項に明示されている場合を除き、ソフトウェアを使用、複製、修正、逆コンパイル、逆アセンブル又はその他いかなる方法によってもソフトウェアを変更することはできません。

前号の規程にかかわらず、お客様はバックアップ用としてソフトウェアを一部複製することができます。尚、複製物に含まれる著作権表示について、修正、削除等は行うことができません。

お客様は、ソフトウェアに付随するマニュアル及びその他印刷物を複製できません。

3.期間

お客様は、「東芝テック」および/または「サプライヤー」に対し文書にて通知することにより、いつでもこの契約を解約することができます。また、お客様がこの契約の条項に違反した場合には、この契約は自動的に解除されます。いずれの場合も、お客様には、「東芝テック」および/または「サプライヤー」からの連絡内容に従って、ソフトウェア及びそのバックアップを破棄もしくは返却していただきます。

4.保証

①「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、お客様が、ソフトウェアと共に　本製品を購入した日から90日以内は、ソフトウェアが記録されている媒体が通常の使用においては、材質、製造上、もしくは記録上の欠陥がないことを保証します。

②「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、ソフトウェアに含まれる機能がお客様の要件を満たしていること及びソフトウェアの動作が常に欠陥のない状態であることを保証するものではありません。

③「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、本項目上記①の保証以外はいかなる場合においても、明示又黙示の保証や表明をせず、一切責任を負いません。ソフトウェアに関し、第三者の権利の不侵害および、商品適合性またはある特定の使用目的への適合性を含み、またこれに限定せず、いかなる黙示の保証も否認されます。

④「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、ソフトウェアの使用または使用不能から発生する直接、間接、特別、偶発的または付随的障害につき、かかる損害を含み、またこれに限定せず、いかなる損害に対する補償を一切いたしません。

5.一般事項

お客様は、ソフトウェアについて、第三者に使用権を設定し、または譲渡することはできません。
お客様は、本契約をお読みになり、上記の条項を承認したことをご確認されたものとし、さらに本契約は、ソフトウェアに関する唯一完全な契約であり、かつ、本契約はお客様が本契約の主要事項に関連して受け取ったいかなる情報にも優先することに同意されたものとします。
本契約は日本国の法律あるいは、「サプライヤー」の選択により、本契約により生じた紛争及び本契約に関連する紛争に関して、関連する「サプライヤー」の指定した国の法律に準拠するものとします。

本書をお読みになる前に

取扱説明書の構成

e-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207の取扱説明書は、以下のように構成されています。目的に応じて適切な取扱説明書をお読みください。なお、本書は**印刷ガイド**です。

基本機能

取扱説明書［コピー編］（冊子）
コピー機能を中心に、本機の基本的な使いかたを説明しています。また、必ず守っていただきたい安全上のご注意も記載しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

ファクス機能

ファクス機能を使用するためには、オプションのファクスキットGD-1221Jが必要です。

取扱説明書［ファクス編］（冊子）
ファクス機能の使いかたを説明しています。ファクスの送信/受信に関して、基本的なものから応用的なものまで、あらゆる機能を使用することができます。

印刷機能

印刷機能を使用するためには、オプションのネットワークプリンタユニットGA-1190Jが必要です。

クイックスタートガイド［印刷編］（冊子）
GA-1190Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、印刷機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。印刷機能を使用する前に必ずお読みください。

ネットワーク管理ガイド［印刷編］（PDFファイル）
ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築して印刷機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[印刷編](PDFファイル)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編:　本機の操作パネルによる印刷関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編:　付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

印刷ガイド(PDFファイル、本書です)

クライアントソフトウェアのインストール、プリンタドライバの使いかたなど、コンピュータから本機へ印刷するために必要なことを説明しています。

ネットワークファクスガイド(PDFファイル)

クライアントソフトウェアのインストール、N/W-Faxドライバの使いかた、付属アプリケーションソフトウェア「AddressBook Viewer」の使いかたなど、コンピュータからネットワークを経由してファクス送信するために必要なことを説明しています。

スキャン機能

スキャン機能を使用するためには、オプションのスキャナアップグレードキットGA-1200Jが必要です。

クイックスタートガイド[スキャン編](PDFファイル)

GA-1200Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、スキャン機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。スキャン機能を使用する前に必ずお読みください。

ネットワーク管理ガイド[スキャン編](PDFファイル)

ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築してスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[スキャン編](PDFファイル)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編:　本機の操作パネルによるスキャン関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編:　付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

スキャンガイド(PDFファイル)

TWAINドライバのインストールや使いかた、各種スキャン機能の使いかたなど、本機でスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

PDFファイル形式の取扱説明書を読むには

PDF(Portable Document Format)ファイル形式の取扱説明書は、コンピュータにインストールされたAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerにより表示/印刷することができます。お使いになるコンピュータにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードするなどして、あらかじめインストールしておいてください。

本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

注 意　操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補 足　操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

商標について

- Windows 98の正式名称は、Microsoft Windows 98 Operating Systemです。
- Windows Meの正式名称は、Microsoft Windows Me Operating Systemです。
- Windows 2000の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating Systemです。
- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、TrueTypeおよびLaserWriterは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Netscapeは、Netscape Communications Corporationの商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

©2007, 2008 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved
本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

目次

はじめに 1

使用許諾契約書 2

本書をお読みになる前に 4

第1章　概要

特長および機能について 10

Client Utilities CD-ROMについて 11
- Windows 11
- Macintosh 12
- UNIX 12

使用できる用紙の種類について 13
- 用紙の種類 13
- 封筒に印刷するには 15

第2章　クライアントソフトウェアをインストールする

Windowsクライアントソフトウェアをインストールする 20
- Windowsのクライアントソフトウェアについて 20
- 計画と準備 20
- Windowsクライアントソフトウェアのインストール手順一覧 26
- プリンタドライバをインストールする（USB印刷） 28
- プリンタドライバをインストールする（Raw TCP/LPR印刷） 38
- プリンタドライバをインストールする（IPP印刷） 67
- クライアントソフトウェアをインストールする（Novell印刷） 87
- プリンタドライバをインストールする（iPrint印刷） 121
- プリンタドライバをアンインストールする 122

Macintoshクライアントソフトウェアをインストールする 129
- Macintoshのクライアントソフトウェアについて 129
- 計画と準備 129
- Macintoshクライアントソフトウェアのインストール手順一覧 130
- プリンタをインストールする（Mac OS 8.6/9.x） 130
- プリンタをインストールする（Mac OS X 10.2.4～10.4.x） 136

Macintosh PPDをアンインストールする 158

UNIXクライアントソフトウェアをインストールする 159
- UNIXクライアントソフトウェアのインストール手順一覧 159
- CUPSを設定する 159

第3章　印刷する

Windowsアプリケーションから印刷する 176
- プリンタドライバを使用する前に 176

アプリケーションから印刷する 183
印刷オプションをセットアップする 186
さまざまな機能を使って印刷する 210

Macintoshアプリケーションから印刷する 224
アプリケーションから印刷する（Mac OS 8.6/9.x） 224
アプリケーションから印刷する（Mac OS X 10.2.4〜10.4.x） 239

UNIX環境から印刷する 259
アプリケーションから印刷する 259

第4章　トラブルシューティング

印刷を実行できない 262

プリンタドライバエラー 263
プリンタドライバインストールエラーメッセージ 263
プリンタドライバエラー 265

その他のエラー 268
プリントスプーラに表示される日本語ファイル名が文字化けする 268
印刷できない 268

第5章　付録

内蔵フォント一覧 270
内蔵PCLフォント一覧 270
内蔵PSフォント一覧 271

索引 273

1

概要

本章では、各印刷機能の概要を説明します。

特長および機能について 10

Client Utilities CD-ROMについて 11

Windows...11
Macintosh..12
UNIX..12

使用できる用紙の種類について..13

用紙の種類 13
封筒に印刷するには 15

特長および機能について

サポートするクライアントプラットフォーム
本機は、IBM互換PCおよびMacintosh、UNIXワークステーションをサポートしています。（ただし、プラットフォームによってサポートする機能は異なります。）

多様なポートオプション
IPP、Raw TCP、LPRポートの印刷をサポートしています。

多様な印刷ジョブ
印刷ジョブの種類を用途によって使い分けることができます。
- 通常印刷は特別な設定を必要としません。通常は、この印刷モードを使用します。
- オーバーレイイメージファイルを使用して、指定したオーバーレイイメージファイルに保存されたテキストやグラフィックを印刷文書の背景に印刷します。

レイアウトの変更とページ組みオプション
アプリケーションで作成した文書をそのまま印刷する以外に、両面左右開き印刷や複数ページを１枚の用紙に印刷するなど、レイアウトを変更して印刷することができます。
また、表紙印刷や裏表紙印刷を利用することにより、表紙や裏表紙を別の給紙元から印刷することができます。

ウォーターマークとオーバーレイイメージ
ウォーターマークは、印刷する文書に指定の文字列を重ねた状態で用紙に印刷する機能です。ウォーターマークによって、印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。代表的なウォーターマークとして、「コピー」や「ドラフト」「社外秘」などがあります。いくつかのウォーターマークは用意されていますが、ウォーターマークに使用する文字は自分で作成することもできます。
オーバーレイイメージは、ウォーターマークと異なり、テキストだけでなくグラフィックなどを含んだドキュメントをオーバーレイイメージファイルに変換し、透過した状態で文書の背面に印刷することができます。グラフィックを使用するため、通常のテキストウォーターマークより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より文書に適応したウォーターマークを印刷したい場合に便利です。

Client Utilities CD-ROMについて

Windows

印刷用として、下記のコンテンツがClient Utilities CD-ROMに収録されています。

クライアントソフトウェア・インストーラ

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥setup.exe
  各プリンタドライバを、お使いのコンピュータへインストールするセットアッププログラムが収録されています。

PCL6プリンタドライバ

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥9X_ME￥PCL6￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用してWindows 98/Me環境へPCL6プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥NT￥PCL6￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」を使用してWindows NT 4.0環境へPCL6プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥W2K_XP_VISTA￥PCL6￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用してWindows 2000/XP/Server 2003/Vista環境へPCL6プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥XP_VISTA_X64￥PCL6￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用してWindows XP/Server 2003/Vista 64ビット版へPCL6プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

PS3プリンタドライバ（PostScript）

- ［Client Utilities CD-ROM］:￥9X_ME￥PS￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用してWindows98/Me環境へPS3プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥NT￥PS￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」を使用してWindows NT 4.0環境へPS3プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥W2K_XP_VISTA￥PS￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用してWindows 2000/XP/Server 2003/Vista環境へPS3プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:￥XP_VISTA_X64￥PS￥JPN￥
  「プリンタの追加ウィザード」または「プラグアンドプレイ」を使用してWindows XP/Server 2003/Vista 64ビット版へPS3プリンタドライバをインストールするためのセットアップファイルが収録されています。

補 足

Windows用プリンタドライバに関する詳細は、下記を参照してください。
P.20「Windowsのクライアントソフトウェアについて」

Macintosh

印刷用として、下記のコンテンツがClient Utilities CD-ROMに収録されています。

Macintosh PPDファイル

- ［Client Utilities CD-ROM］:MacPPD:OS9:JPN
  Mac OS 8.6、Mac OS 9.xおよびMac OS X 10.1/10.2 Classic環境からの印刷に使用するLaserWriter8プリンタドライバ用PPDファイルが収録されています。
- ［Client Utilities CD-ROM］:MacPPD:OSX
  Mac OS X 10.2.4～10.4.x環境での印刷に使用するPPDファイルが収録されています。

補 足

Macintosh用PPD（PostScriptプリンタ記述）ファイルに関する詳細は、下記を参照してください。

P.129「Macintoshのクライアントソフトウェアについて」

UNIX

印刷用として、下記のコンテンツがClient Utilities CD-ROMに収録されています。

CUPS PPDファイル

- ［Client Utilities CD-ROM］/Admin/CUPS/ENG/
  UNIX用PPDファイルが収録されています。

補 足

UNIX用印刷システムCUPS（Common Unix Printing System）に関する詳細は、下記を参照してください。

P.159「CUPSについて」

使用できる用紙の種類について

ここでは、本体で印刷できる用紙の種類について説明します。クライアントコンピュータから本体に印刷することのできる用紙の種類は、封筒を除き、本体でコピーできる用紙の種類と同一です。封筒はクライアントコンピュータからのみ印刷できます。

用紙の種類

本体の給紙カセットおよびオプションの多段給紙装置のカセットでは、以下の用紙を使用できます。

コピー時およびクライアントコンピュータから印刷時に使用できる用紙の種類

給紙元	用紙の種類	用紙サイズ	セット可能枚数*1
本体および、オプションの給紙ユニットのカセット	普通紙 (64〜80 g/m^2)	AB系列：A3、A4、A4-R、B4、B5、B5-R、FOLIO LT系列：LD、LG、LT、LT-R、COMP	250枚 (64 g/m^2) 250枚 (80 g/m^2)
オプションの多段給紙装置のカセット	普通紙 (64〜80 g/m^2)	AB系列：A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO LT系列：LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP	550枚 (64 g/m^2) 550枚 (80 g/m^2)
手差しトレイ	普通紙 (64〜80 g/m^2)*2	AB系列：A3、A4、A4-R、A5-R、B4、B5、B5-R、FOLIO LT系列：LD、LG、LT、LT-R、ST-R、COMP	100枚 (64 g/m^2) 100枚 (80 g/m^2)
	厚紙1 (81〜105 g/m^2)*3		1枚 (81〜105 g/m^2)
	厚紙2 (106〜163 g/m^2)*3		1枚 (106〜163 g/m^2)
	トレーシング ペーパー (75 g/m^2)*3		1枚
	ラベル紙*3	A4のみ	1枚
	OHPフィルム*3、*4	A4のみ	1枚
	はがき (190 g/m^2)*3、*5	100 mm × 148 mm（R方向のみ）	1枚

＊1　東芝推奨紙を使用した場合の枚数です。推奨紙については**取扱説明書［コピー編］**を参照してください。
＊2　手差しトレイに1枚ずつセットする場合は、50〜63 g/m^2の用紙も使えます。
＊3　自動両面コピーはできません。
＊4　OHPフィルムは必ず弊社指定のものをお使いください。指定以外のOHPフィルムを使用すると故障の原因となることがあります。
＊5　郵便はがきのみ使用できます。インクジェット用はがき、写真用はがき、折り目付き往復はがき、私製はがきは使用できません。

注 意

- 1つのカセットに、種類の異なる用紙を混ぜてセットすることはできません。
- LT系列とは、北米で使用されている定形サイズです。

補足

LT系列の用紙サイズの略号は以下のとおりです。
LT：レター、LD：レジャー、LG：リーガル、ST：ステートメント、COMP：コンピュータ

封筒の種類（クライアントコンピュータから印刷）

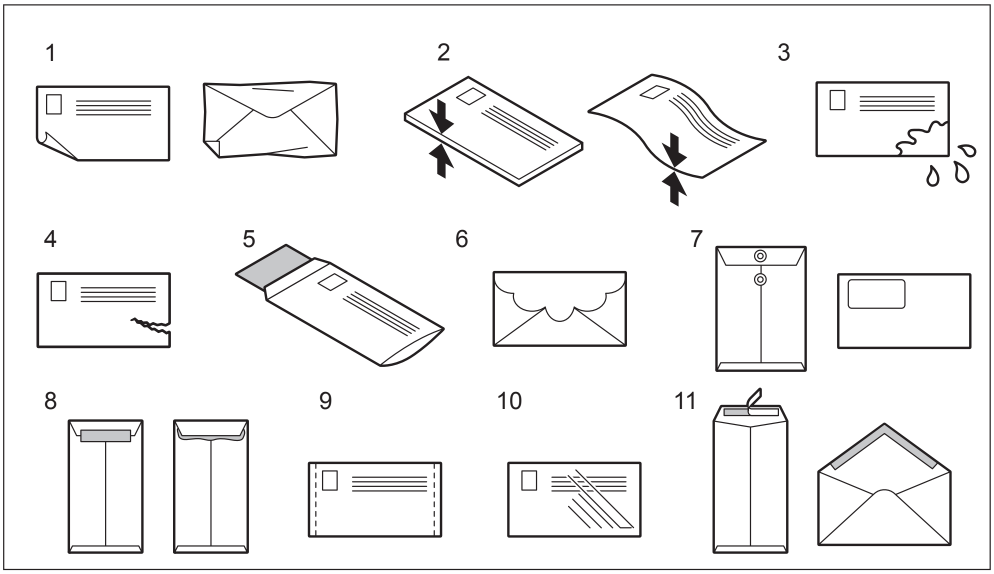
給紙元	封筒のサイズ	推奨封筒
手差しトレイ	長形3号（120 mm × 235 mm）	(株)イムラ封筒フレッシュトーン長3 100 g/m^2 N3U-554N（ホワイト）
	洋形4号（105 mm × 235 mm）	菅公工業(株)うずまき封筒 カスタム･4 ヨ704
	DL（110 mm × 220 mm）	−
	COM10(4 1/8" × 9 1/2")	Westvaco Columbian
	Monarch(3 7/8" × 7 1/2")	MailWell No. 553

封筒に印刷するには

使用できない封筒

紙づまりや故障の原因となりますので、以下のような封筒は使用しないでください。
※以下の項目番号は図中の番号に対応しています。

1. 大きくカールしている封筒、しわや折り目のある封筒
2. 厚すぎる封筒、薄すぎる封筒
3. ぬれている封筒、湿っている封筒
4. 破れている封筒
5. 中身が入っている封筒
6. 定形外の封筒（封筒の形が特殊なもの）
7. 留め金や窓が付いている封筒
8. 接着剤やセロファンテープなどで封を閉じている封筒
9. 穴が開いている封筒、ミシン目がある封筒
10. 表面に特殊コーティングを施した封筒
11. 封印用の糊や両面テープが付着している封筒

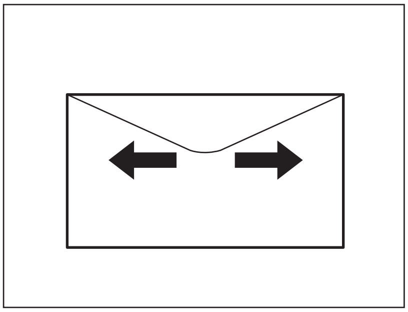


印刷方法

注 意

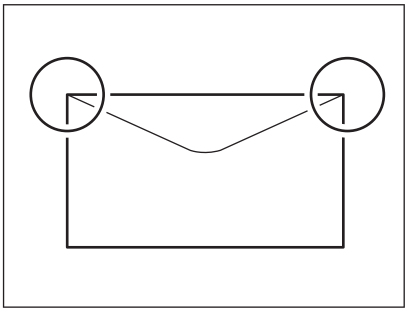
封筒への印刷はWindowsコンピュータからのみ可能です。

1 汚れのない平らな場所に封筒を1枚置き、矢印の方向に手で伸ばし、封筒の中の空気を抜きます。



注 意

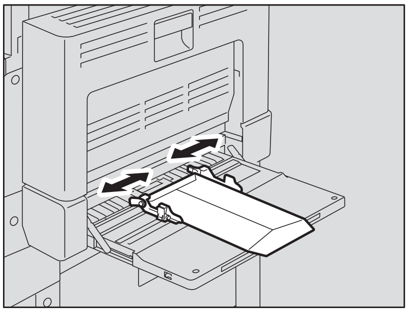
- 封筒の角が反っている場合は、必ずまっすぐにならしてください。
- 封の部分がめくれないように、よく押さえてください。



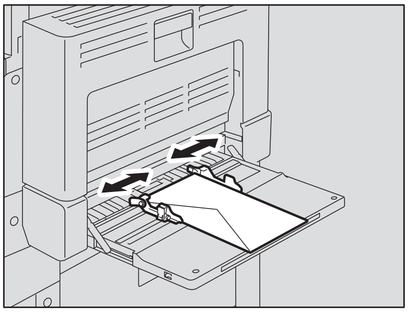
2 印刷したい面を下にして封筒(1枚のみ)を手差しトレイにまっすぐにセットし、サイドガイドを封筒の幅に合わせます。

封筒の形によってセットする方向が異なります。

- 縦型封筒：封筒の下側を機体の方に向けます。
- 横型封筒：封を機体の手前側に向けます。



縦型封筒



横型封筒

注 意

封筒の裏面には印刷しないでください。封筒がつまったり、封筒が汚れたり、本機内部が汚れたりする原因となります。

3 クライアントコンピュータ側で、手差しトレイにセットした封筒の種類を選択し、印刷します。

封筒への印刷はWindowsコンピュータからのみ可能です。印刷の方法については以下の項目を参考してください。

📖 P.176「Windowsアプリケーションから印刷する」

2

クライアントソフトウェアをインストールする

本章では、WindowsやMacintosh、UNIX環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。

Windowsクライアントソフトウェアをインストールする..20
Windowsのクライアントソフトウェアについて 20
計画と準備 20
プリンタドライバをインストールする（USB印刷）..28
プリンタドライバをインストールする（Raw TCP/LPR印刷）..38
プリンタドライバをインストールする（IPP印刷） 67
クライアントソフトウェアをインストールする（Novell印刷）..87
プリンタドライバをインストールする（iPrint印刷） 121
プリンタドライバをアンインストールする..122

Macintoshクライアントソフトウェアをインストールする..129
Macintoshのクライアントソフトウェアについて..129
計画と準備 129
プリンタをインストールする（Mac OS 8.6/9.x） 130
プリンタをインストールする（Mac OS X 10.2.4～10.4.x） 136

UNIXクライアントソフトウェアをインストールする..159
CUPSを設定する 159

Windowsクライアントソフトウェアをインストールする

ここでは、Windowsコンピュータに印刷システムを構築する方法について説明します。

Windowsのクライアントソフトウェアについて

プリンタドライバ

プリンタドライバは、クライアントコンピュータにインストールし、お使いのアプリケーションからの印刷を可能にするソフトウェアです。本機では、PCL6、PS3（PostScript）の２種類のプリンタドライバを用意しています。これらのドライバは、アプリケーションでは設定できないような、文書レイアウトやページ組みなど、高度な印刷オプション機能を提供します。

計画と準備

ここでは、クライアントソフトウェアのインストール情報を接続環境別に説明します。クライアントソフトウェアをインストールする前に、よくお読みください。

インストールする前に

クライアントソフトウェアをインストールする前に、以下を参照し適切なインストールを行ってください。

— 本機のプリンタドライバがすでにインストールされている場合

e-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207のプリンタドライバがすでにインストールされている場合は、ソフトウェアバージョンに関係なく、それらをアンインストールしてから本機付属のClient Utilities CD-ROMによる再インストールを行ってください。

📖 P.122「プリンタドライバをアンインストールする」

プリンタドライバの種類

- PCL6 プリンタドライバ：ワープロや表計算などのような一般的なアプリケーションから印刷するのに適しています。
- PS3 プリンタドライバ：ワープロや表計算などのような一般的なアプリケーションやDTPに用いるようなPostScriptに準拠したアプリケーションから印刷するのに適しています。

必要条件

Windowsコンピュータにプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールするには、下記環境が必要です。

- **ディスプレイ解像度**
  1024 x 768ドット以上
- **ディスプレイ色**
  High Color (16ビット)以上を推奨
- **CPU**
  Pentium 133 MHz (Pentium 266 MHz以上を推奨)
- **メモリ**
  64MB以上 (Windows 98)
  96MB以上 (Windows Me、Windows NT 4.0)
  128MB以上 (Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003)
  512MB以上 (Windows Vista)

印刷システムにより対応するOSは異なります。

- **Raw TCP/LPR印刷**
  Windows NT 4.0 Service Pack 6a (LPR印刷のみ)
  Windows 2000 Service Pack 4
  Windows XP Service Pack 1 / Service Pack 2
  Windows Server 2003 Service Pack 1 以降
  Windows Vista Service Pack 1
- **IPP印刷**
  Windows Me
  Windows 2000 Service Pack 4
  Windows XP Service Pack 1 / Service Pack 2
  Windows Server 2003 Service Pack 1 以降
  Windows Vista Service Pack 1

補 足

Windows 98の場合は、Windows/NetWareプリントサーバー経由で印刷することができます。ただし、Microsoft社が提供するIPPクライアント“wpnpins.exe”が既にインストールされている環境に限り、Windows Meと同様の手順でドライバをインストールしてIPP印刷を利用することが可能です。

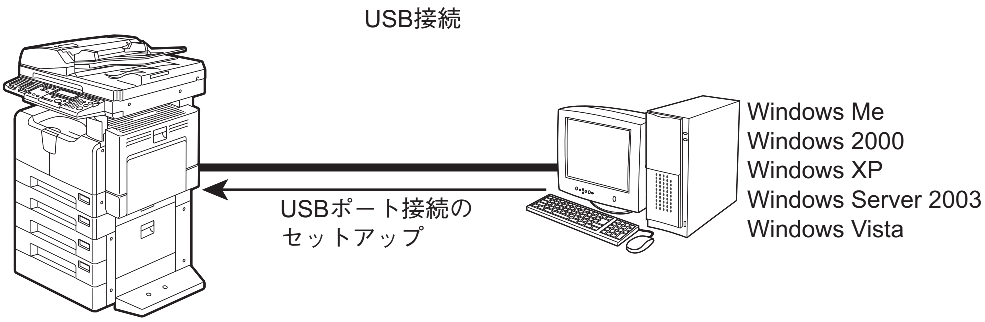
インストール手順について

接続環境に適したインストール手順を下記から選択します。

P.22「USB接続」
P.22「TCP/IPを介したローカルエリアネットワーク」
P.24「IPP印刷」
P.25「Novell印刷」

— USB接続

対応OS：
Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista



本機は、USB2.0フルスピード接続をサポートしています。本機とコンピュータをUSBケーブルで接続している場合は、プラグアンドプレイ・ウィザードを使用してプリンタドライバをインストールする必要があります。

P.28「プリンタドライバをインストールする（USB印刷）」

注 意

Windows 98およびWindows NT4.0では、USB印刷はサポートされていません。

— TCP/IPを介したローカルエリアネットワーク

本機をTCP/IPを介したローカルエリアネットワークでコンピュータに接続している場合は、以下の印刷方法を使用することができます。

- Raw TCP/LPR 印刷（2000/XP/Server 2003/Vistaでのみ有効）
- LPR 印刷（Windows NT 4.0）

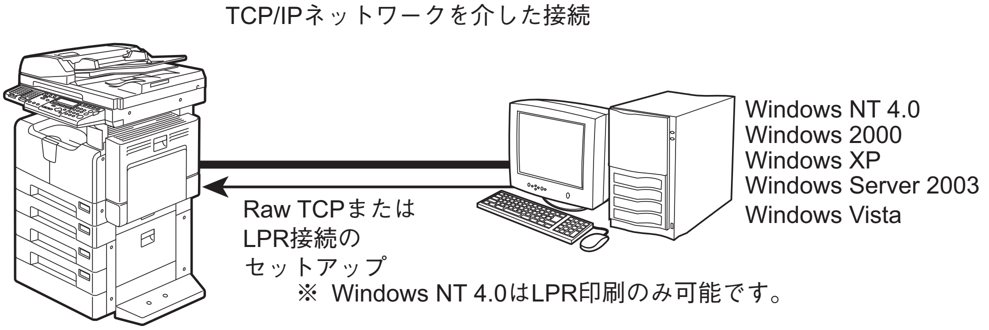
ネットワーク環境に複数の印刷方法を適用できる場合にも、利用する印刷方法はお使いのWindowsのバージョンで決定することをお勧めします。

- Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista：Raw TCP/LPR 印刷
- Windows NT 4.0：LPR 印刷

インストールに関して管理者から指示がない場合は、これらの印刷方法がお使いのネットワーク環境に適合しているかどうかを確認してください。

Raw TCP/LPR 印刷

対応OS：
Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista



Windows NT 4.0の場合はLPR印刷、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaの場合はRaw TCP印刷またはLPR印刷を使用することができます。なお、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaの場合は、Raw TCP印刷の使用を推奨します。

📖 P.38「プリンタドライバをインストールする（Raw TCP/LPR印刷）」

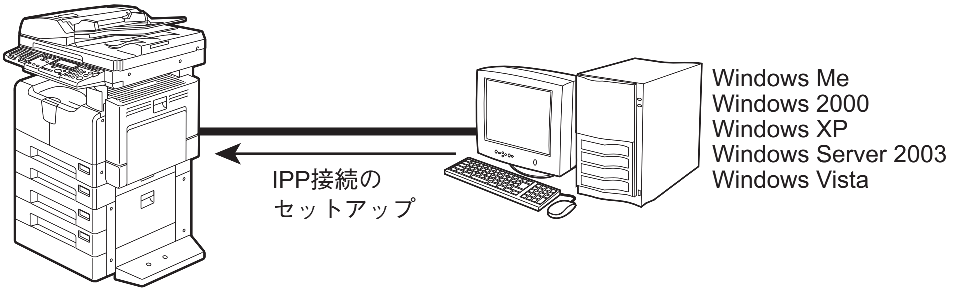
補 足

- Raw TCP接続で印刷を行うには、本機のRaw TCP印刷サービスが有効である必要があります。Raw TCP印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。
- LPR接続で印刷を行うには、本機のLPD印刷サービスが有効である必要があります。LPD印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

— IPP印刷

対応OS：
Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista

インターネットを介した接続



Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaをお使いの場合は、IPP印刷を利用することができます。インターネットを介して本機で印刷することができるので、遠隔地から印刷したいときに利用することができます。
P.67「プリンタドライバをインストールする(IPP印刷)」

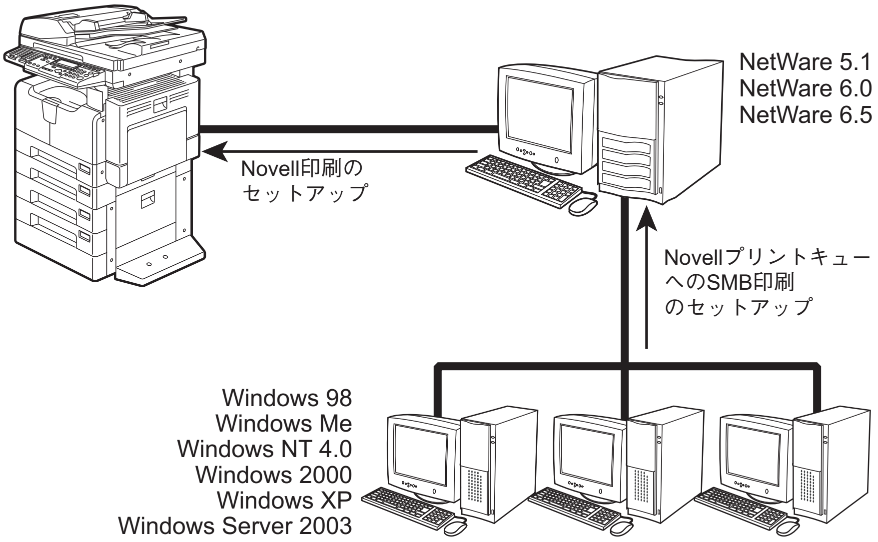
補 足

- IPP印刷を行うには、本機のIPP印刷サービスが有効であり、インターネットに接続できる必要があります。IPP印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。
- Windows 98の場合は、Microsoft社が提供するIPPクライアント“wpnpins.exe”が既にインストールされている環境に限り、Windows Meと同様の手順でドライバをインストールしてIPP印刷を利用することが可能です。

— Novell印刷

対応OS：
Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、
Windows Server 2003

TCP/IPまたはIPX/SPXネットワークを介したNetWare環境への接続



NetWare 5.1/6.0/6.5を使用し、TCP/IPまたはIPX/SPXを介して印刷を管理する場合、Windows 98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003からNetWareサーバーを介して印刷を実行することができます。この場合、NetWareサーバーに作成されたプリントキューにSMB接続をセットアップしプリンタドライバをインストールします。

📖 P.87「クライアントソフトウェアをインストールする（Novell印刷）」

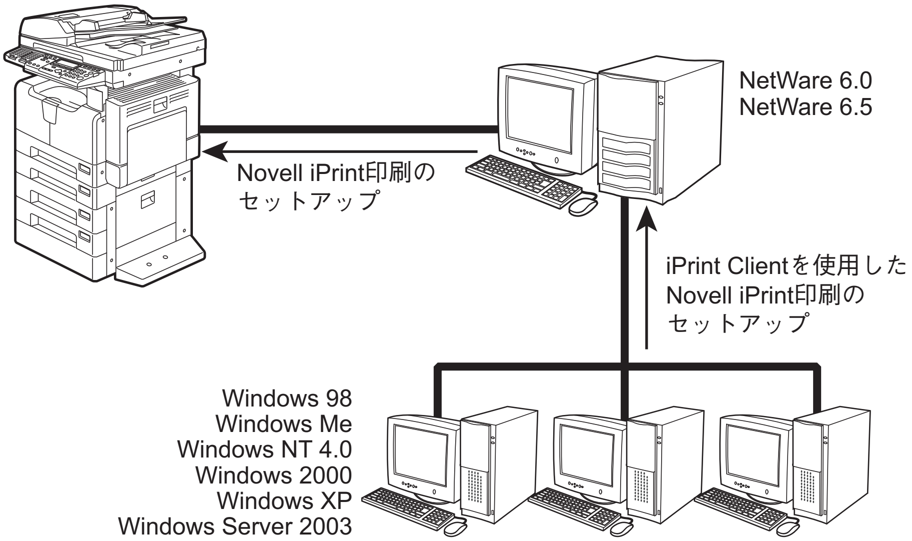
補 足

Novell印刷を行うには、NetWareサーバーにプリントキューが作成されている必要があります。また、本機のNetWare印刷サービスが有効である必要があります。NetWare印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

— Novell iPrint印刷

対応OS：
Windows 98、Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003

TCP/IPネットワークを介したNetWare環境への接続



本機がTCP/IP環境で接続されておりNetWareのiPrintサービスがセットアップされている場合は、NetWareサーバーを介してWindows 98、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003から印刷することができます。この場合は、iPrint Clientを使用してNetWareサーバーからプリンタドライバをインストールします。
P.121「プリンタドライバをインストールする(iPrint印刷)」

補 足

Novell iPrint印刷を行うには、NetWareサーバーでiPrintサービスが設定されている必要があります。また、本機のNetWare印刷サービスが有効である必要があります。NetWare印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

Windowsクライアントソフトウェアのインストール手順一覧

以下に各プリンタドライバのインストール手順参照先一覧を示します。

印刷の種類	OS	インストール方法
USB印刷	Windows Me P.29「Windows Me」	プラグアンドプレイ
	Windows 2000 P.32「Windows 2000」	
	Windows XP/Server 2003/Vista P.35「Windows XP/Server 2003/Vista」	

印刷の種類	OS	インストール方法
Raw TCP/LPR印刷	Windows 2000/XP/Server 2003/Vista P.38「インストーラを使用してインストールする(Raw TCP/LPR印刷)」	インストーラ*1
	Windows 2000/XP/Server 2003/Vista P.52「Windows 2000/XP/Server 2003/Vista」	プリンタの追加ウィザード
	Windows NT 4.0 P.38「インストーラを使用してインストールする(Raw TCP/LPR印刷)」	インストーラ
	Windows NT 4.0 P.61「Windows NT 4.0」	プリンタの追加ウィザード
IPP印刷	Windows Me P.67「Windows Me」	プリンタの追加ウィザード
	Windows 2000/XP/Server 2003/Vista P.73「Windows 2000/XP/Server 2003」	
Novell印刷	Windows 98/Me、Windows NT 4.0、Windows 2000/XP P.88「インストーラを使ってインストールする(Novell印刷)」	インストーラ
	Windows 98/Me P.93「Windows 98/Me」	ポイントアンドプリント
	Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003 P.97「Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003」	
	Windows 98/Me P.101「Windows 98/Me」	プリンタの追加ウィザード
	Windows NT 4.0 P.108「Windows NT 4.0」	
	Windows 2000/XP/Server 2003 P.115「Windows 2000/XP/Server 2003」	
Novell iPrint印刷	Windows 98/Me/NT 4.0/2000/ XP/Server 2003 P.121「プリンタドライバをインストールする(iPrint印刷)」	NetWareサーバー
アンインストール	インストーラを使ってインストールした場合 P.122「インストーラを使ってインストールした場合」	
	プリンタの追加ウィザードでインストールした場合 P.127「プリンタの追加ウィザードでインストールした場合」	

＊1　検出された本機を選択することにより、プリンタポートが自動的に設定されます。

プリンタドライバをインストールする（USB印刷）

ここでは、本機がUSBケーブルで接続されている場合のプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
USB印刷用にプリンタドライバをインストールするには、Client Utilities CD-ROMのインストーラを使う代わりにプラグアンドプレイ機能を使って行います。
本機をWindows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaコンピュータのプラグアンドプレイ・ウィザードが自動的に起動します。この方法でプリンタドライバをインストールします。

注 意

- Windows 98およびWindows NT4.0では、USB印刷はサポートされていません。
- 本機がUSBケーブルで接続されている場合は、TopAccessを利用することはできません。

プラグアンドプレイを使ってインストールする（USB印刷）

USB印刷用にプラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする手順は、Windowsのバージョンにより異なります。
📖 P.29「Windows Me」
📖 P.32「Windows 2000」
📖 P.35「Windows XP/Server 2003/Vista」

— Windows Me

プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする(USB印刷)

1 **本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。**

2 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

3 **本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。**

「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

注 意

Windows Meでは、通常USBケーブルを接続すると自動的にUSBポートドライバをインストールしますが、稀に自動的にインストールされないことがあります。この場合は、表示されたダイアログボックスで[戻る]をクリックし再度[次へ]をクリックしてインストールを再度行ってください。

4 **「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。**

新しいハードウェアのインストール完了を示すダイアログボックスが表示されます。

5 [完了]をクリックします。

本機の検出を示すダイアログボックスが表示されます。

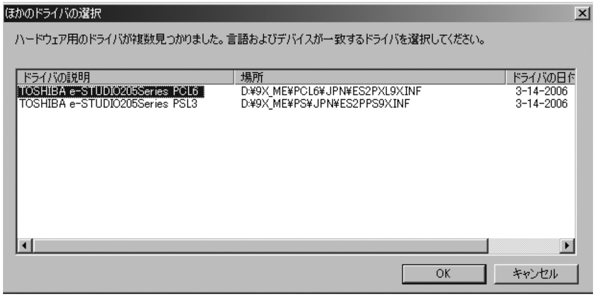
補 足

本機のネットワークプリンタドライバがすでにインストールされている場合は、手順6と7がスキップされ手順8に進みます。この場合は、そのネットワークプリンタドライバと同じ種類のUSBプリンタドライバがインストールされます。

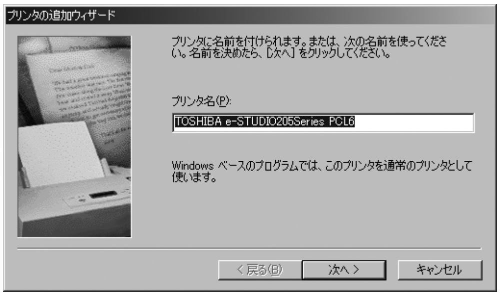
6 「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックします。

「ほかのドライバの選択」ダイアログボックスが表示されます。

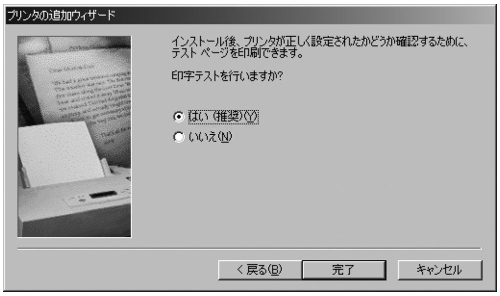
7 目的のプリンタドライバを選択し、[OK]をクリックします。



8 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ]をクリックします。



9 テストページを印刷するために「はい」を選択し、[完了]をクリックします。



ファイルのコピーが始まります。

補 足

プリンタの印字テスト完了メッセージが表示されます。

10 [完了]をクリックします。

11 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

補 足

上記の手順でプリンタドライバ(例:PCL6)をインストールするとポート「USB001 Virtual print port」が作成されます。2つ目のプリンタドライバ(例:PS3)をインストールしたい場合は、「プリンタの追加ウィザード」を使用して、Client Utility CD-ROM内のプリンタドライバをこのポートに追加します。(ウィザードを起動するには:[スタート]→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックします。)

— Windows 2000

プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする(USB印刷)

注 意

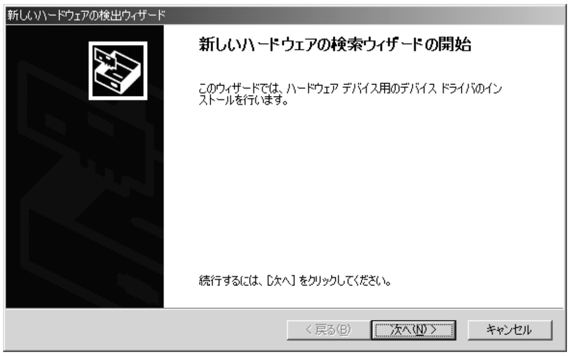
本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。

1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。

2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

3 [次へ]をクリックします。



4 「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択し、[次へ]をクリックします。

「ドライバファイルの指定」画面が表示されます。

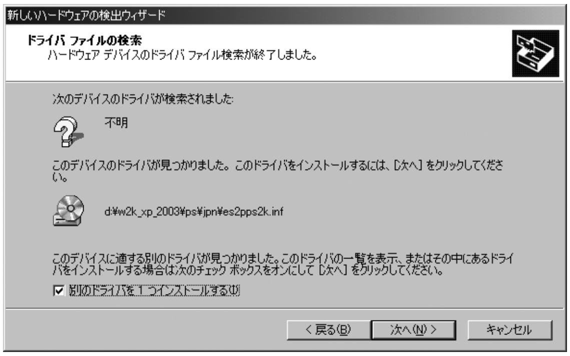
5 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

6 「CD-ROMドライブ」を選択し、[次へ]をクリックします。

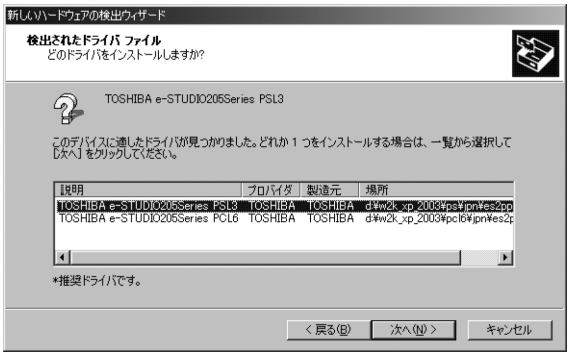
「ドライバファイルの検索」画面が表示され、プリンタドライバの検索を開始します。

7 「別のドライバを１つインストールする」をチェックし、[次へ]をクリックします。



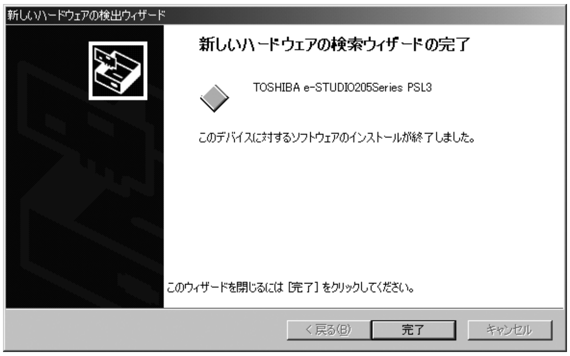
「検出されたドライバファイル」画面が表示されます。

8 インストールしたいプリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。



プリンタドライバのインストールを開始します。

9 [完了]をクリックします。



10 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。
📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

補 足

上記の手順でプリンタドライバ(例:PCL6)をインストールするとポート「USB001 Virtual print port」が作成されます。2つ目のプリンタドライバ(例:PS3)をインストールしたい場合は、「プリンタの追加ウィザード」を使用して、Client Utility CD-ROM内のプリンタドライバをこのポートに追加します。(ウィザードを起動するには:[スタート]→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックします。)

— Windows XP/Server 2003/Vista

プラグアンドプレイを使ってプリンタドライバをインストールする(USB印刷)

ここでは、Windows XPにインストールする例で説明します。Windows Server 2003、Windows Vistaをお使いの場合も手順は同じです。

注 意

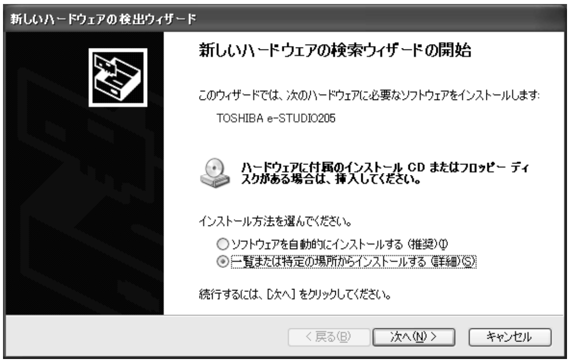
本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。なお、Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」機能によりユーザーアカウントを一時的に変更することができますので、詳細はシステム管理者へお問い合わせください。

1 本機とお使いのコンピュータの電源を入れます。

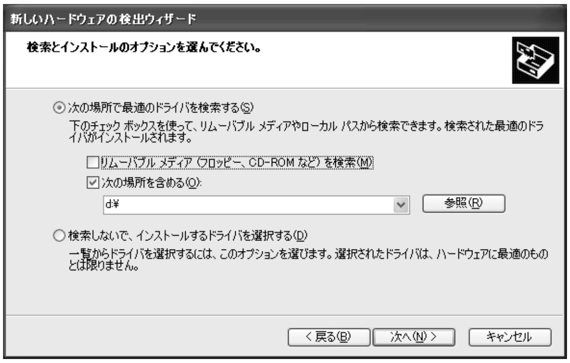
2 本機とコンピュータをUSBケーブルで接続します。

「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

3 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、[次へ]をクリックします。



4 **「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」チェックボックスのみをチェックして、[参照]をクリックします。**



「フォルダの参照」ダイアログボックスが表示されます。

5 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

6 **Windows XP、Windows Server 2003用のプリンタドライバがあるフォルダを選択し、[OK]をクリックします。**

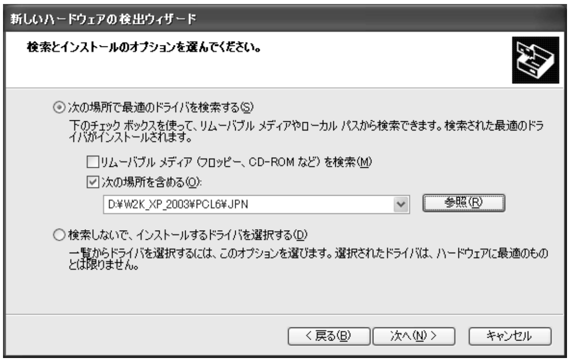
- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_VISTA¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_VISTA¥PS¥JPN

注 意

Windows XP/Server 2003/Vistaの64ビット版へインストールする場合は、以下フォルダを選択してください。

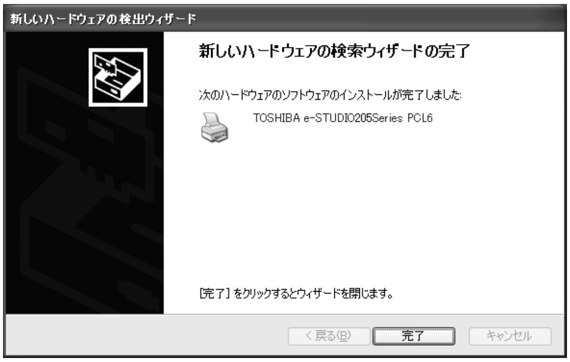
- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥XP_VISTA_X64¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥XP_VISTA_X64¥PS¥JPN

7 [次へ]をクリックします。



ファイルのコピーを開始します。

8 [完了]をクリックします。



9 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

補 足

上記の手順でプリンタドライバ(例:PCL6)をインストールするとポート「USB001 Virtual print port」が作成されます。2つ目のプリンタドライバ(例:PS3)をインストールしたい場合は、「プリンタの追加ウィザード」を使用して、Client Utility CD-ROM内のプリンタドライバをこのポートに追加します。(ウィザードを起動するには:[スタート]→[プリンタとFAX]の順にクリックし、[プリンタの追加]をダブルクリックします。)

プリンタドライバをインストールする(Raw TCP/LPR印刷)

ここでは、TCP/IPを介したローカルエリアネットワークで利用できるRaw TCP/LPR印刷のためのプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
セットアップ方法には以下の2通りの方法があります。

- Client Utilities CD-ROMからインストールする
  Client Utilities CD-ROMのインストーラを使ってプリンタドライバをインストールします。
  📖 P.38「インストーラを使用してインストールする(Raw TCP/LPR印刷)」
- プリンタの追加ウィザードを使用する
  プリンタドライバのインストール後に他のプリンタドライバを追加インストールしたり、CD-ROMのインストーラやプラグアンドプレイを使わずにプリンタドライバをインストールしたりする場合にはこの方法で行います。この方法では、プリンタドライバをインストールすることはできますが、他のクライアントソフトウェアをインストールすることはできません。
  📖 P.52「プリンタの追加ウィザードを使用してインストールする(Raw TCP/LPR印刷)」

注 意

- セットアップを行う前に、以下のことを確認してください。
  - 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
  - TCP/IPが本機およびお使いのコンピュータで正しく設定されていること。
- Raw TCP印刷は、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaをお使いの場合に使用することができます。
- LPR印刷は、Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaをお使いの場合に使用することができます。

インストーラを使用してインストールする(Raw TCP/LPR印刷)

Client Utilities CD-ROMのインストーラを使ってクライアントソフトウェアをインストールします。
ここでは、Windows 2000にプリンタドライバをインストールする例を説明します。Windows NT、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaをお使いの場合も手順は同じです。

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。なお、Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」機能によりユーザーアカウントを一時的に変更することができますので、詳細はシステム管理者へお問い合わせください。

クライアントソフトウェアをインストールする（Raw TCP/LPR印刷）

1 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラが自動的に起動しないときは、CD-ROMをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動してください。

「セットアップへようこそ」の画面が表示されます。

2 **[次へ]をクリックします。**

「使用許諾契約」画面が表示されます。

3 **使用許諾契約に同意する場合は、[はい]をクリックします。**

「インストール先の選択」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックします。

インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックします。
「フォルダの選択」ダイアログボックスが表示されますので、インストール先のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

「セットアップタイプ」画面が表示されます。

5 [カスタム]を選択し、[次へ]をクリックします。

「コンポーネントの選択」画面が表示されます。

6 インストールするソフトウェアを選択し、[次へ]をクリックします。

TOSHIBA e-STUDIO205 series PCL6プリンタドライバ:PCL6プリンタドライバをインストールする場合にチェックします。
TOSHIBA e-STUDIO205 series PSL3プリンタドライバ:PS3プリンタドライバをインストールする場合にチェックします。

「ポートの選択」画面が表示されます。

補 足

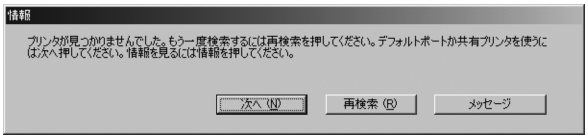
「コンポーネントの選択」ダイアログボックスには、他のソフトウェアも表示されます。(これらも必要に応じてインストールすることが可能です。)

7 **本機が自動的に検出され「ネットワークプリンタ」に表示されますので、本機を選択して、[次へ]をクリックします。**

「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

注 意

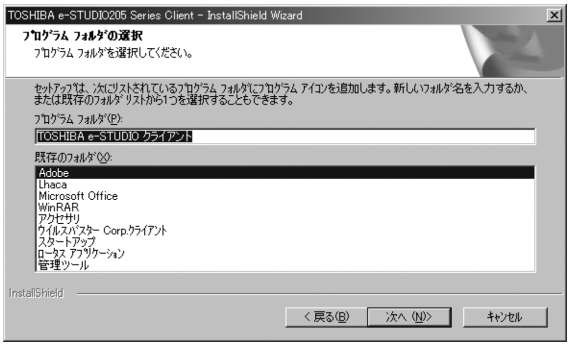
本機を接続していない場合は、本機が検出されず、以下のメッセージが表示されます。
再度検索する場合は[再検索]をクリックし、ローカルポートを設定する場合は[次へ]をクリックします。



ローカルポートを設定する場合は、「ローカルポート」を選択し、ドロップダウンメニューからあらかじめ設定してあるポートを選択します。なお、あらかじめポートを設定していない場合は、ドロップダウンメニューから暫定的にポートを選択することにより、インストールを続行することが可能です。
以上の操作を行った後、[次へ]をクリックします。

暫定的にポートを選択した場合は、インストール完了後にポートを設定する必要があります。手順10の[注意]を参照してください。

8 [次へ]をクリックします。



プログラムフォルダを変更する場合は、「プログラムフォルダ」フィールドに表示されている名前を変更します。

「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。

9 [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピーを完了すると、「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されます。

注 意

- インストールの途中でデジタル署名が見つからない旨を報告するダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックしてインストールを続けてください。
- 以下のダイアログボックスが表示されます。
  メッセージに表示されたプリンタドライバを標準で使用するプリンタドライバに設定する場合は[はい]を、しない場合は[いいえ]をクリックしてください。

10 [完了]をクリックします。

インストールが完了します。
再起動を要求する画面が表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックします。

注 意

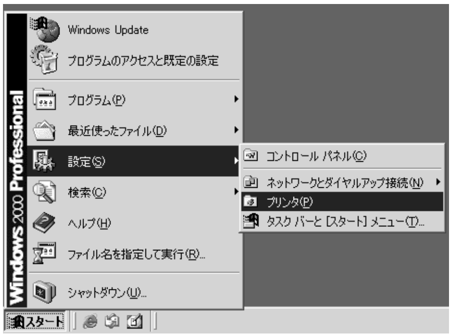
手順7の「ポートの選択」画面にて、ローカルポートを暫定的に選択した場合は、以下を参照してRaw TCP/LPRポートの設定を行ってください。
📖 P.44「Raw TCP/LPRポートを設定する(Windows 2000/XP/Server 2003/Vista)」
📖 P.49「LPRポートを設定する(Windows NT 4.0)」

Raw TCP/LPRポートを設定する(Windows 2000/XP/Server 2003/Vista)

注 意

本項で説明している操作は、ローカルポートを暫定的に選択した場合にのみ必要です。その他の場合は必要ありません。

1 [スタート]メニュー→[設定]→ [プリンタ]を選択して、プリンタフォルダを開きます。

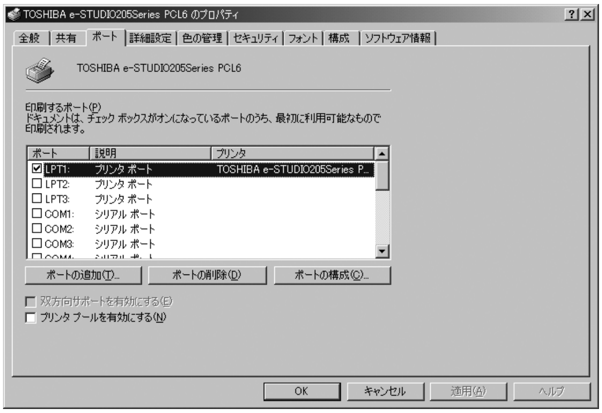


- Windows XP、Windows Server 2003の場合は、[スタート]メニュー→[プリンタとFAX]を選択し、プリンタとFAXフォルダを開きます。
- Windows Vistaの場合は、[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[プリンタ]の順にクリックして、プリンタフォルダを開きます。

2 本機のプリンタドライバを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。

- Windows Vistaをお使いの場合は、「整理」メニューから[プロパティ]を選択します。
- プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。

3 [ポート]タブを選択し、[ポートの追加]をクリックします。

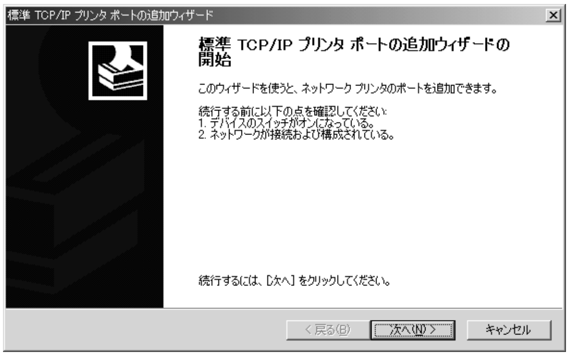


「プリンタポート」ダイアログボックスが表示されます。

4 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[新しいポート]をクリックします。

「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

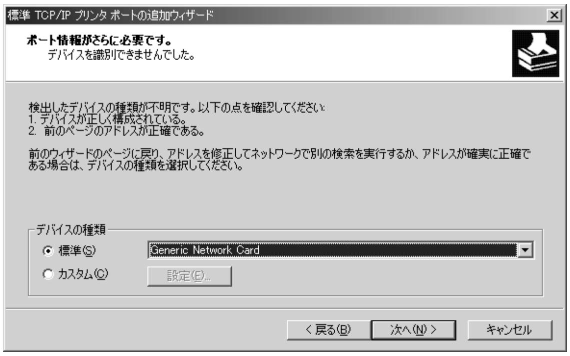
5 [次へ]をクリックします。



6 「プリンタ名またはIPアドレス」フィールドに本機のIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、「プリンタ名またはIPアドレス」フィールドには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- 「プリンタ名またはIPアドレス」フィールドにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、「ポート名」フィールドには自動的にポート名が入力されます。
- Windows Vistaの場合は、先頭の"IP_"が表示されません。

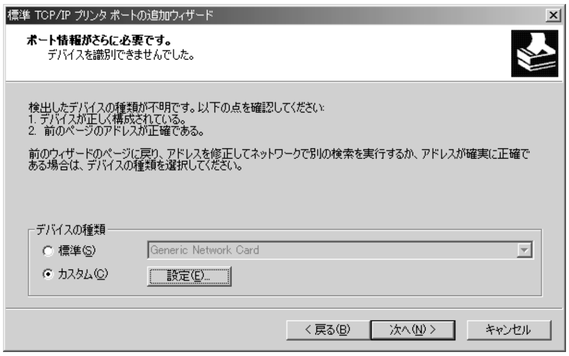
7 「標準」を選択し、[次へ]をクリックします。



補 足

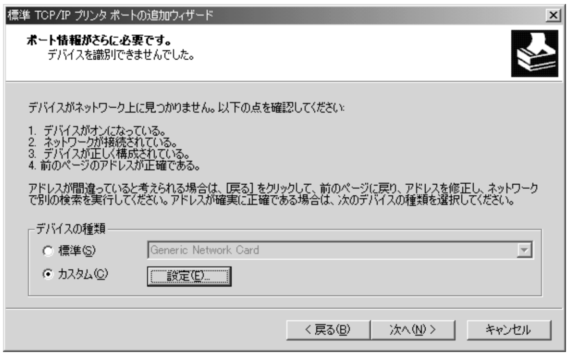
LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定を行ってください。
なお、Windows Vistaをお使いの場合は、プリンタフォルダよりプリンタドライバを右クリックし、[プロパティ]-「ポート」タブ-[ポートの構成]より設定してください。

「カスタム」を選択し、[設定]をクリックします。



「プロトコル」オプションで「LPR」を選択し、「LPR設定」オプションの「キュー名」フィールドに「Print」を入力して、[OK]をクリックします。

[次へ]をクリックします。

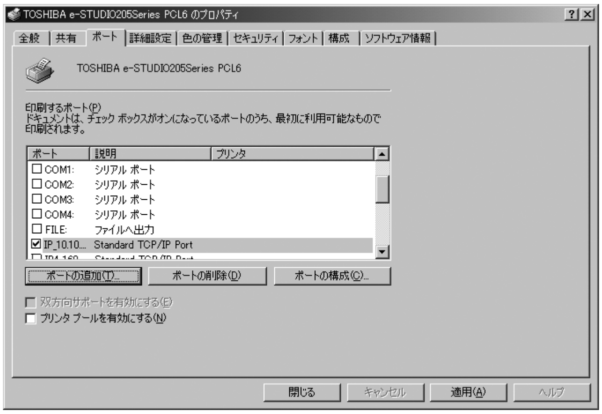


8 **[完了]をクリックします。**

「プリンタポート」ダイアログボックスに戻ります。

9 **[閉じる]をクリックし、「プリンタポート」ダイアログボックスを閉じます。**

10 **「印刷するポート」リストで作成したRaw TCPまたはLPRポートがチェックされていることを確認したら、[閉じる]をクリックし、設定を保存します。**



注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

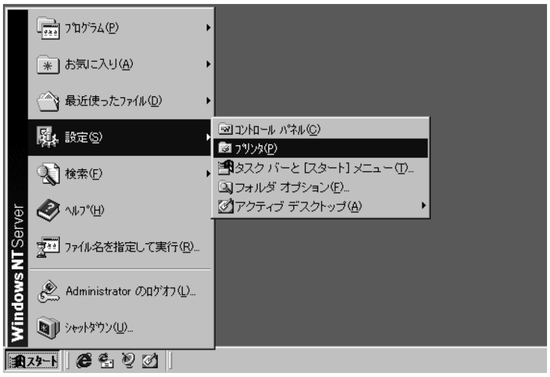
📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

LPRポートを設定する（Windows NT 4.0）

注 意

本項で説明している操作は、ローカルポートを暫定的に選択した場合にのみ必要です。その他の場合は必要ありません。

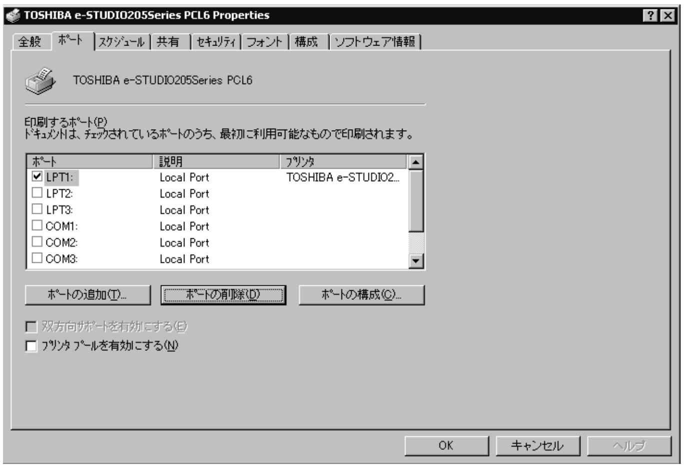
1 **[スタート]メニュー→[設定]→ [プリンタ]を選択して、プリンタフォルダを開きます。**



2 **本機のプリンタドライバを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。**

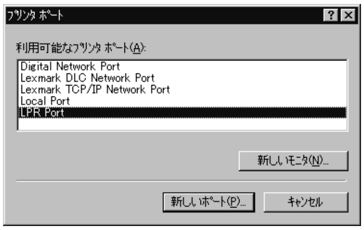
プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。

3 **［ポート］タブを選択し、［ポートの追加］をクリックします。**



「プリンタポート」ダイアログボックスが表示されます。

4 **「LPR Port」を選択し、［新しいポート］をクリックします。**



「LPR互換プリンタの追加」ダイアログボックスが表示されます。

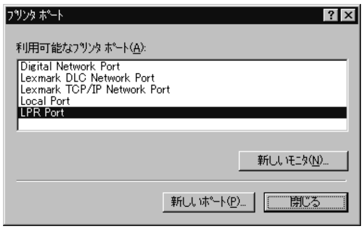
注 意

「LPR Port」がリストの中に表示されていない場合は、TCP/IP印刷サービスがお使いのWindows NT 4.0にインストールされているかを確認してください。この印刷サービスがインストールされていない場合は、「LPR Port」は表示されません。

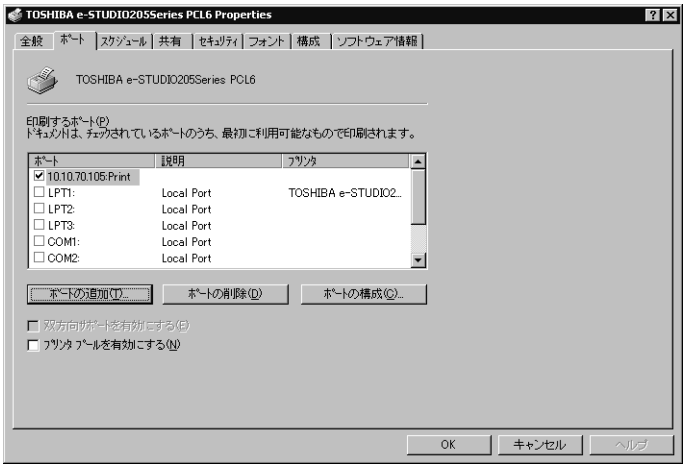
5 **「lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス」フィールドに本機のIPアドレスを入力し、「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」フィールドに「Print」を入力して、［OK］をクリックします。**

ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、「lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス」フィールドには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機のプリンタ名を入力します。

6 [閉じる]をクリックし、「プリンタポート」ダイアログボックスを閉じます。



7 「印刷するポート」リストで作成したLPRポートがチェックされていることを確認したら、[OK]をクリックし、設定を保存します。



注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

プリンタの追加ウィザードを使用してインストールする（Raw TCP/LPR印刷）

Raw TCP/LPR印刷用にプリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする手順は、お使いのWindowsのバージョンによって異なります。

📖 P.52「Windows 2000/XP/Server 2003/Vista」
📖 P.61「Windows NT 4.0」

— Windows 2000/XP/Server 2003/Vista

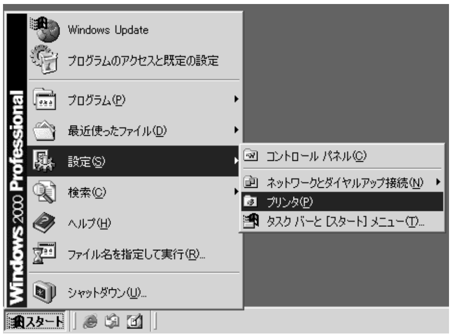
ここでは、Windows 2000にインストールする例で説明します。Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaをお使いの場合も手順は同じです。

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。なお、Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」機能によりユーザーアカウントを一時的に変更することができますので、詳細はシステム管理者へお問い合わせください。

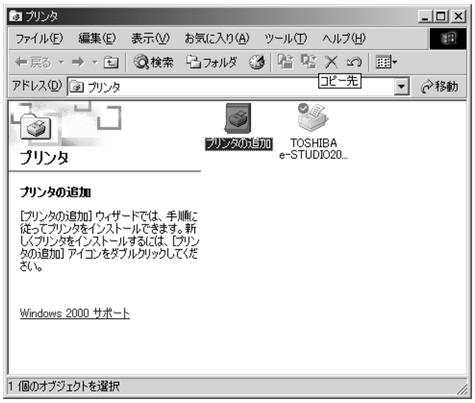
プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（Raw TCP/LPR印刷）

1 **[スタート]→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、プリンタフォルダを開きます。**



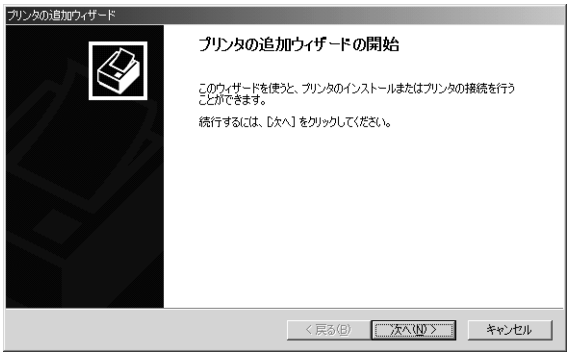
- Windows XP/Server 2003の場合は、[スタート]→[プリンタとFAX]の順にクリックして、プリンタフォルダを開きます。
- Windows Vistaの場合は、[スタート]→[コントロールパネル]→[プリンタ]の順にクリックして、プリンタフォルダを開きます。

2 [プリンタの追加]をダブルクリックします。



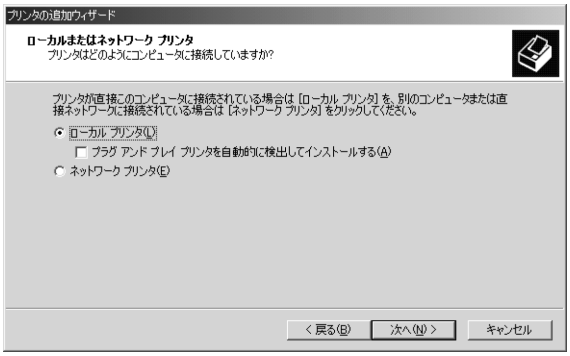
- Windows XP/Server 2003/Vistaの場合は、プリンタのタスクメニューにある「プリンタのインストール」をクリックします。
- 「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
- Windows Vistaの場合は、「プリンタの追加」ダイアログボックスが表示されます。

3 [次へ]をクリックします。



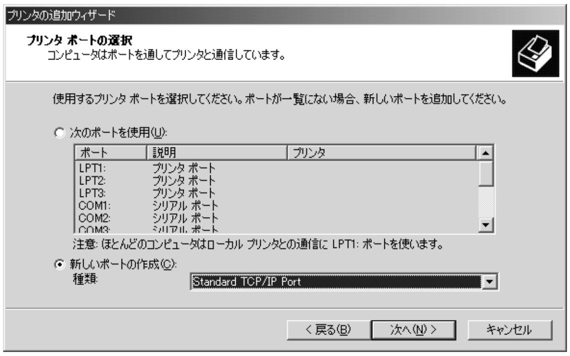
Windows Vistaをお使いの場合は、上記画面は表示されません。

4 「ローカルプリンタ」を選択し、「プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し、[次へ]をクリックします。



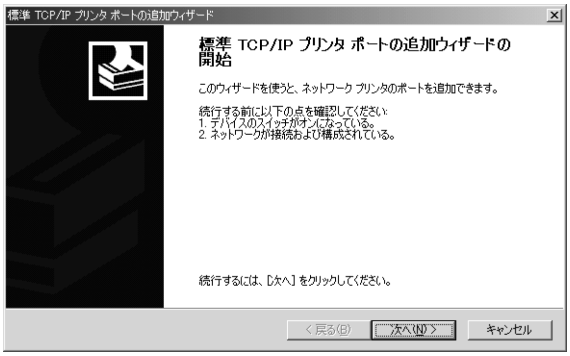
Windows Vistaをお使いの場合は、「ローカルプリンタを追加します」を選択します。

5 **「新しいポートの作成」を選択し、「種類」ドロップダウンメニューから「Standard TCP/IP ポート」を選択して、[次へ]をクリックします。**



標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが表示されます。

6 **「次へ」をクリックします。**

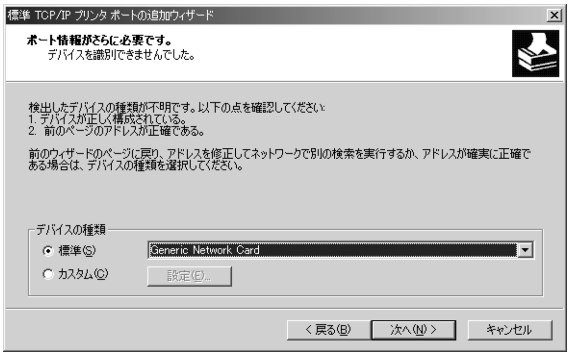


Windows Vistaをお使いの場合は、上記画面は表示されません。

7 「プリンタ名またはIPアドレス」フィールドに本機のIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

- ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、「プリンタ名またはIPアドレス」フィールドには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機の装置名を入力します。
- 「プリンタ名またはIPアドレス」フィールドにIPアドレスまたはDNS名を入力すると、「ポート名」フィールドには自動的にポート名が入力されます。
- Windows Vistaをお使いの場合は「ホスト名またはIPアドレス」フィールドに本機のIPアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。
- Windows Vistaをお使いの場合は先頭の“IP_”が表示されません。

8 「標準」を選択し、[次へ]をクリックします。

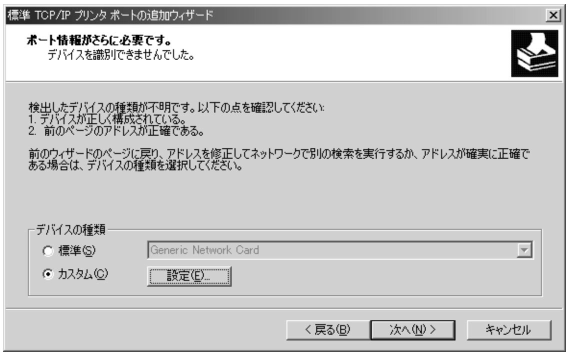


Windows Vistaの場合は、上記画面は表示されません。手順10へ進みます。

補 足

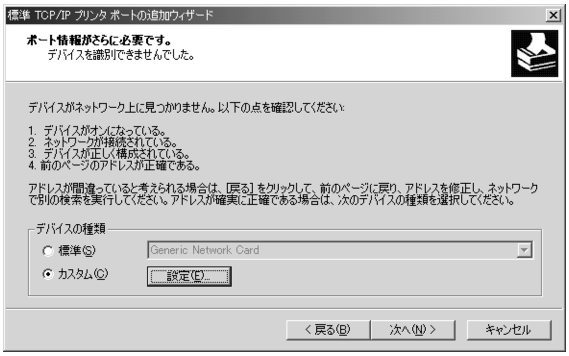
LPD印刷サービスが有効になっている場合は、LPR印刷を利用することもできます。LPR印刷を設定する場合は、以下の手順で設定を行ってください。
なお、Windows Vistaをお使いの場合は、プリンタフォルダよりプリンタドライバを右クリックし、[プロパティ]-「ポート」タブ-[ポートの構成]より設定してください。

「カスタム」を選択し、[設定]をクリックします。



「プロトコル」オプションで「LPR」を選択し、「LPR設定」オプションの「キュー名」フィールドに「Print」を入力して、[OK]をクリックします。

[次へ]をクリックします。



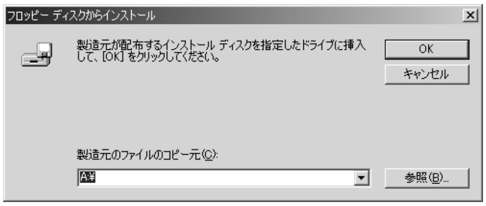
9 [完了]をクリックします。

Windows Vistaをお使いの場合は、上記画面は表示されません。

10 [ディスク使用...]をクリックします。

「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

11 [参照...]をクリックします。



「ファイルの場所」ダイアログボックスが表示されます。

12 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

13 **Windows 2000/XP/Server 2003/Vista用のプリンタドライバがあるフォルダを選択し、[開く]をクリックします。**

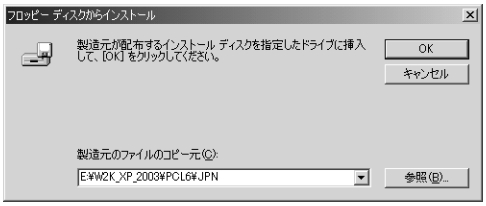
- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_VISTA¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_VISTA¥PS¥JPN

注 意

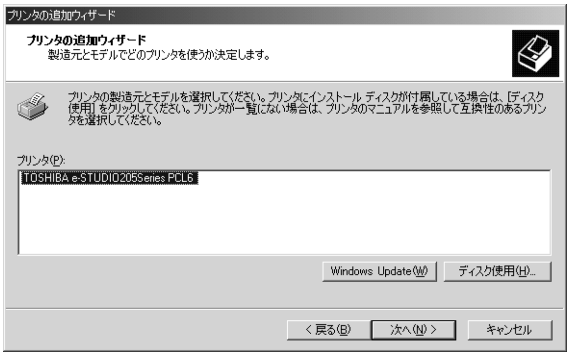
Windows XP/Server 2003/Vistaの64ビット版へインストールする場合は、以下フォルダを選択してください。

- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥XP_VISTA_X64¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥XP_VISTA_X64¥PS¥JPN

14 **[OK]をクリックします。**

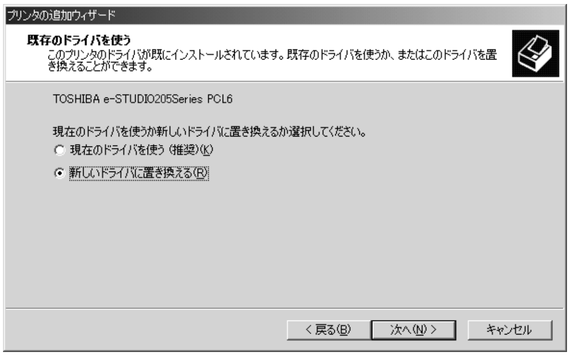


15 プリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。



注 意

すでに同じプリンタドライバがインストールされていた場合は、次のダイアログボックスが表示されます。表示されたら「新しいドライバに置き換える」を選択して[次へ]をクリックします。



16 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ]をクリックします。

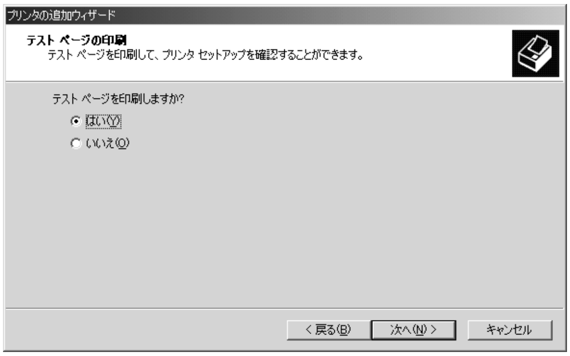
補 足

お使いのコンピュータに別のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常のプリンタとして使用するかどうかを選択してください。

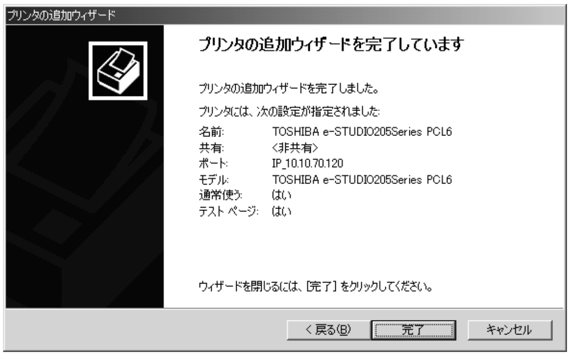
17 このプリンタを共有するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。

Windows Vistaをお使いの場合は、上記画面は表示されません。

18 テストページを印刷する場合は「はい」を選択し、[次へ]をクリックします。



19 [完了]をクリックします。



ファイルのコピーが始まります。

20 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

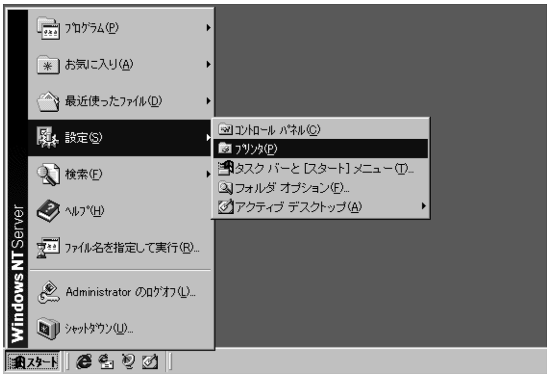
— Windows NT 4.0

プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（LPR印刷）

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。

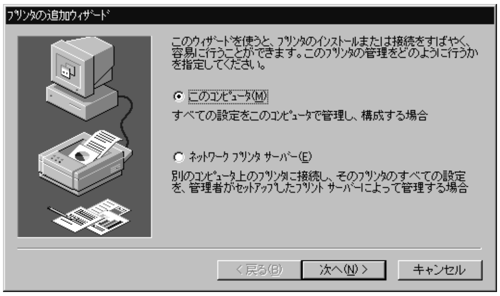
1 [スタート]→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、プリンタフォルダを開きます。



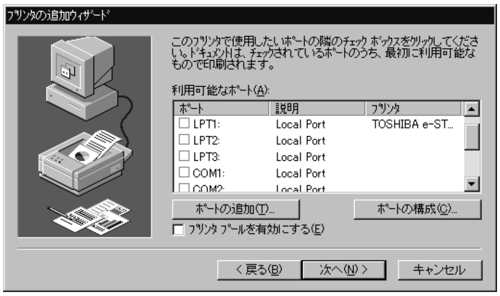
2 [プリンタの追加]をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

3 「このコンピュータ」を選択し、[次へ]をクリックします。

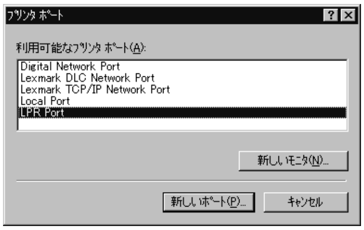


4 [ポートの追加]をクリックします。



「プリンタポート」ダイアログボックスが表示されます。

5 「LPR Port」を選択し、[新しいポート]をクリックします。



「LPR互換プリンタの追加」ダイアログボックスが表示されます。

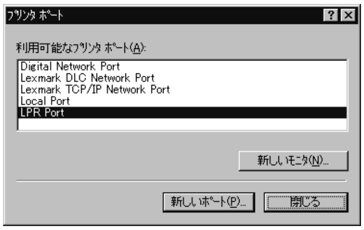
注 意

「LPR Port」がリストの中に表示されていない場合は、TCP/IP印刷サービスがお使いのWindows NT 4.0にインストールされているかを確認してください。この印刷サービスがインストールされていない場合は、「LPR Port」は表示されません。

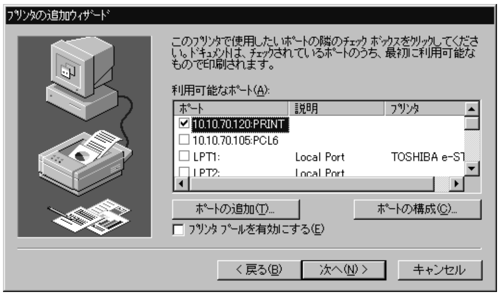
6 **「lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス」フィールドに本機のIPアドレスを入力し、「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」フィールドに「Print」を入力して、[OK]をクリックします。**

ネットワークがDNSまたはWINSサーバーを使用している場合、「lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス」フィールドには、DNSまたはWINSサーバーが提供する本機のプリンタ名を入力します。

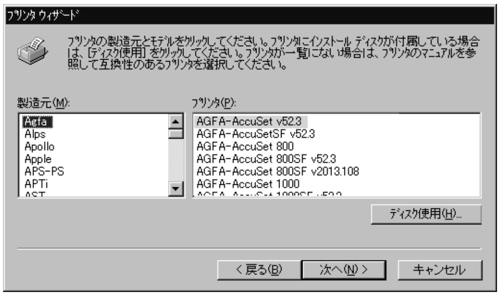
7 **[閉じる]をクリックし、「プリンタポート」ダイアログボックスを閉じます。**



8 **「利用可能なポート」リストで作成したLPRポートがチェックされていることを確認したら、[次へ]をクリックします。**

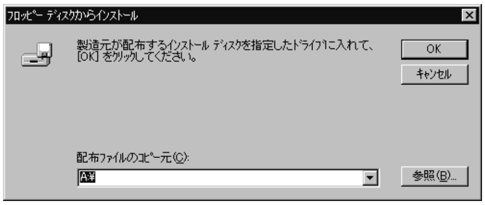


9 **[ディスク使用...]をクリックします。**



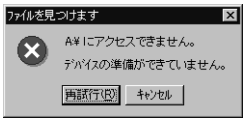
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

10 [参照...]をクリックします。



「A:¥にアクセスできません」メッセージが表示されます。

11 [キャンセル]をクリックします。



「ファイルを見つけます」ダイアログボックスが表示されます。

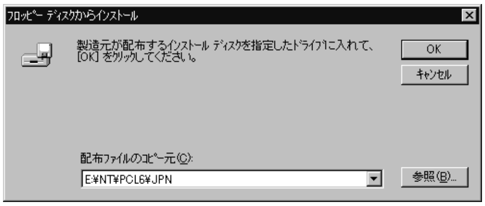
12 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

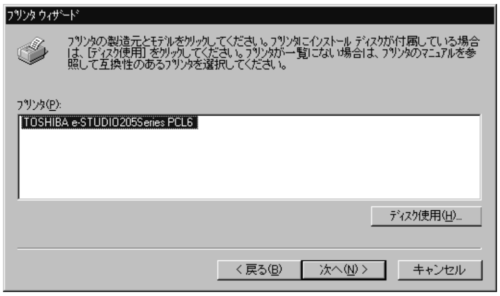
13 Windows NT 4.0用のプリンタドライバがあるフォルダを選択し、[開く]をクリックします。

- PCL6プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥NT¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥NT¥PS¥JPN

14 [OK]をクリックします。



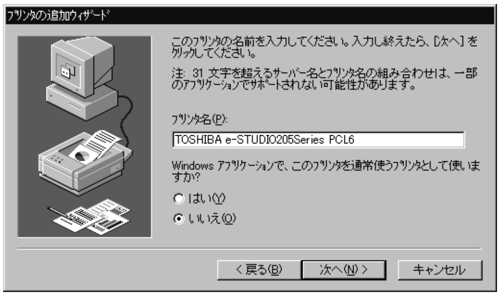
15 プリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。



注 意

すでに同じプリンタドライバがインストールされていた場合は、次のダイアログボックスが表示されます。表示されたら「新しいドライバに置き換える」を選択して［次へ］をクリックします。

16 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ]をクリックします。



補 足

お使いのコンピュータに別のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常のプリンタとして使用するかどうかを選択してください。

17 このプリンタを共有するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。

補 足

「共有する」を選択した場合には、他のクライアントが利用するOSのプリンタドライバをインストールすることができます。その場合には、手順9から手順15の操作を繰り返して選択したOSのプリンタドライバをインストールしてください。

18 テストページを印刷するには「はい」を選択し、[完了]をクリックします。

19 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

P.176「プリンタドライバを使用する前に」

プリンタドライバをインストールする（IPP印刷）

ここでは、IPP印刷を行うためのプリンタドライバのセットアップ方法について説明します。
IPP印刷用にプリンタドライバをセットアップするには、「プリンタの追加ウィザード」を使ってプリンタドライバをインストールし、その後必要な他のソフトウェアをインストールします。

注 意

- プリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
  - 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
  - 本機およびお使いのコンピュータにTCP/IPが正しく設定されていること。
- IPP印刷は、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaでのみ有効です。
- Windows 98の場合は、Microsoft社が提供するIPPクライアント"wpnpins.exe"が既にインストールされている環境に限り、Windows Meと同様の手順でドライバをインストールしてIPP印刷を利用することが可能です。

IPP印刷用にプリンタドライバをインストールする

— Windows Me

プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（IPP印刷）

1 **Windows Me CD-ROMの以下のフォルダから「wpnpins.exe」をデスクトップ上にコピーします。**

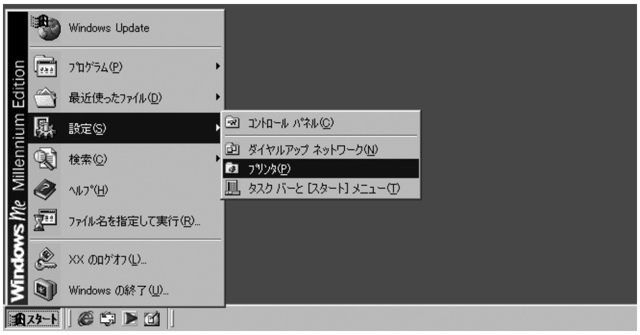
［Client Utilities CD-ROM］:￥add-ons￥IPP

2 **「wpnpins.exe」をダブルクリックします。**

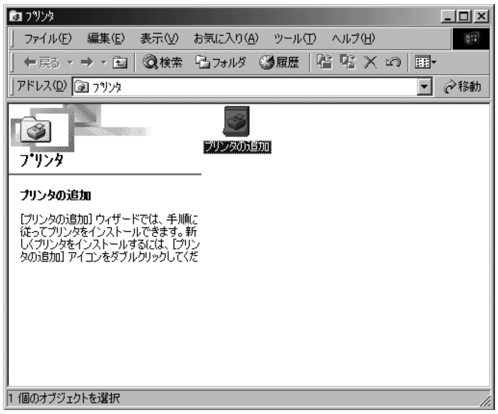
「Printer Installation」ダイアログボックスが表示されます。

3 **［はい］をクリックし、コンピュータを再起動します。**

4 **［スタート］メニュー→［設定］→［プリンタ］の順にクリックします。**

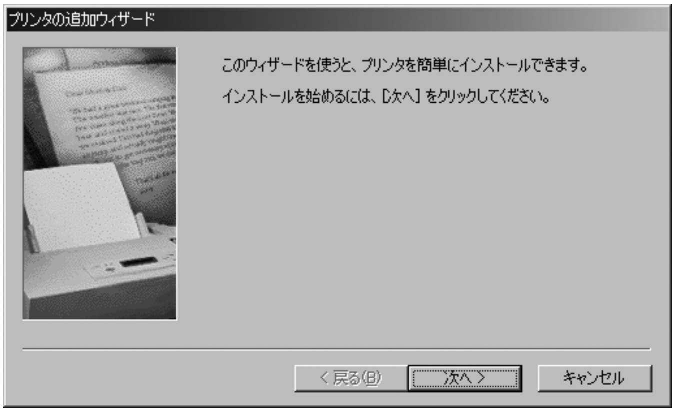


5 ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

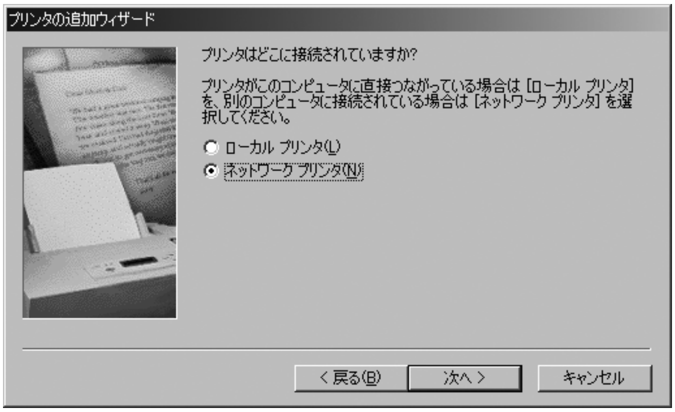


「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

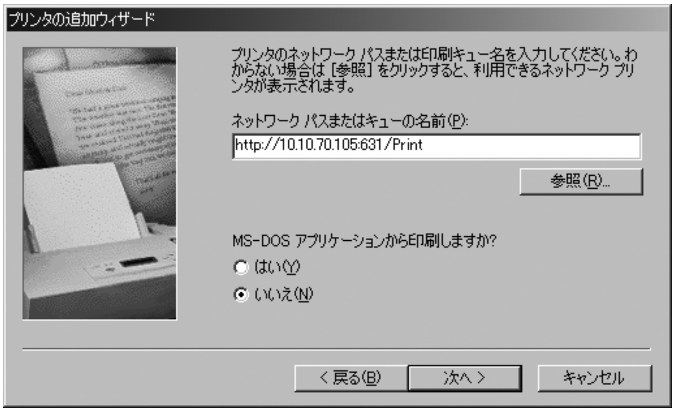
6 ［次へ］をクリックします。



7 「ネットワークプリンタ」を選択し［次へ］をクリックします。



8 **「ネットワークパスまたはキューの名前」フィールドに「http://[IPアドレス]:631/Print」と入力します。**



- [IPアドレス]の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
  例:IPアドレスが「10.10.70.105」の場合
  http://10.10.70.105:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
  例:サーバー名が「Mfp-00c67861」の場合
  http://Mfp-00c67861:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
  例:URLが「mfp-00c67861.toshibatec-ifax.com」の場合
  http://mfp-00c67861.toshibatec-ifax.com:631/Print

注 意

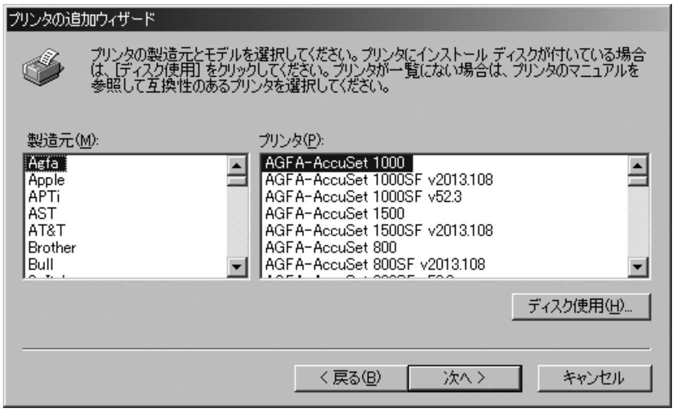
「ネットワークパスまたはキューの名前」フィールドの「Print」の「P」は必ず大文字で入力してください。

補 足

管理者が本機上でIPPポート80オプションを有効に設定している場合は、ポート番号を除外することができます(例:http://192.168.255.48/Print)。

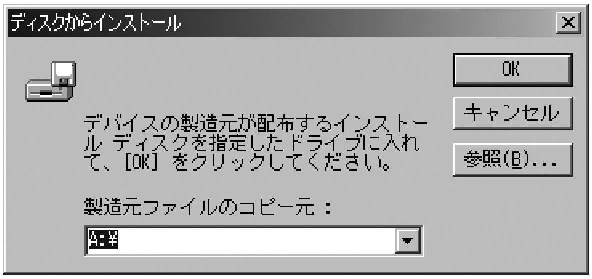
9 **[次へ]をクリックします。**

10 **[ディスク使用...]をクリックします。**



「ディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

11 **[参照...]をクリックします。**

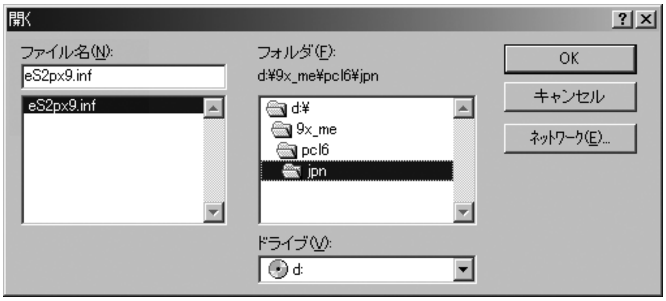


「開く」ダイアログボックスが表示されます。

12 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

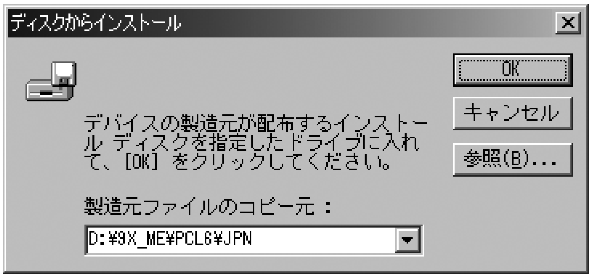
Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

13 **Windows Me用のプリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[OK]をクリックします。**

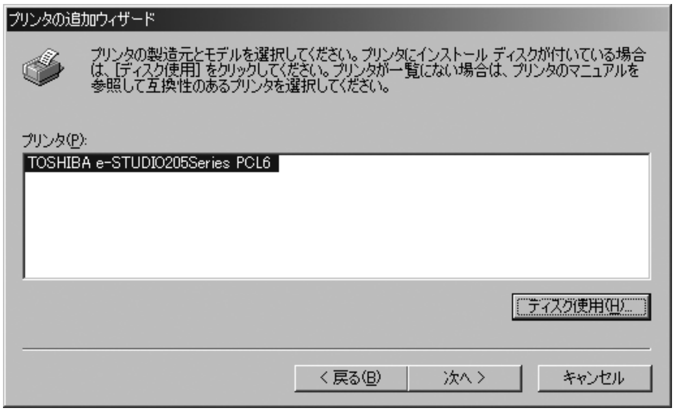


- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥9X_ME¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥9X_ME¥PS¥JPN

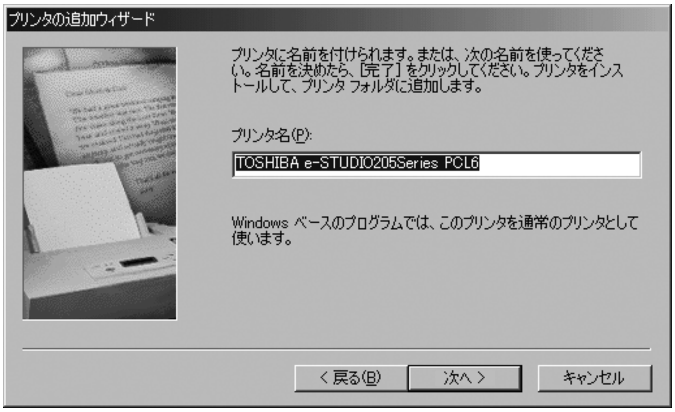
14 [OK]をクリックします。



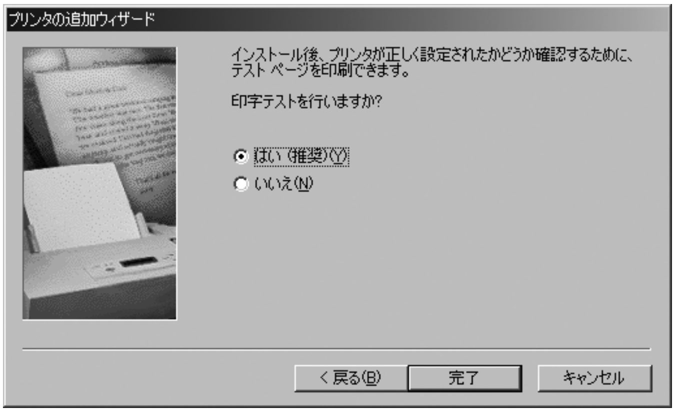
15 プリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。



16 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ]をクリックします。



17 テストページを印刷する場合は「はい」を選択し、[完了]をクリックします。



ファイルのコピーが始まり、プリンタドライバがインストールされます。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

— Windows 2000/XP/Server 2003

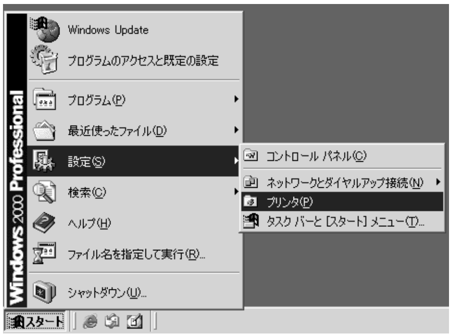
プリンタの追加ウィザードからプリンタドライバをインストールする（IPP印刷）

ここでは、Windows 2000にインストールする例で説明します。Windows XP、Windows Server 2003をお使いの場合も手順は同じです。

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。

1 **[スタート]メニュー→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、プリンタフォルダを開きます。**

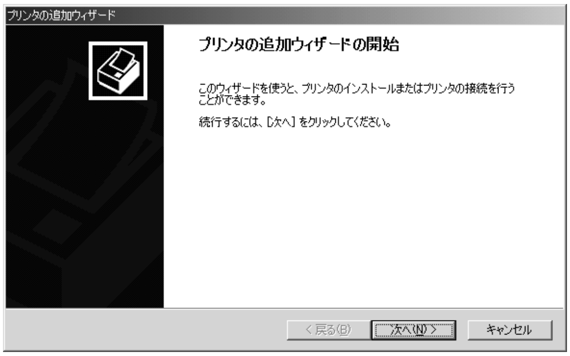


Windows XP/Server 2003の場合は、[スタート]→[プリンタとFAX]の順にクリックして、プリンタフォルダを開きます。

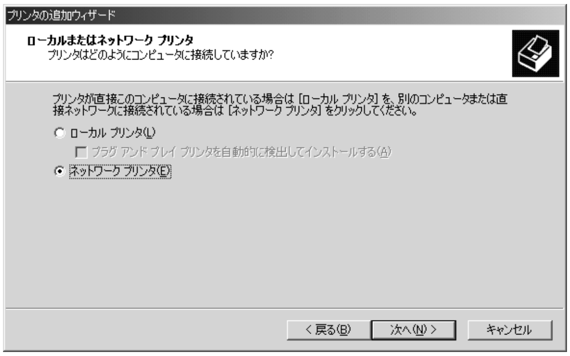
2 **[プリンタの追加]をダブルクリックします。**

- Windows XP、Windows Server 2003をお使いの場合は、プリンタのタスクメニューにある[プリンタのインストール]をクリックします。
- 「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

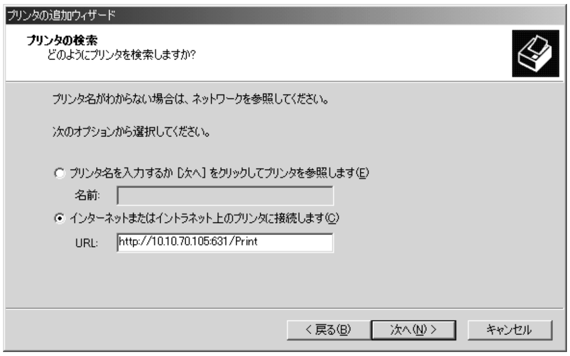
3 [次へ]をクリックします。



4 「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ]をクリックします。



5 **「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択し、「URL」フィールドに「http://[IPアドレス]:631/Print」と入力します。**



- [IPアドレス]の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
  例:IPアドレスが「10.10.70.105」の場合
  http://10.10.70.105:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
  例:サーバー名が「Mfp-00c67861」の場合
  http://Mfp-00c67861:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
  例:URLが「mfp-00c67861.toshibatec-ifax.com」の場合
  http://mfp-00c67861.toshibatec-ifax.com:631/Print

注 意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。Windows XPをお使いの場合、小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成できてしまいますが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成し直してください。

補 足

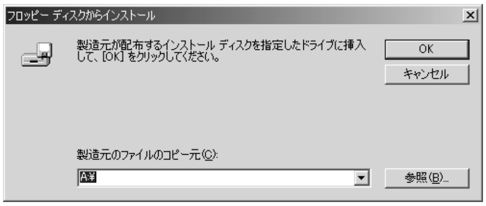
管理者が本機上でIPPポート80オプションを有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます(例:http://192.168.255.48/Print)。

6 **[次へ]をクリックします。**

7　[ディスク使用...]をクリックします。

「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

8　[参照...]をクリックします。



「ファイルの場所」ダイアログボックスが表示されます。

9　Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

10 Windows 2000/XP用のプリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く]をクリックします。

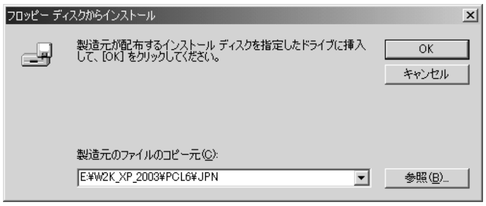
- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:￥W2K_XP_VISTA￥PCL6￥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:￥W2K_XP_VISTA￥PS￥JPN

注 意

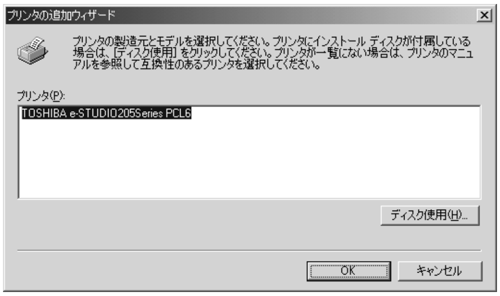
Windows XP/Server 2003/Vistaの64ビット版へインストールする場合は、以下フォルダを選択してください。

- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:￥XP_VISTA_X64￥PCL6￥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:￥XP_VISTA_X64￥PS￥JPN

11 [OK]をクリックします。



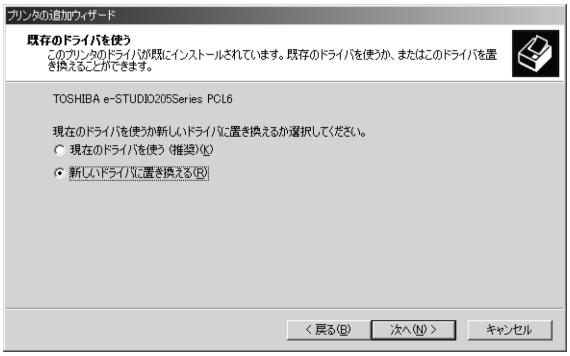
12 プリンタドライバを選択し、[OK]をクリックします。



- すでにコンピュータにインストールされたプリンタドライバがある場合は、「通常使うプリンタ」画面が表示されます。次の手順に進みます。
- コンピュータにインストールされたプリンタドライバがない場合は、プリンタの追加ウィザードの完了画面が表示されます。手順14に進みます。

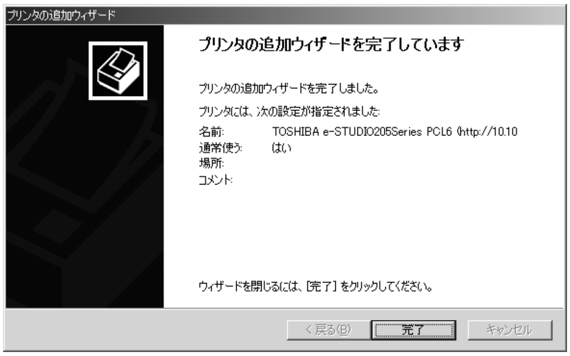
注 意

すでに同じプリンタドライバがインストールされていた場合は、次のダイアログボックスが表示されます。表示されたら「新しいドライバに置き換える」を選択して[次へ]をクリックします。



13 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。

14 [完了]をクリックします。



プリンタドライバがインストールされます。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

P.176「プリンタドライバを使用する前に」

— Windows Vista

プリンタの追加ウィザードからプリンタドライバをインストールする（IPP印刷）

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」のユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。なお、Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」機能によりユーザーアカウントを一時的に変更することができますので、詳細はシステム管理者へお問い合わせください。

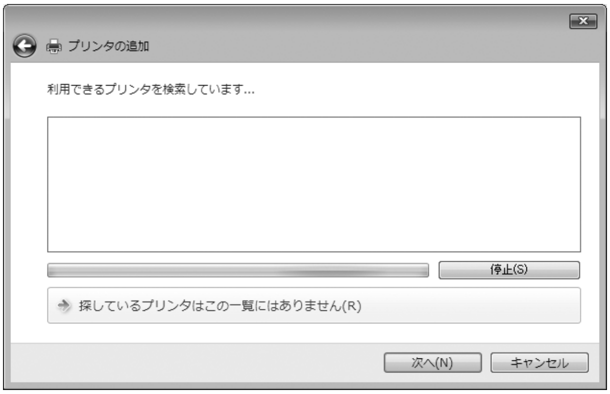
1 [スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]→[プリンタ]の順にクリックし、プリンタフォルダを開きます。

2 [プリンタのインストール]をクリックします。

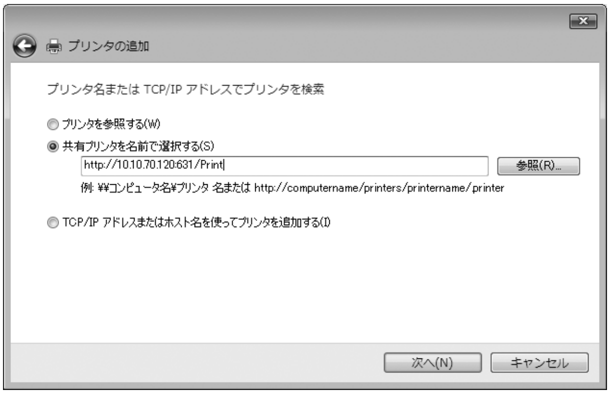
- 「プリンタの追加」ダイアログボックスが表示されます。

3 [ネットワーク、ワイヤレスまたはBluetoothプリンタを追加します]をクリックします。

4 「探しているプリンタはこの一覧にありません」を選択します。



5 「共有プリンタを名前で選択する」を選択して「http://[IPアドレス]:631/Print」と入力します。



- [IPアドレス]の箇所には、本機のIPアドレスを入力します。
  例：IPアドレスが「10.10.70.120」の場合
  http://10.10.70.120:631/Print
- ネットワークでDNSまたはWINSサーバーを使用している場合は、IPアドレスの代わりに本機のサーバー名を入力します。
  例：サーバー名が「Mfp-04998820」の場合
  http://Mfp-04998820:631/Print
- インターネットから接続している場合は、IPアドレスの代わりに本機のFQDNを入力します。
  例：URLが「Mfp-04998820.ifax.com」の場合
  http://Mfp-04998820.ifax.com:631/Print

注 意

IPP URLの「Print」の「P」は必ず大文字で入力する必要があります。Windows Vistaをお使いの場合、小文字で「print」と入力しても、IPPポートが作成できてしまいますが、正常に印刷することはできません。誤って小文字の「print」でIPPポートを作成してしまった場合は、IPPポートをいったん削除してから、正しいIPP URLを指定してIPPポートを作成し直してください。

補 足

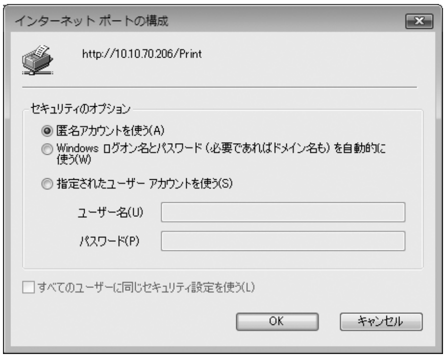
管理者が本機上でIPPポート80機能を有効に設定している場合は、ポート番号をURLから除外することができます（例：http://10.10.70.120/Print）。

6 [次へ]をクリックします。

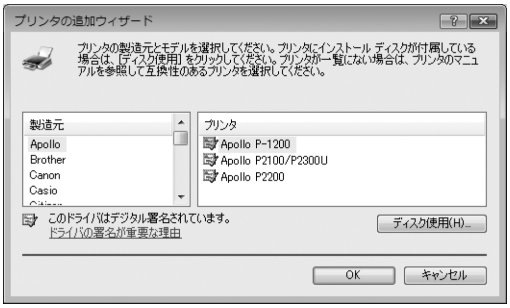
- 選択したMFPとの接続確認用のダイアログボックスが表示されますので、完了するまでお待ちください。

注 意

IPP印刷の認証設定が有効になっている場合は、ユーザ名およびパスワードの入力画面が表示されます。画面が表示された場合は、ユーザ名およびパスワードを入力し[OK]をクリックします。ユーザ名およびパスワードについては、管理者にお尋ねください。

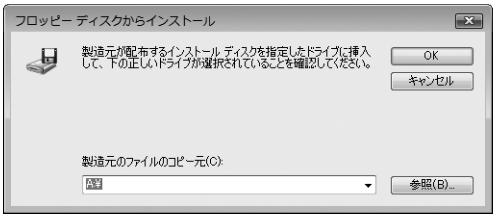


7 [ディスク使用...]をクリックします。



- 「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

8 [参照...]をクリックします。



- 「ファイルの場所」ダイアログボックスが表示されます。

9 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

- Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

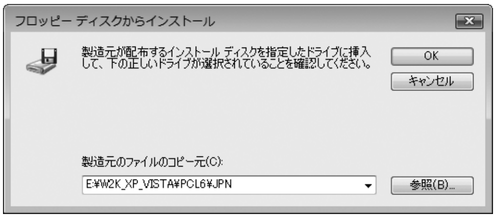
10 Windows Vista用のプリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く]をクリックします。

- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_VISTA¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_VISTA¥PS¥JPN

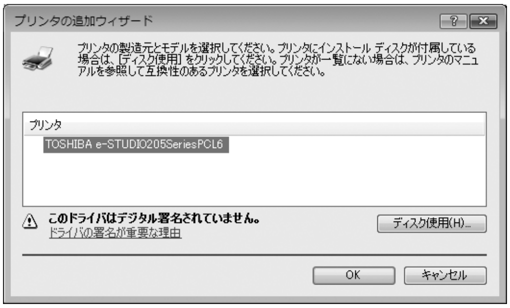
注 意

Windows Vista x64をお使いの場合は、以下フォルダを選択してください。
- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥XP_VISTA_X64¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥XP_VISTA_X64¥PS¥JPN

11 [OK]をクリックします。



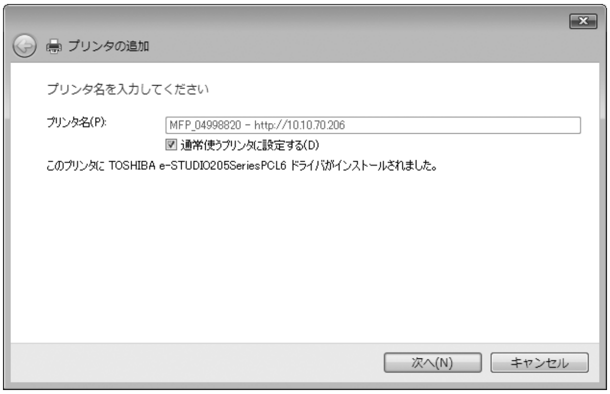
12 プリンタドライバを選択し、[OK]をクリックします。



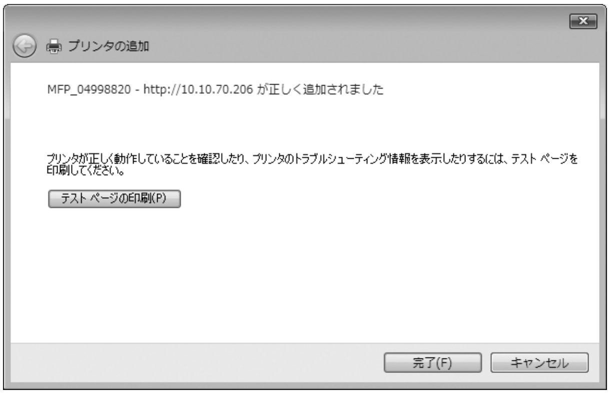
注 意

- ユーザアカウントコントロールが有効の場合は、「デバイスドライバのインストール」ダイアログボックスが表示されますので[続行]をクリックしてインストールを続けてください。
- 「Windowsセキュリティ」ダイアログボックスが表示されましたら「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックしてインストールを続けてください。

13 このプリンタを通常使うプリンタにするかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。



14 [完了]をクリックします。



- プリンタドライバがインストールされます。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

クライアントソフトウェアをインストールする(Novell印刷)

ここでは、NetWareプリントサーバー環境で利用できるNovell印刷環境でのクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。
インストール方法には、次の3つの方法があります。

- Client Utilities CD-ROMのインストーラを使用する
  Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入すると、インストーラが自動的に起動します。このプログラムからプリンタドライバや他のクライアントソフトウェアをインストールすることができます。プリンタドライバだけでなく他のソフトウェアも同時にインストールする場合には、この方法をお勧めします。
  📖 P.88「インストーラを使ってインストールする(Novell印刷)」
- ポイントアンドプリントを使用する
  NetWare上のネットワークキューをダブルクリックして、プリンタドライバをインストールします。NetWareがNDPSを利用できる場合、サーバーからプリンタドライバをダウンロードできるのでClient Utilities CD-ROMは不要です。
  📖 P.93「ポイントアンドプリントを使ってインストールする(Novell印刷)」
- プリンタの追加ウィザードを使用する
  本機を接続せずにプリンタドライバをインストールしたい場合は、プリンタの追加ウィザードを使用してインストールします。
  📖 P.101「プリンタの追加ウィザードを使ってインストールする (Novell印刷)」

注 意

プリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- NetWareサーバーが正しく設定され、ネットワーク上で起動していること。
- IPX/SPXまたはTCP/IP、およびNetWare設定が本機上で正しく設定されていること。

Novell印刷用にクライアントソフトウェアをインストールする前に、下記ネットワークサービスやプロトコルがお使いのコンピュータにインストールされていることをご確認ください。

Windows 98/Me

- TCP/IPプロトコル(TCP/IPネットワークでNetWareを使用する場合に必要)
- IPX/SPX互換プロトコル(IPX/SPXネットワークでNetWareを使用する場合に必要)
- Client for NetWare Network
- Service for NetWare Directory Service(NDSモードでNetWareを使用する場合に必要)

Windows NT 4.0

- TCP/IPプロトコル(TCP/IPネットワークでNetWareを使用する場合に必要)
- NWLink IPX/SPX 互換トランスポートプロトコル(IPX/SPXネットワークでNetWareを使用する場合に必要)
- NWLink NetBIOSプロトコル(IPX/SPXネットワークでNetWareを使用する場合に必要)
- Gateway(およびClient) Services for NetWare

Windows 2000/XP/Server 2003

- NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル（IPX/SPXネットワークでNetWareを使用する場合に必要）
- Gateway（およびClient） Services for NetWare

インストーラを使ってインストールする（Novell印刷）

Client Utilities CD-ROMを使ってクライアントソフトウェアとNovell印刷のセットアップをします。

インストーラを使ってNovell印刷用にクライアントソフトウェアをインストールする

ここでは、Windows 2000にインストールする例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

注 意

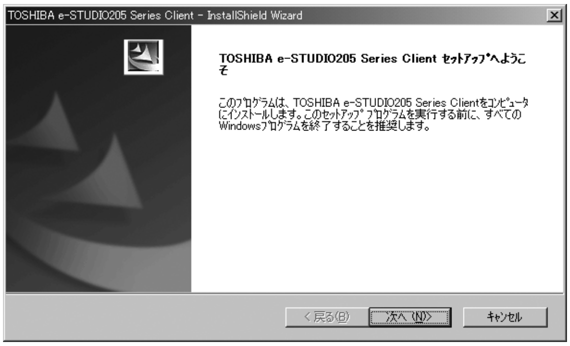
本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。なお、NetWareサーバーへアクセスするためのユーザーアカウントも必要です。

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラが自動的に起動しないときは、CD-ROMをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動してください。

「セットアップへようこそ」の画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックします。



「使用許諾契約」画面が表示されます。

3 使用許諾契約に同意する場合は、[はい]をクリックします。

「インストール先の選択」画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックします。

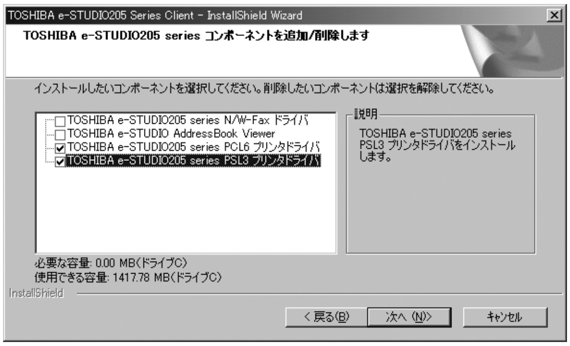
インストール先のフォルダを変更する場合は、[参照]をクリックします。
「フォルダの選択」ダイアログボックスが表示されますので、インストール先のフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

「セットアップタイプ」画面が表示されます。

5 [カスタム]を選択し、[次へ]をクリックします。

「コンポーネントの選択」画面が表示されます。

6 インストールするソフトウェアを選択し、[次へ]をクリックします。



TOSHIBA e-STUDIO205 series PCL6プリンタドライバ:PCL6プリンタドライバをインストールする場合にチェックします。
TOSHIBA e-STUDIO205 series PSL3プリンタドライバ:PS3プリンタドライバをインストールする場合にチェックします。

「ポートの選択」画面が表示されます。

補足

「コンポーネントの選択」ダイアログボックスには、他のソフトウェアも表示されます。(これらも必要に応じてインストールすることが可能です。)

7 「ネットワークパスまたはキュー名」にキュー名を入力し、[次へ]をクリックします。

NDS/NDPSモードの例

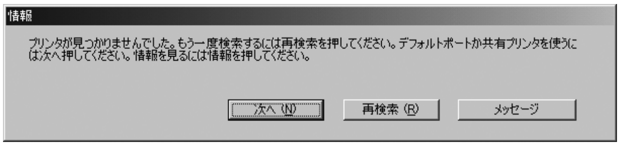
ルート=Org、コンテキスト=dept1、キュー名=mfp_queue
¥¥Org¥mfp_queue.dept1

バインダリモードの例

NetWareサーバー名=Nwsrv、キュー名=mfp_queue
¥¥Nwsrv¥mfp_queue

注 意

- 本機が自動的に検出され「ネットワークプリンタ」フィールドに表示されても、「ローカルポート」を選択し、上記の設定を行ってください。この設定をせずに[次へ]をクリックしてインストール手順を続けても、インストールは正しく行われません。
- 以下のメッセージが表示された場合は、[次へ]をクリックしてください。



補 足

本機のキューは管理者によって作成されています。本機のキューが不明の場合は、管理者にお聞きください。

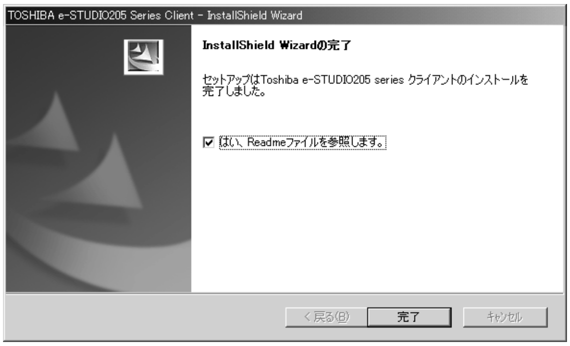
8 [次へ]をクリックします。

- プログラムフォルダを変更する場合は、「プログラムフォルダ」フィールドに表示されている名前を変更します。
- ファイルのコピーが開始されます。ファイルのコピーを完了すると、「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されます。

注 意

インストールの途中でデジタル署名が見つからない旨を報告するダイアログボックスが表示された場合は、[続行]をクリックしてインストールを続けてください。

9 [完了]をクリックします。



インストールが完了します。

注 意

場合によって再起動を要求する画面が表示されることがあります。その場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックします。

10 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

P.176「プリンタドライバを使用する前に」

ポイントアンドプリントを使ってインストールする（Novell印刷）

ポイントアンドプリントを使ってNovell印刷用にプリンタドライバをインストールする手順は、Windowsのバージョンにより異なります。

📖 P.93「Windows 98/Me」
📖 P.97「Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003」

— Windows 98/Me

ポイントアンドプリントを使ってプリンタドライバをインストールする（Novell印刷）

1　エクスプローラを使ってネットワーク上のNetWareキューを開き、キューをダブルクリックします。

NetWareがバインダリモードでセットアップされている場合には、NetWareファイルサーバーを開き本機のキューをダブルクリックします。

NetWareがNDSまたはNDPSモードでセットアップされている場合には、NDSツリーとコンテキストを参照し、本機のキューをダブルクリックします。

「プリンタ」ダイアログボックスが表示されます。

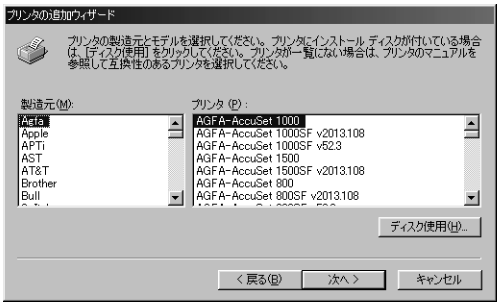
2 [はい]をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

3 MS-DOSアプリケーションから印刷するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。

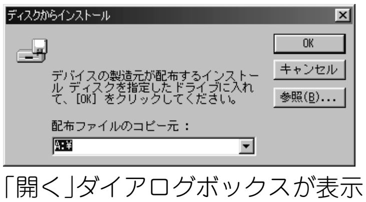
- NDPSモードでNetWareを利用されており、各OSのプリンタドライバがNDPSブローカーにインストールされている場合にはプリンドライバは自動的にインストールされます。手順10へ進みます。
- NDPSモードでNetWareを利用せず、各OSのプリンタドライバがNDPSブローカーにインストールされていない場合には、プリンタの追加ウィザードボックスが表示されます。次の手順へ進みます。

4 [ディスク使用...]をクリックします。



「フロッピーディスクディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

5 [参照...]をクリックします。



「開く」ダイアログボックスが表示されます。

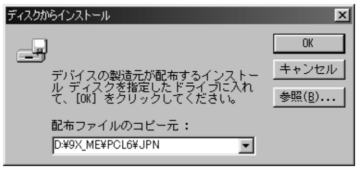
6 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

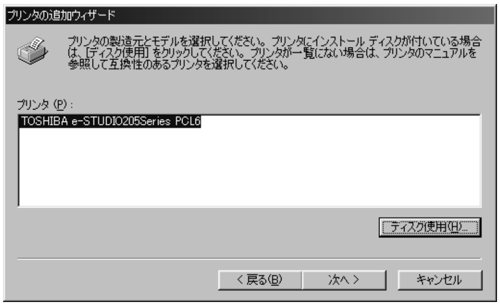
7 Windows 98/Me用のプリンタドライバがあるフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

- PCL6プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥9X_ME¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥9X_ME¥PS¥JPN

8 [OK]をクリックします。

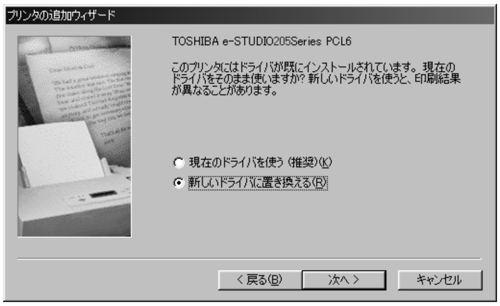


9 プリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。

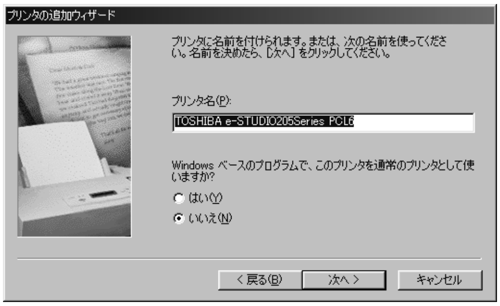


注 意

すでに同じプリンタドライバがインストールされている場合は以下のダイアログボックスが表示されますので「新しいドライバに置き換える」を選択して[次へ]をクリックします。



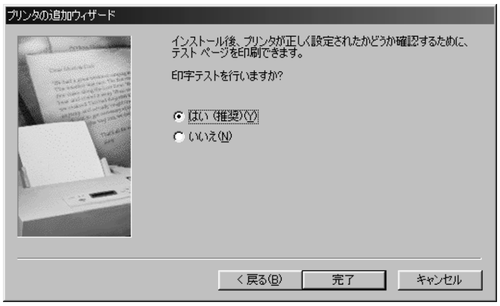
10 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ]をクリックします。



補 足

お使いのコンピュータに別のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常のプリンタとして使用するかどうかを選択してください。

11 テストページを印刷する場合は「はい」を選択し、[完了]をクリックします。



12 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成を手動でセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

— Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003

ポイントアンドプリントを使ってプリンタドライバをインストールする（Novell印刷）

ここでは、Windows 2000を例にとり手順を説明します。Windows NT4.0/XP/Server 2003をお使いの場合も手順は同じです。

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。

1 エクスプローラを使ってネットワーク上のNetWareキューを開き、キューをダブルクリックします。

NetWareがバインダリモードでセットアップされている場合には、NetWareファイルサーバーを開き本機のキューをダブルクリックします。

NetWareがNDSまたはNDPSモードでセットアップされている場合には、NDSツリーとコンテキストを参照し、本機のキューをダブルクリックします「プリンタ」ダイアログボックスが表示されます。

2 [はい]をクリックします。

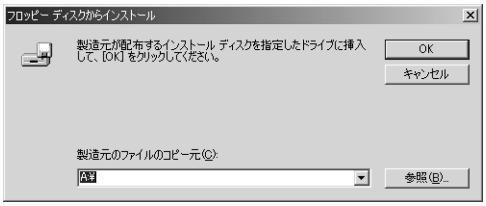
- NDPSモードでNetWareを利用されており、各OSのプリンタドライバがNDPSブローカーにインストールされている場合にはプリンドライバは自動的にインストールされます。手順10へ進みます。
- NDPSモードでNetWareを利用せず、各OSのプリンタドライバがNDPSブローカーにインストールされていない場合には、プリンタの追加ウィザードボックスが表示されます。次の手順へ進みます。

3 [OK]をクリックします。

4 [ディスク使用...]をクリックします。

「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

5 [参照...]をクリックします。



「ファイルの場所」ダイアログボックスが表示されます。

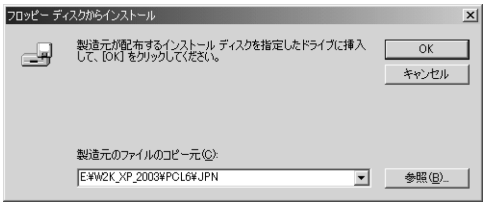
6 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

7 Windows 2000/XP/Server 2003用のプリンタドライバのあるフォルダを開き、INFファイルを選択し、[開く]をクリックします。

- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_2003¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_2003¥PS¥JPN

8 [OK]をクリックします。



9 プリンタドライバを選択し、[OK]をクリックします。

10 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成を手動でセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

プリンタの追加ウィザードを使ってインストールする（Novell印刷）

Novell印刷用にプリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする手順は、お使いのWindowsのバージョンによって異なります。

📖 P.101「Windows 98/Me」
📖 P.108「Windows NT 4.0」
📖 P.115「Windows 2000/XP/Server 2003」

— Windows 98/Me

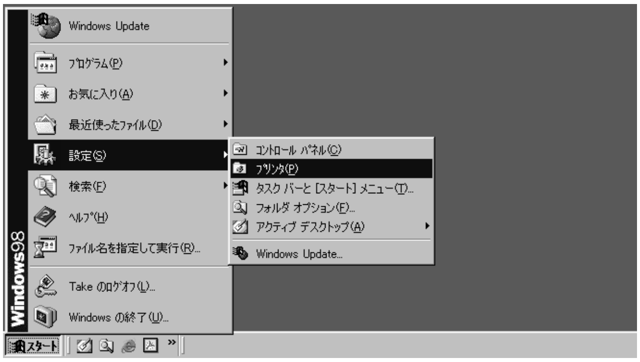
ここでは、Windows 98にインストールする例で説明します。Windows Meをお使いの場合も手順は同じです。

インストール手順は、次の2つの手順から構成されます。

- プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（Novell印刷）
📖 P.101「プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（Novell印刷）」
- ポートを設定する（Novell印刷）
📖 P.105「ポートを設定する（Novell印刷）」

プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（Novell印刷）

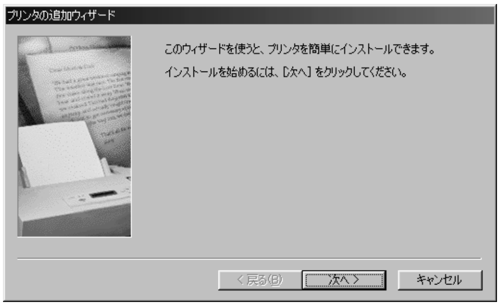
1 [スタート]→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、プリンタフォルダを開きます。



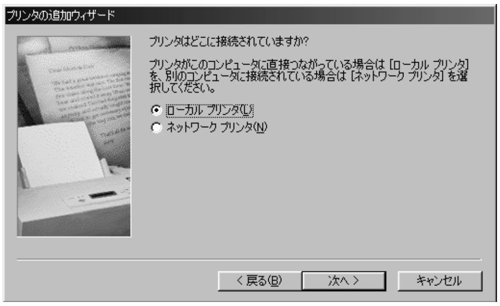
2　[プリンタの追加]をダブルクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

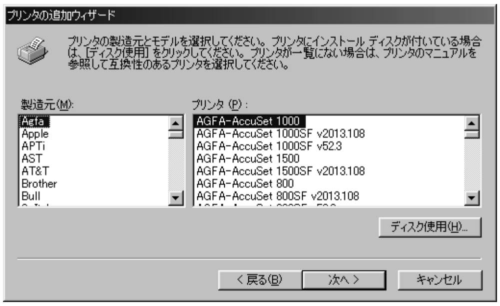
3　[次へ]をクリックします。



4　「ローカルプリンタ」を選択し[次へ]をクリックします。

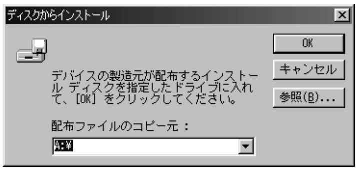


5 [ディスク使用...]をクリックします。



「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

6 [参照...]をクリックします。



「開く」ダイアログボックスが表示されます。

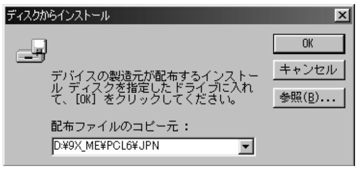
7 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

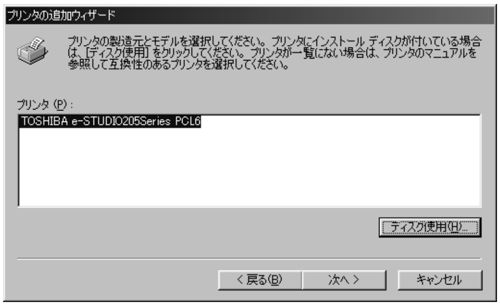
8 Windows 98/Me用のプリンタドライバがあるフォルダを選択し、[OK]をクリックします。

- PCL6プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥9X_ME¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥9X_ME¥PS¥JPN

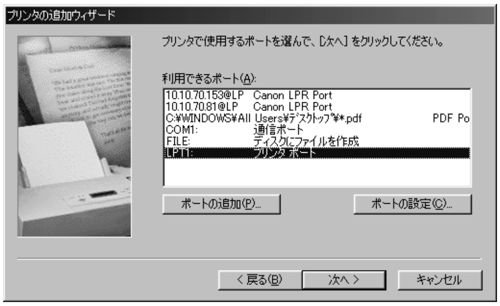
9 **[OK]をクリックします。**



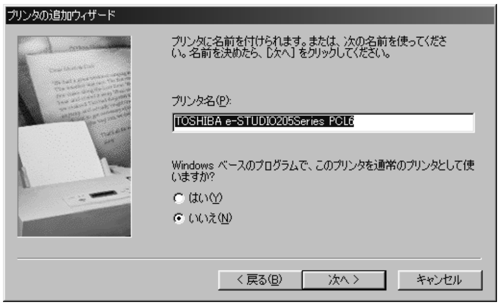
10 **プリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。**



11 **「LPT1:」を選択し、[次へ]をクリックします。**



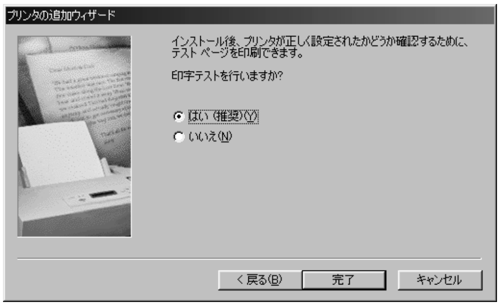
12 **必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ]をクリックします。**



補 足

お使いのコンピュータに別のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常のプリンタとして使用するかどうかを選択します。

13 テストページを印刷する場合は「はい」を選択し、[完了]をクリックします。



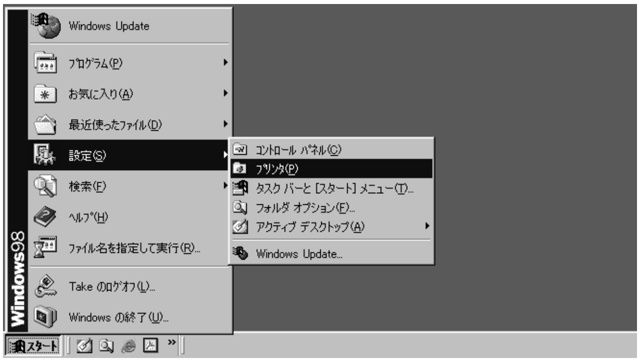
ファイルのコピーが始まります。

14 プリンタドライバのインストールを完了し、次のポート設定手順に進みます。

ポートを設定する（Novell印刷）

上記のプリンタドライバのインストールに引き続いて、以下のポート設定を行います。

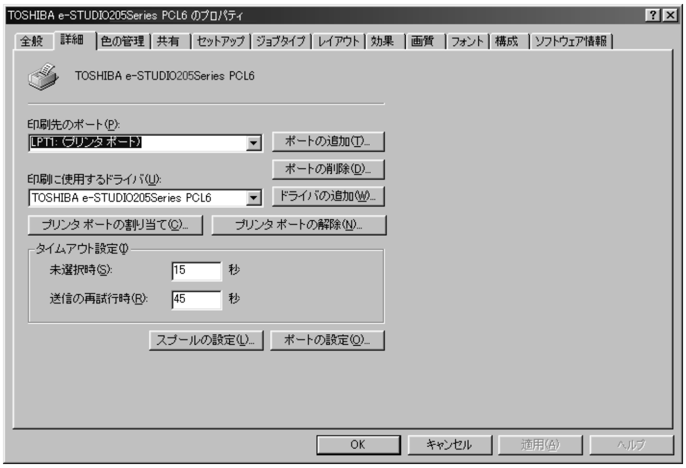
1 [スタート]→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、プリンタフォルダを開きます。



2 プリンタドライバを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。

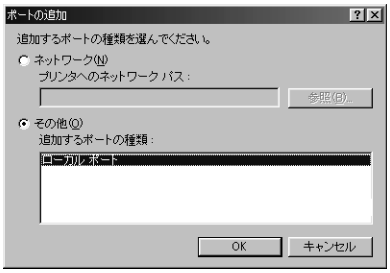
「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 [詳細]タブを選択し、[ポートの追加]をクリックします。



「ポートの追加」ダイアログボックスが表示されます。

4 「その他」を選択し、「ローカルポート」を選択して、[OK]をクリックします。

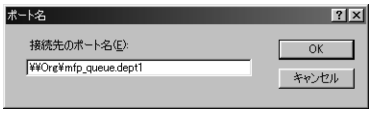


「ポート名」ダイアログボックスが表示されます。

5 「ポート名」にキュー名を入力し、[OK]をクリックします。

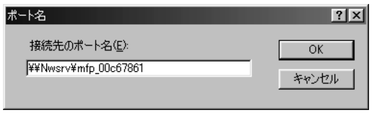
NDS/NDPSモードの例

ルート=Org、コンテキスト=dept1、キュー名=mfp_queue
¥¥Org¥mfp_queue.dept1



バインダリモードの例

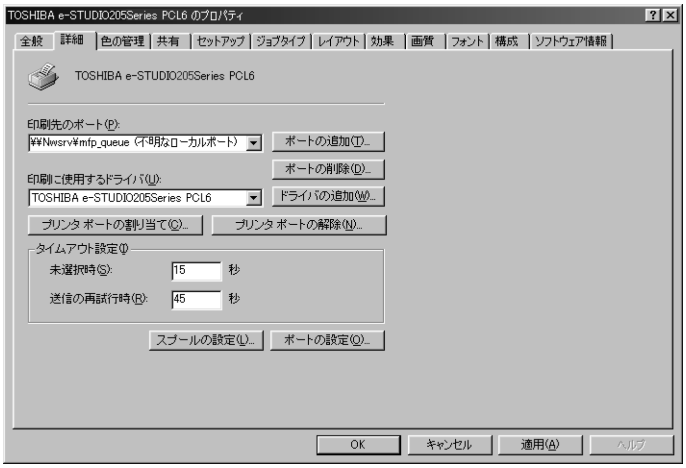
NetWareサーバー名=Nwsrv、キュー名=mfp_queue
¥¥Nwsrv¥mfp_queue



補 足

本機のキューは管理者によって作成されています。本機のキューが不明の場合は、管理者にお聞きください。

6 「OK」をクリックし設定を保存します。



7 設定を完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

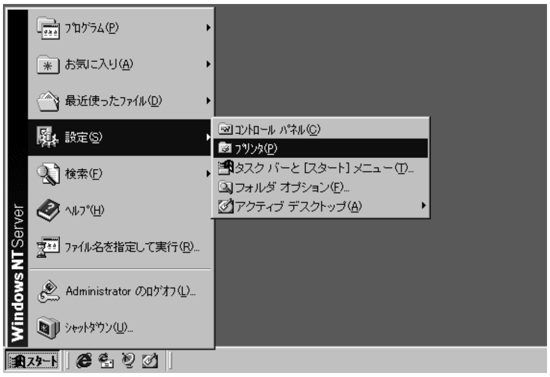
— Windows NT 4.0

プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（Novell印刷）

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。

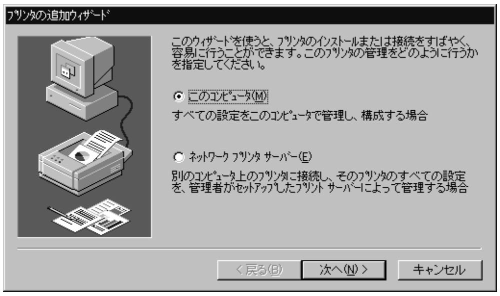
1 **[スタート]→[設定]→[プリンタ]の順にクリックし、プリンタフォルダを開きます。**



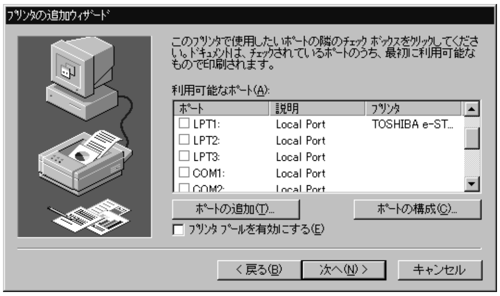
2 **[プリンタの追加]をダブルクリックします。**

「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

3 「このコンピュータ」を選択し、[次へ]をクリックします。

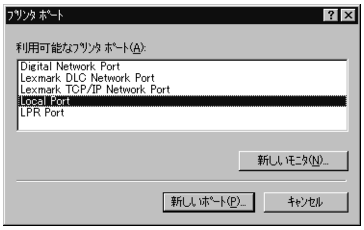


4 「ポートの追加...」をクリックします。



「プリンタポート」ダイアログボックスが表示されます。

5 「Local Port」を選択し、[新しいポート...]をクリックします。

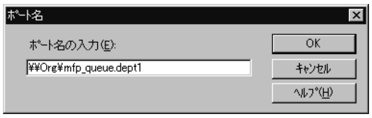


「ポート名」ダイアログボックスが表示されます。

6 「ポート名」にキュー名を入力し、[OK]をクリックします。

NDS/NDPSモードの例

ルート=Org、コンテキスト=dept1、キュー名=mfp_queue
￥￥Org￥mfp_queue.dept1



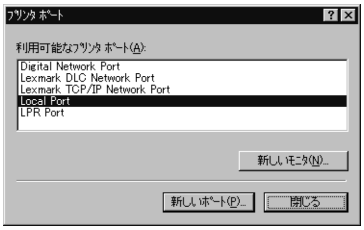
バインダリモードの例

NetWareサーバー名=Nwsrv、キュー名=mfp_queue
￥￥Nwsrv￥mfp_queue

補 足

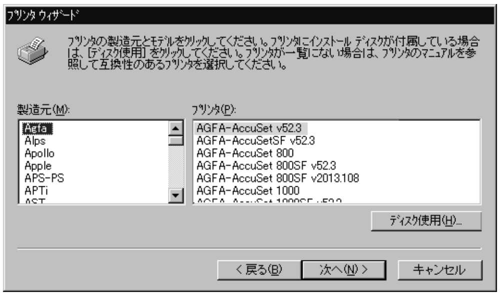
本機のキューは管理者によって作成されています。本機のキューが不明の場合は、管理者にお聞きください。

7 「閉じる」をクリックします。



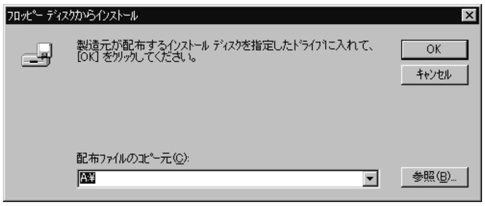
8 追加したポートが選択されていることを確認したら、[次へ]をクリックします。

9 [ディスク使用...]をクリックします。



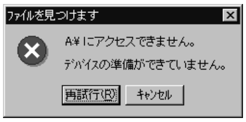
「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

10 [参照...]をクリックします。



「A:¥にアクセスできません」メッセージが表示されます。

11 [キャンセル]をクリックします。



「ファイルを見つけます」ダイアログボックスが表示されます。

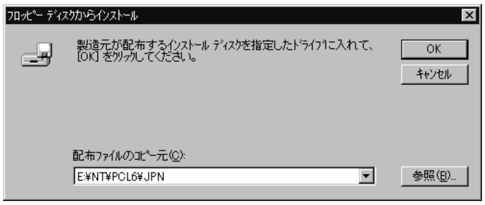
12 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

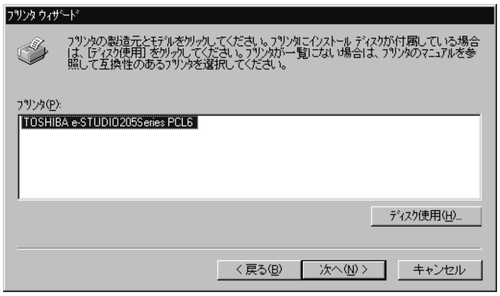
13 **Windows NT 4.0用のプリンタドライバがあるフォルダを選択し、[開く]をクリックします。**

- PCL6プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥NT¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥NT¥PS¥JPN

14 **[OK]をクリックします。**

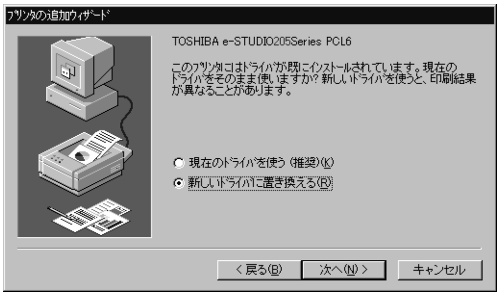


15 プリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。



注 意

すでに同じプリンタドライバがインストールされていた場合は、次のダイアログボックスが表示されます。表示されたら「新しいドライバに置き換える」を選択して[次へ]をクリックします。



16 必要に応じてプリンタ名を変更し、[次へ]をクリックします。

補 足

お使いのコンピュータに別のプリンタドライバがインストールされている場合は、このプリンタを通常のプリンタとして使用するかどうかを選択してください。

17 このプリンタを共有するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。

補 足

「共有する」を選択した場合には、他のクライアントが利用するOSのプリンタドライバをインストールすることができます。その場合には、手順9から手順15の操作を繰り返して選択したOSのプリンタドライバをインストールしてください。

18 テストページを印刷する場合は「はい」を選択し、[完了]をクリックします。

19 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

— Windows 2000/XP/Server 2003

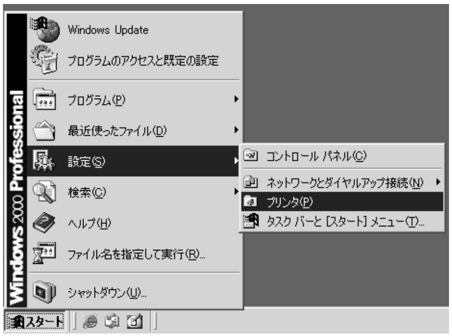
ここでは、Windows 2000にインストールする例で説明します。Windows XP、Windows Server 2003をお使いの場合も手順は同じです。

注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。

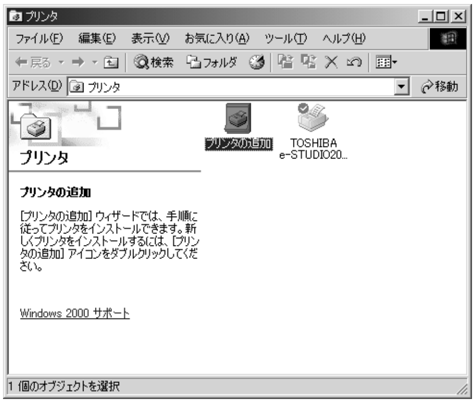
プリンタの追加ウィザードを使ってプリンタドライバをインストールする（Novell印刷）

1 **[スタート]→[設定]→[プリンタ]（Windows XP/Server 2003の場合[スタート]→[プリンタとFAX]）の順にクリックします。**



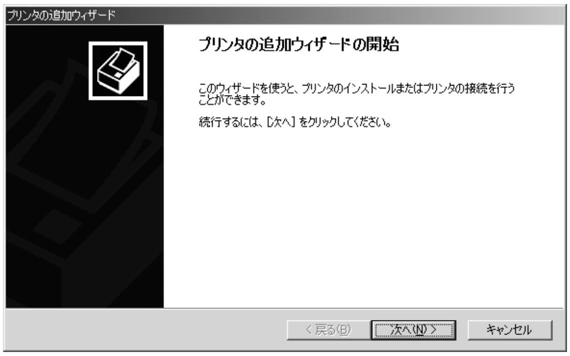
プリンタ（プリンタとFAX）フォルダが開きます。

2 **[プリンタの追加]をダブルクリックします。**

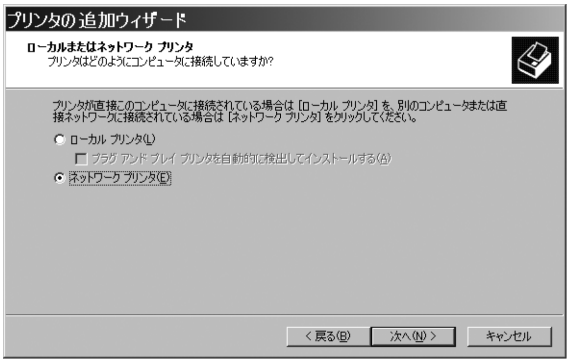


- Windows XP/Server 2003をお使いの場合はプリンタのタスク内の「プリンタのインストール」をクリックします。
- 「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

3 [次へ]をクリックします。



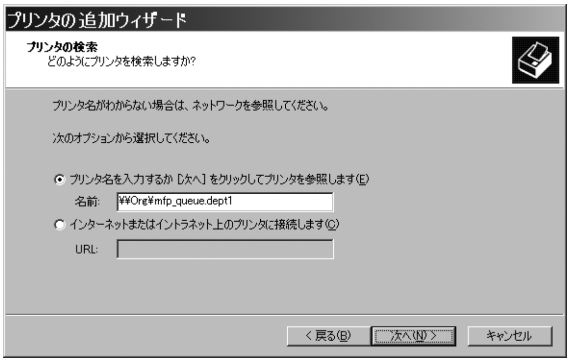
4 「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ]をクリックします。



5 「プリンタ名を入力するか[次へ]をクリックしてプリンタを参照します」を選択し、「名前」フィールドにキュー名を入力してから[次へ]をクリックします。

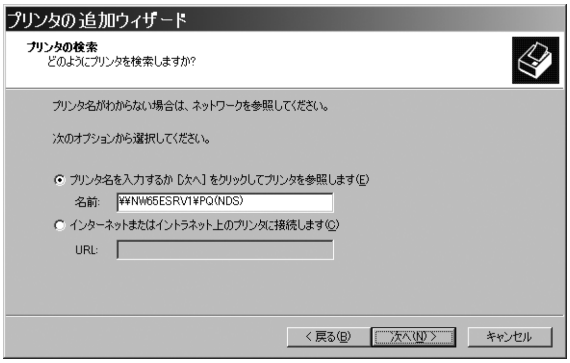
NDS/NDPSモードの例

ルート=Org、コンテキスト=dept1、キュー名=mfp_queue
￥￥Org￥mfp_queue.dept1



バインダリモードの例

NetWareサーバー名=Nwsrv、キュー名=mfp_queue
￥￥Nwsrv￥mfp_queue

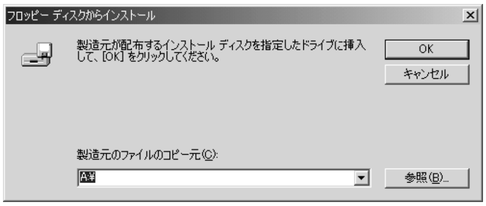


6 [OK]をクリックします。

7 [ディスク使用...]をクリックします。

「ディスクからインストール」ダイアログボックスが表示されます。

8 [参照...]をクリックします。



「ファイルの場所」ダイアログボックスが表示されます。

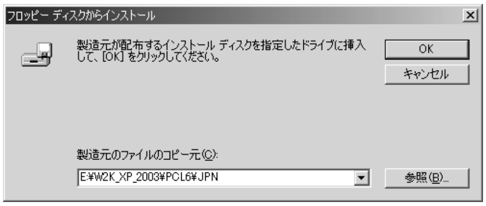
9 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。

Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると、自動的にインストーラが起動することがあります。この場合は、表示された画面の[キャンセル]をクリックしてインストーラを終了します。

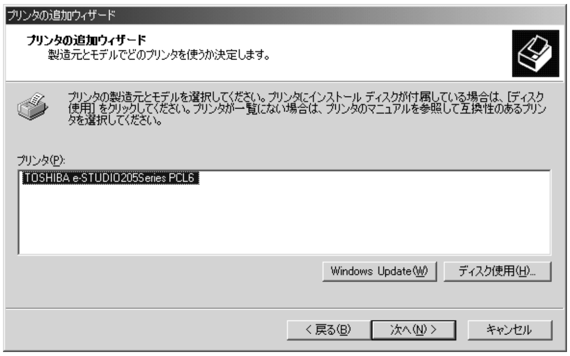
10 Windows 2000/XP/Server 2003用のプリンタドライバがあるフォルダを選択し、[開く]をクリックします。

- PCL6プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_2003¥PCL6¥JPN
- PS3プリンタドライバ:
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_2003¥PS¥JPN

11 [OK]をクリックします。



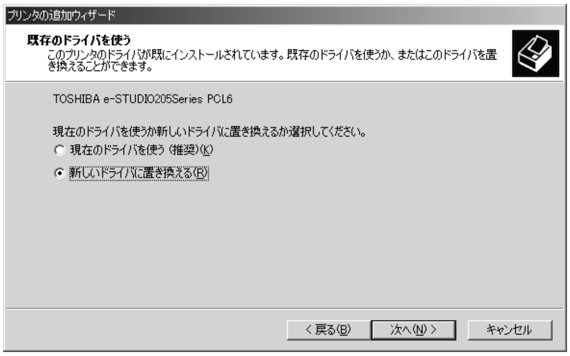
12 プリンタドライバを選択し、[次へ]をクリックします。



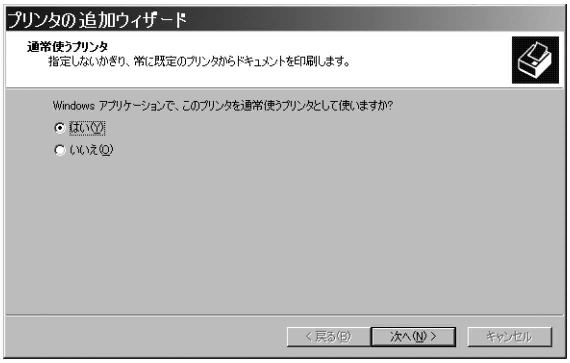
- すでにコンピュータにインストールされたプリンタドライバがある場合は、「通常使うプリンタ」画面が表示されます。次の手順に進みます。
- コンピュータにインストールされたプリンタドライバがない場合は、プリンタの追加ウィザードの完了画面が表示されます。手順14に進みます。

注 意

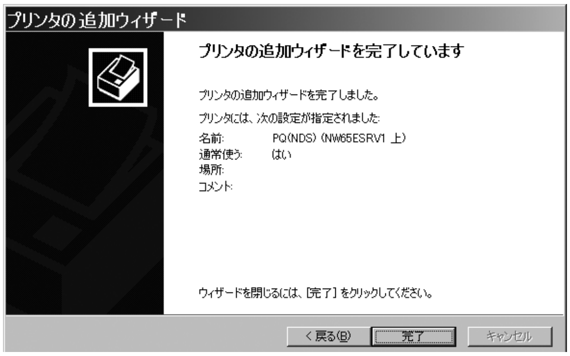
お使いのコンピュータにすでに同じプリンタドライバがインストールされていた場合は、次のダイアログボックスが表示されます。表示されたら「新しいドライバに置き換える」を選択して[次へ]をクリックします。



13 通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。



14 [完了]をクリックします。



ファイルのコピーが始まります。

15 インストールを完了します。

注 意

インストールしたプリンタドライバを使用して印刷を行う前に、本機に装着されている各オプションユニットのオプション構成をセットアップしてください。また必要に応じて部門コードをセットアップしてください。

📖 P.176「プリンタドライバを使用する前に」

プリンタドライバをインストールする(iPrint印刷)

ここでは、Novell iPrint印刷用にプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

注 意

- クライアントコンピュータにiPrintをセットアップするには、NetWareサーバーがiPrint用にセットアップされている必要があります。NetWareサーバーにNovell iPrintをセットアップする手順については、**ネットワーク管理ガイド[印刷編]**を参照してください。
- Novell iPrint用にプリンタドライバをインストールする前に、お使いのコンピュータで以下の環境が満たされていることを確認してください。
  - Microsoft Internet Explorer 5.0以降、またはNetscape 4.76がインストールされていること(Netscape 6はiPrintをサポートしておりません)。
  - ブラウザでJavaScriptが有効に設定されていること。

Novell iPrint用にプリンタドライバをインストールする

クライアントコンピュータにNovell iPrint用のプリンタドライバをインストールするには、iPrint Clientをインストールし、NetWareサーバーからプリンタドライバをダウンロードします。

1 ブラウザを起動し、アドレスバーに以下のURLを入力します。

http://<IPアドレスまたはNDPSマネージャのNDS名>/ipp

注 意

NDPSマネージャのIPアドレスまたはDNS名が分からない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

2 iPrint Clientがインストールされていない場合は、インストールするようメッセージが表示され、iPrint Clientがインストールされます。

3 接続可能なプリンタの一覧からインストールするプリンタをクリックします。

選択したプリンタがコンピュータにインストールされます。

プリンタドライバをアンインストールする

プリンタドライバをアンインストールする場合は、以下の手順で行います。ソフトウェアをインストールした方法によって、アンインストールする手順は異なります。

P.122「インストーラを使ってインストールした場合」
P.127「プリンタの追加ウィザードでインストールした場合」

インストーラを使ってインストールした場合

Client Utilities CD-ROMを挿入したときに自動的に起動するインストーラを使ってソフトウェアをインストールした場合は、Windowsの「アプリケーションの追加と削除」機能を使って関連ファイルをすべて削除することができます。
アンインストールの手順は、すべてのクライアントソフトウェアを削除するか、プリンタドライバのみを削除するかによって異なります。

P.122「クライアントソフトウェアをすべて削除する」
P.124「プリンタドライバのみを削除する」

クライアントソフトウェアをすべて削除する

ここでは、Windows 2000からアンインストールする例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

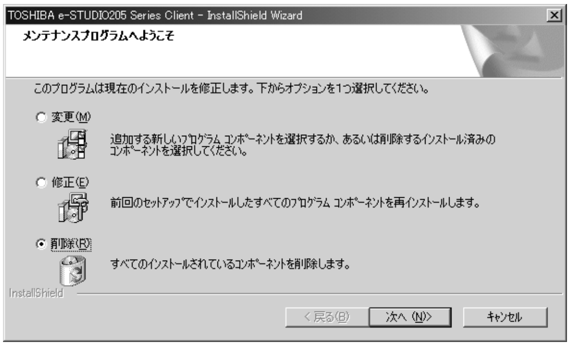
1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **一覧から「TOSHIBA e-STUDIO205 Series Client」を選択し、[変更]または[削除]をクリックします。**

「InstallShield Wizard」ダイアログボックスが表示されます。

3 **「削除」を選択し、[次へ]をクリックします。**



「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

4 **[OK]をクリックします。**

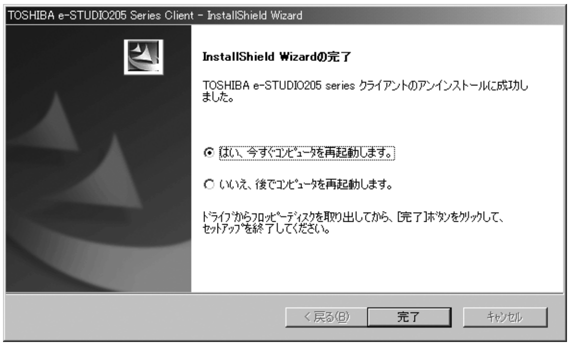
5 **[はい]をクリックし、設定ファイルを削除します。**

ファイルの削除を開始します。

注 意

クライアントソフトウェアを後で再インストールする場合は、[いいえ]をクリックし、設定情報を残しておいてください。これにより、クライアントソフトウェアの設定情報を再インストール時に引き継ぐことができます。

6 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックして、コンピュータを再起動します。



いくつかのファイルは、再起動後に削除されます。

プリンタドライバのみを削除する

プリンタドライバのみを削除したい場合は、以下の手順でクライアントソフトウェアのアンインストールを行います。ここでは、Windows 2000からアンインストールする例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

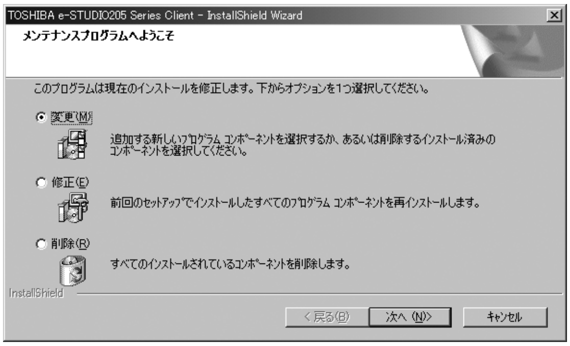
1 「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

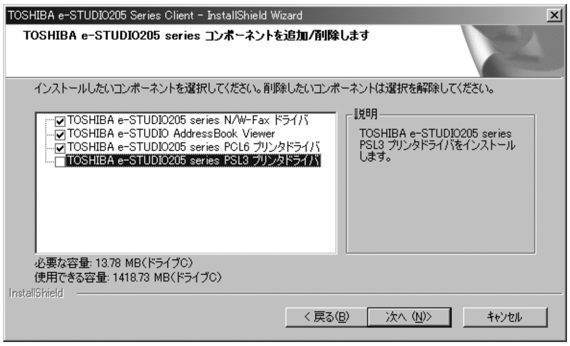
2 一覧から「TOSHIBA e-STUDIO205 Series Client」を選択し、[変更]または[削除]をクリックします。

「InstallShield Wizard」ダイアログボックスが表示されます。

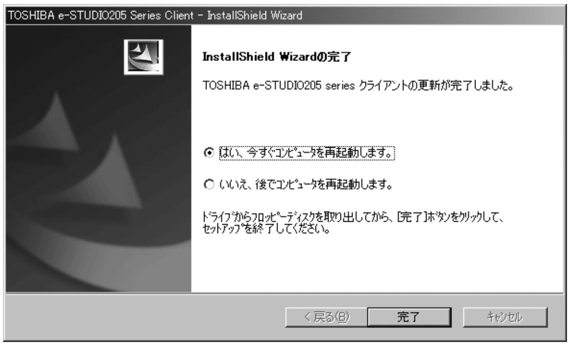
3 「変更」を選択し、[次へ]をクリックします。



4 削除したいクライアントソフトウェアのチェックボックスを解除し、[次へ]をクリックします。



5 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックして、コンピュータを再起動します。



いくつかのファイルは、再起動後に削除されます。

プリンタの追加ウィザードでインストールした場合

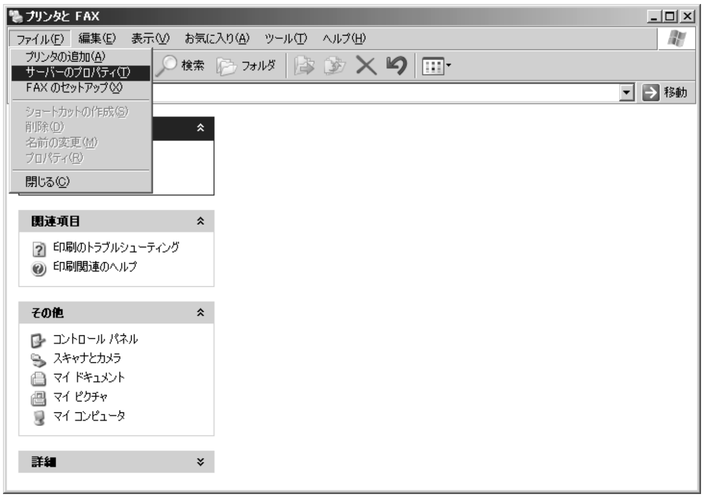
「プリンタの追加ウィザード」や「ポイントアンドプリント」を使ってプリンタドライバのみをインストールした場合は、プリンタフォルダのプリンタアイコンを削除します。

プリンタドライバを削除する

1 **「プリンタ」フォルダを開き、削除したい プリンタドライバアイコンを選択して、[ファイル]メニューから[削除]を選択します。**

- Windows 98/MeまたはWindows NT 4.0をお使いの場合は、上記手順でドライバの削除は完了します。
- Windows Vistaをお使いの場合は、プリンタドライバのアイコンを選択して、「整理」タブから「削除」をクリックします。
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vistaをお使いの場合は、引き続き以下の手順を行ってください。

2 **[ファイル]メニューをクリックし、[サーバーのプロパティ]を選択します。**



- 「プリントサーバーのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
- Windows Vistaをお使いの場合は、以下の手順となります。
  - 「プリンタ」フォルダのなにもない部分を右クリックし、表示されるメニューから[管理者として実行]→[サーバーのプロパティ]の順にクリックします。
  - 「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されますので[続行]をクリックします。

3 ［ドライバ］タブを表示し、「インストールされたプリンタドライバ」一覧からプリンタドライバを選択して、［削除］をクリックします。

- 削除の確認ダイアログボックスが表示されます。
- Windows Vistaをお使いの場合は、［削除］を選択後以下の手順となります。
  - 「ドライバとパッケージの削除」ダイアログが表示されますので［ドライバとドライバパッケージを削除する］を選択し、［OK］をクリックします。
  - 「プリントサーバーのプロパティ」ダイアログが表示されますので［はい］をクリックします。
  - 「ドライバパッケージ情報は収集されました」と表示されますので［削除］をクリックします。
  - 「ドライバパッケージは削除されました」と表示されますので［OK］をクリックします。

4 ［はい］をクリックします。

プリンタドライバが完全に削除されます。

Macintoshクライアントソフトウェアをインストールする

下記を参照し、Macintoshコンピュータに印刷システムを構築します。

📖 P.129「Macintoshのクライアントソフトウェアについて」

📖 P.129「計画と準備」

📖 P.130「プリンタをインストールする(Mac OS 8.6/9.x)」

📖 P.136「プリンタをインストールする(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)」

Macintoshのクライアントソフトウェアについて

PostScriptプリンタ記述ファイル(PPD)

Macintosh用PPD(PostScript Printer Description)ファイルには、本機が提供する固有機能の情報が記述されています。
本機では、Mac OS 8.6/9.x用PPDファイル、およびMac OS X用PPDファイル、2種類のPPDファイルを提供しています。
Mac OS 8.6/9.x用PPDファイルは、Macintosh標準のLaserWriter 8バージョン8.6.5(またはそれ以降)で使用することができます。このPPDファイルを使用し、Mac OS 8.6、Mac OS 9.x、およびMac OS X 10.1/10.2 Classic環境から印刷を行うことができます。
Mac OS X用PPDファイルは、Mac OS X 10.2.4〜10.4.xのMacintoshコンピュータのプリントセンターで使用することができます。

計画と準備

必要条件

Mac OSコンピュータにプリンタドライバをインストールするには、下記環境が必要です。

ディスプレイ解像度:	1024 x 768ドット以上
OS:	Mac OS 8.6/9.x, Mac OS X 10.1/10.2 Classic環境
	Mac OS X 10.2.4〜10.4.x
プロトコル:	TCP/IP、AppleTalk(Ethernet)、Bonjour
プリンタドライバ:	LaserWriter 8プリンタドライバ バージョン8.6.5以降
	(Mac OS Xをお使いの場合は不要です。)

注 意

Mac OS X 10.1/10.2については、Mac OS 8.6/9.x用PPDファイルを使ってClassic環境からの印刷をサポートしています。Mac OS X 10.2.4〜10.4.xについては、専用のPPDファイルが用意されています。

Macintoshクライアントソフトウェアのインストール手順一覧

以下に各PPDファイルのインストールとプリンタ設定手順の参照先一覧を示します。

OS	内容	参照先
Mac OS 8.6/9.x	PPDファイルのインストール	📖 P.130「Macintosh PPDファイルをインストールする」
	LPR印刷	📖 P.131「Macintosh LPR印刷をセットアップする」
	AppleTalk印刷	📖 P.135「Macintosh AppleTalk印刷をセットアップする」
Mac OS X 10.2.4～10.3.x	PPDファイルのインストール	📖 P.136「Macintosh PPDファイルをインストールする」
	IP印刷	📖 P.140「Macintosh LPR印刷をセットアップする(Mac OS X 10.2.4～10.3.x)」
	IPP印刷	📖 P.143「Macintosh IPP印刷をセットアップする(Mac OS X 10.2.4～10.3.x)」
	AppleTalk/Bonjour印刷	📖 P.145「Macintosh AppleTalk/Bonjour印刷をセットアップする(Mac OS X 10.2.4～10.3.x)」
Mac OS X 10.4.x	PPDファイルのインストール	📖 P.136「Macintosh PPDファイルをインストールする」
	IP印刷	📖 P.148「Macintosh IP印刷をセットアップする(Mac OS X 10.4.x)」
	IPP印刷	📖 P.151「Macintosh IPP印刷をセットアップする(Mac OS X 10.4.x)」
	AppleTalk/Bonjour印刷	📖 P.153「Macintosh AppleTalk/Bonjour印刷をセットアップする(Mac OS X 10.4.x)」

プリンタをインストールする(Mac OS 8.6/9.x)

Macintosh PPDファイルをインストールする

Macintosh PPDファイルをお使いのコンピュータの「システムフォルダ:機能拡張:プリンタ記述ファイル」フォルダにコピーします。
このPPDファイルは、Mac OS 8.6/9.xおよびMac OS X 10.1/10.2 Classic環境上で起動しているこれらのオペレーティングシステムからの印刷をサポートします。
なお、Mac OS X 10.1ご使用の場合は、オプションの設定は手動で行う必要があります。

PPDファイルをコピーする

1 Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットし、「MacPPD:OS9:JPN」フォルダを開きます。

2 **Mac OS 8.6/9.x用のStuffItファイルをデスクトップにコピーし解凍します。**

注 意

ファイルを解凍するには、StuffItユーティリティがお使いのMacintoshコンピュータにインストールされている必要があります。ファイルの解凍方法については、お使いのStuffItユーティリティの操作説明書を参照してください。

3 **起動ディスクのアイコンをダブルクリックし、「システムフォルダ：機能拡張：プリンタ記述ファイル」フォルダを開きます。**

4 **解凍されたPPDファイルを選択し、プリンタ記述ファイルフォルダにドラッグします。**

5 **引き続いてプリンタ設定を行います。**

📖 P.131「プリンタを設定する」

プリンタを設定する

お使いのコンピュータのプリンタ記述ファイルフォルダにPPDファイルをコピーしたら、プリンタをセットアップします。
本機では、LPR印刷サービスとAppleTalk印刷サービスをサポートしています。

- **LPR印刷**
  本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、LPR印刷を利用することができます。
- **AppleTalk印刷**
  本機とお使いのコンピュータがAppleTalkネットワークで接続されている場合は、AppleTalk印刷を利用することができます。

Macintosh LPR印刷をセットアップする

補 足

LPR印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが正しく設定されていること。
- 本機のLPD印刷サービスが有効であること。
  LPD印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1 デスクトップ・プリンタUtilityを起動します。

- デスクトップ・プリンタUtilityが収められているフォルダは、お使いのMac OSのバージョンによって異なります。どのフォルダに収められているのか不明な場合は、起動ディスクの中で検索してください。
- 「新規」ダイアログボックスが表示されます。

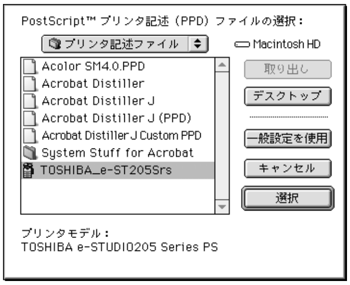
2 「プリンタ」ドロップダウンメニューで「LaserWriter 8」が選択されていることを確認し、「プリンタ(LPR)」を選択して、[OK]をクリックします。

「LPRプリンタの選択」ダイアログボックスが表示されます。

3 PostScriptプリンタ記述(PPD)ファイルエリアで[変更]をクリックします。

「PostScriptプリンタ記述(PPD)ファイルの選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 本機のPPDファイルを選択し、[選択]をクリックします。

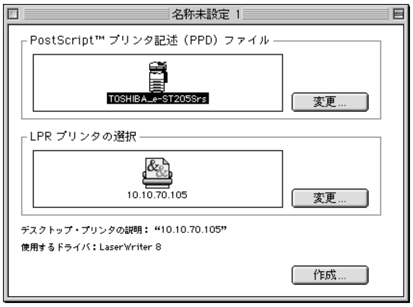


5 LPRプリンタの選択エリアで[変更]をクリックします。

「Internetプリンタ」ダイアログボックスが表示されます。

6 「プリンタアドレス」フィールドに本機のIPアドレスを入力し、「キュー」フィールドに「print」を入力して、[OK]をクリックします。

7 [作成]をクリックします。



8 「デスクトップ・プリンタの保存名」フィールドにプリンタ名を入力し、[保存]をクリックします。

デスクトップにプリンタが追加されます。

9 作成したデスクトッププリンタのアイコンをダブルクリックします。

「デスクトップ・プリンタUtility」ウィンドウが表示されます。

10 [プリンタ]メニューから[設定の変更]を選択します。

「LaserWriterの設定」ダイアログボックスが表示されます。

11 「変更内容」ドロップダウンメニューで設定するオプションの項目を選択し、下のドロップダウンメニューで本機に装着されているオプション装置を選択します。

- **カセット**

未装着： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置を装着していない場合に選択します。

2段目カセット： オプションの給紙ユニットのみを装着している場合に選択します。

2段目 & 3段目： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置（上部カセットのみ）を装着している場合に選択します。

2段目 & 3、4段目： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置（上下カセット）を装着している場合に選択します。

- **ADU**

未装着： オプションの自動両面ユニットを装着していない場合に選択します。

装着： オプションの自動両面ユニットを装着している場合に選択します。

12 [OK]をクリックします。

Macintosh AppleTalk印刷をセットアップする

補 足

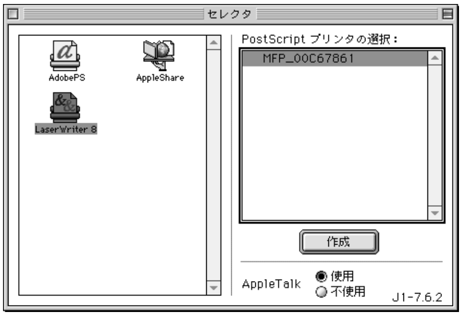
AppleTalk印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- AppleTalkが有効であること。
  AppleTalkが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1 **[アップル]メニューから[セレクタ]を選択します。**

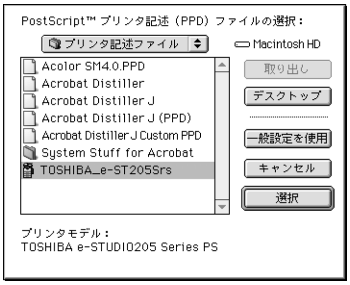
「セレクタ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **LaserWriter 8アイコンを選択します（AppleTalkゾーンが設定されている場合は、ゾーンも選択してください）。プリンタの一覧から本機を選択し、[作成]をクリックします。**

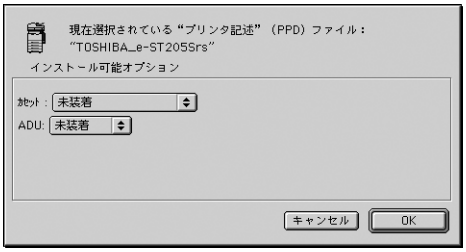


「PostScriptプリンタ記述（PPD）ファイルの選択」ダイアログボックスが表示されます。

3 **本機のPPDファイルを選択し、[選択]をクリックします。**



4 **お使いの環境に合わせてオプション機器の装置を選択し、[OK]をクリックします。**



- **カセット**

  未装着： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置を装着していない場合に選択します。
  2段目カセット： オプションの給紙ユニットのみを装着している場合に選択します。
  2段目 & 3段目： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置(上部カセットのみ)を装着している場合に選択します。
  2段目 & 3、4段目： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置(上下カセット)を装着している場合に選択します。

- **ADU**

  未装着： オプションの自動両面ユニットを装着していない場合に選択します。
  装着： オプションの自動両面ユニットを装着している場合に選択します。

5 **「セレクタ」ダイアログボックスを閉じます。**

デスクトップにプリンタアイコンが作成されます。

プリンタをインストールする(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)

Mac OS X 10.2.4〜10.4.xでプリンタをセットアップする場合は、以下の手順で行います。

📖 P.136「Macintosh PPDファイルをインストールする」
📖 P.140「プリンタを設定する(Mac OS X 10.2.4〜10.3.x)」
📖 P.148「プリンタを設定する(Mac OS X 10.4.x)」
📖 P.156「オプション構成を設定する」

Macintosh PPDファイルをインストールする

本機は、Mac OS X 10.2.4〜10.4.xからの印刷をサポートしています。

PPDファイルをインストールする

注 意

OSのバージョンにより、名前とパスワードを入力するための「認証」ダイアログボックスが表示される時点が異なります。

1 **Client Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットし、「MacPPD：OSX」フォルダを開きます。**

2 **GZIPファイル（TOSHIBA_e-ST205Srs.dmg.gz）をデスクトップにコピーします。**

3 **デスクトップにコピーしたGZIPファイルをダブルクリックします。**

インストーラウィンドウが表示された場合は、手順5に進んでください。

4 **GZIPファイル(TOSHIBA_e-ST205Srs.dmg)をダブルクリックし、Toshiba e-Studio 205 Seriesアイコンをクリックします。**

インストーラウィンドウが表示されます。

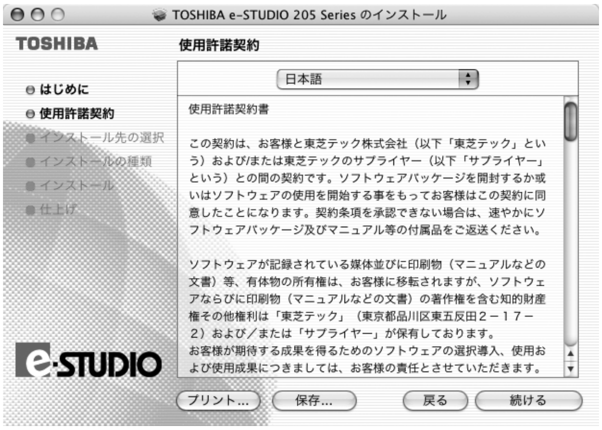
5 **インストーラウィンドウのアイコンをダブルクリックします**

ウェルカムメッセージが表示されます。

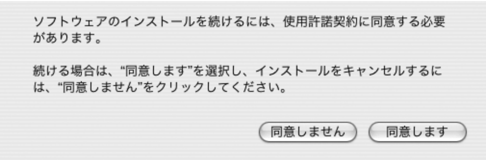
6 **［続ける］をクリックします。**

「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

7 **[続ける]をクリックします。**



8 **[同意します]をクリックします。**

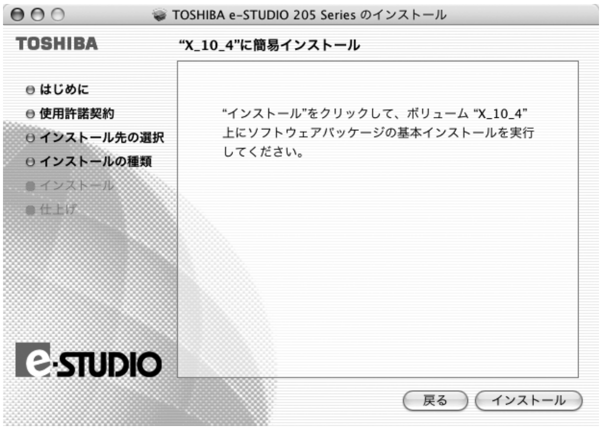


「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。

9 **Mac OS Xの起動ディスクを選択し、[続ける]をクリックします。**

「簡易インストール」ウィンドウが表示されます。

10 [インストール]（または[アップグレード]）をクリックします。



PPDファイルのコピーを開始します。

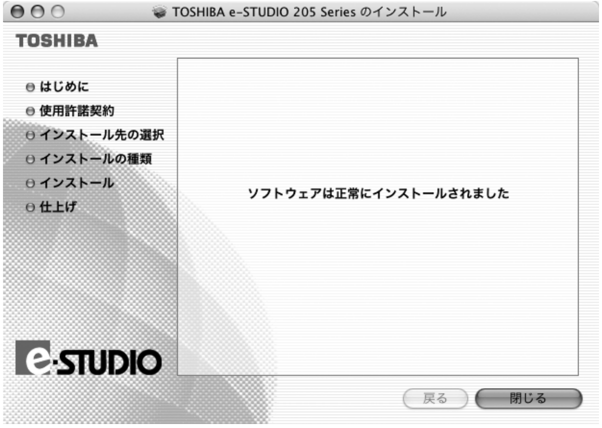
11 管理者の名前とパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

「ソフトウェアをインストール」ウィンドウが表示されます。

注 意

Mac OS X 10.2.4～10.2.8へインストールしている場合、この「認証」ダイアログボックスは表示されません。

12 [閉じる]をクリックします。



13 GZIPファイルや解凍されたインストーラファイルをデスクトップから削除します。

14 引き続いてプリンタ設定を行います。

📖 P.140「プリンタを設定する(Mac OS X 10.2.4～10.3.x)」
📖 P.148「プリンタを設定する(Mac OS X 10.4.x)」

プリンタを設定する(Mac OS X 10.2.4～10.3.x)

本機では、LPR印刷サービス、IPP印刷サービス、AppleTalk印刷サービスおよびBonjour印刷サービスをサポートしています。

- **LPR印刷**
  本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、LPR印刷を利用することができます。
- **IPP印刷**
  本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、IPP印刷を利用することができます。
- **AppleTalk印刷**
  本機とお使いのコンピュータがAppleTalkネットワークで接続されている場合は、AppleTalk印刷を利用することができます。
- **Bonjour印刷(Mac OS X 10.3.xのみ)**
  本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、Bonjour印刷を利用することができます。

Macintosh LPR印刷をセットアップする(Mac OS X 10.2.4～10.3.x)

補 足

LPR印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが正しく設定されていること。
- 本機のLPD印刷サービスが有効であること。LPD印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1 起動ディスクの「アプリケーション:ユーティリティ」フォルダから「プリントセンター」(Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合)または「プリンタ設定ユーティリティ」(Mac OS X 10.3.xの場合)を起動します。

「プリンタリスト」ダイアログボックスが表示されます。

2 ［追加］をクリックします。

3 ドロップダウンメニューで「IPを使用するLPRプリンタ」（または「IPプリント」）を選択します。

4 「LPRプリンタのアドレス」（または「プリンタのアドレス」）フィールドに本機のIPアドレスまたはDNS名を入力します。

5 「サーバー上のデフォルトのキューを使う」チェックボックスのチェックを外し、「キュー名」フィールドに「print」を入力します。

6 「プリンタの機種」ドロップダウンメニューで「TOSHIBA」を選択し、PPDファイルを選択します。

7 [追加]をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

8 引き続き、オプション構成を設定してください。

📖 P.156「オプション構成を設定する」

Macintosh IPP印刷をセットアップする（Mac OS X 10.2.4〜10.3.x）

補 足

IPP印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機のIPP印刷サービスが有効であること。IPP印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1 **起動ディスクの「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダから「プリントセンター」（Mac OS X 10.2.4〜10.2.8の場合）または「プリンタ設定ユーティリティ」（Mac OS X 10.3.xの場合）を起動します。**

「プリンタリスト」ダイアログボックスが表示されます。

2 **[option]キーを押しながら、[追加]をクリックします。**

[option]キーを押して[追加]をクリックすると、ドロップダウンメニューで「詳細」が選択できるようになります。

3 ドロップダウンメニューで「詳細」を選択し、各項目を設定します。

装置：Internet Printing Protocol (http)
装置名：<任意名>
装置のURI：http://<IPアドレス>:631/Print
プリンタの機種：TOSHIBA
PPD：TOSHIBA e-STUDIO205 Series PS

4 [追加]をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

5 引き続き、オプション構成を設定してください。

📖 P.156「オプション構成を設定する」

Macintosh AppleTalk/Bonjour印刷をセットアップする(Mac OS X 10.2.4～10.3.x)

補 足

AppleTalk/Bonjour印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機のAppleTalk/Bonjourが有効であること。AppleTalk/Bonjourが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1 **起動ディスクの「アプリケーション:ユーティリティ」フォルダから「プリントセンター」(Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合)または「プリンタ設定ユーティリティ」(Mac OS X 10.3.xの場合)を起動します。**

「プリンタリスト」ダイアログボックスが表示されます。

2 **[追加]をクリックします。**

3 ドロップダウンメニューで「AppleTalk」/「Bonjour (Rendezvous)」を選択します。

AppleTalk選択時：手順4に進んでください。

Bonjour選択時：手順5に進んでください。

4 「AppleTalk」を選択した場合は、本機が属しているゾーン名を選択します。

AppleTalkネットワークがゾーンを使ってセットアップされていない場合は、「ローカルAppleTalkゾーン」を選択します。

5 **リストに表示された本機を選択します。**

AppleTalk選択時の例:

6 **「プリンタの機種」ドロップダウンメニューで「TOSHIBA」を選択し、PPDファイルを選択します。**

AppleTalk選択時の例:

7 **[追加]をクリックします。**

本機がプリンタリストに追加されます。

8 **引き続き、オプション構成を設定してください。**

📖 P.156「オプション構成を設定する」

プリンタを設定する（Mac OS X 10.4.x）

東芝PPDファイルをシステムフォルダのライブラリフォルダにコピーしたら、プリンタを設定します。
本機では、IP印刷サービス、IPP印刷サービス、AppleTalk印刷サービスおよびBonjour印刷サービスをサポートしています。

- **IP印刷**
  本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、IP印刷を利用することができます。
- **IPP印刷**
  本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、IPP印刷を利用することができます。
- **AppleTalk印刷**
  本機とお使いのコンピュータがAppleTalkネットワークで接続されている場合は、AppleTalk印刷を利用することができます。
- **Bonjour印刷**
  本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、Bonjour印刷を利用することができます。

Macintosh IP印刷をセットアップする（Mac OS X 10.4.x）

補 足

IP印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- TCP/IPが正しく設定されていること。
- 本機のLPD印刷サービスが有効であること。LPD印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1 起動ディスクの「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダから「プリンタ設定ユーティリティ」を起動します。

「プリンタリスト」ダイアログボックスが表示されます。

2 [追加]をクリックします。

「プリンタブラウザ」ダイアログボックスが表示されます。

3 [IPプリンタ]をクリックし、ドロップダウンメニューで「LPD(Line Printer Daemon)」を選択します。

4 「アドレス」フィールドに本機のIPアドレスまたはDNS名を入力します。

5 「キュー」フィールドに「print」を入力します。

6 「使用するドライバ」ドロップダウンメニューで「TOSHIBA」を選択し、PPDファイルを選択します。

「名前」（装置名称）、「場所」は任意で入力します。（「名前」フィールドには、自動的に「アドレス」フィールドの名称が入力されます。）

7 [追加]をクリックします。

8 引き続き、オプション構成を設定してください。

📖 P.156「オプション構成を設定する」

9 [続ける]をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

Macintosh IPP印刷をセットアップする（Mac OS X 10.4.x）

補 足

IPP印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。
- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機のIPP印刷サービスが有効であること。IPP印刷サービスが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1 **起動ディスクの「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダから「プリンタ設定ユーティリティ」を起動します。**

「プリンタリスト」ダイアログボックスが表示されます。

2 **[追加]をクリックします。**

「プリンタブラウザ」ダイアログボックスが表示されます。

3 [IPプリンタ]をクリックし、ドロップダウンメニューで「IPP(Internet Printing Protocol)」を選択します。

4 以下の各項目を設定します。

アドレス：IPアドレスまたはDNS名
キュー： Print
名前： <任意名>(「名前」フィールドには、自動的に「アドレス」名が入力されます。)
場所：<任意名>
使用するドライバ：TOSHIBA
PPD：TOSHIBA e-STUDIO205 Series PS

5 [追加]をクリックします。

6 引き続き、オプション構成を設定してください。

📖 P.156「オプション構成を設定する」

7 [続ける]をクリックします。

本機がプリンタリストに追加されます。

Macintosh AppleTalk/Bonjour印刷をセットアップする（Mac OS X 10.4.x）

補 足

AppleTalk/Bonjour印刷用にプリンタドライバをインストールする前に、以下のことを確認してください。

- 本機がネットワークに接続され、電源が入っていること。
- 本機のAppleTalk/Bonjourが有効であること。AppleTalk/Bonjourが有効であるかをネットワーク管理者にご確認ください。

1　起動ディスクの「アプリケーション：ユーティリティ」フォルダから「プリンタ設定ユーティリティ」を起動します。

「プリンタリスト」ダイアログボックスが表示されます。

2　[追加]をクリックします。

「プリンタブラウザ」ダイアログボックスが表示されます。

3　[デフォルトブラウザ]をクリックします。

4 「プリンタ名」フィールドから「AppleTalk」/「Bonjour」用の名称を選択します。

AppleTalk選択時の例：

「名前」（装置名称）は、任意で入力します。（「名前」フィールドには、自動的に「アドレス名」が入力されます。）
「場所」には、AppleTalkネットワークのゾーンを使ってセットアップしていない場合は、「ローカルゾーン」が表示されます。

補 足

ゾーンを使ってセットアップしている場合は、「場所」のドロップダウンメニューで、本機が属しているゾーン名を選択します。

Bonjour選択時の例：

「名前」（装置名称）、「場所」は任意で入力します。（「名前」フィールドには、自動的に「アドレス名」が入力されます。）

5 **「使用するドライバ」ドロップダウンメニューで「TOSHIBA」を選択し、PPDファイルを選択します。**

AppleTalk選択時の例：

6 **［追加］をクリックします。**

7 **引き続き、オプション構成を設定してください。**

📖 P.156「オプション構成を設定する」

8 **［続ける］をクリックします。**

本機がプリンタリストに追加されます。

オプション構成を設定する

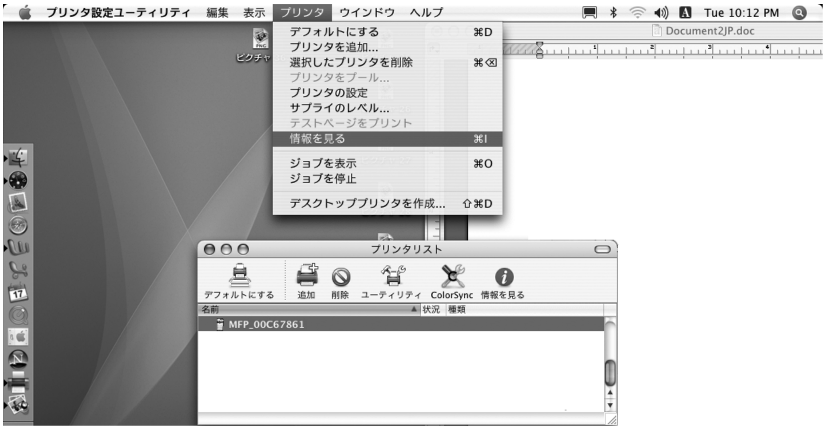
印刷を開始する前に、オプション構成を設定します。

注 意

オプション構成の設定は、セットアップした印刷方式それぞれについて行ってください。

オプション構成を設定する

1 **「プリンタリスト」ダイアログボックスで作成したプリンタを選択し、[プリンタ]メニューの[情報を見る]を選択します。**



「プリンタ情報」ダイアログボックスが表示されます。

2 **ドロップダウンメニューで「インストール可能なオプション」を選択します。**

「インストール可能なオプション」画面が表示されます。

3 お使いの環境に合わせてオプション機器の装置を選択します。

- **カセット**

未装着： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置を装着していない場合に選択します。

2段目カセット： オプションの給紙ユニットのみを装着している場合に選択します。

2段目 & 3段目： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置（上部カセットのみ）を装着している場合に選択します。

2段目 & 3、4段目： オプションの給紙ユニットおよび多段給紙装置（上下カセット）を装着している場合に選択します。

- **ADU**

未装着： オプションの自動両面ユニットを装着していない場合に選択します。

装着： オプションの自動両面ユニットを装着している場合に選択します。

4 ［変更を適用］をクリックし、次に画面を閉じます。

Macintosh PPDをアンインストールする

Macintosh PPDのアンインストールしたい場合は、以下のフォルダにあるPPDファイルを削除してください。

Mac OS 8.6/9.xの場合:

システム:機能拡張:プリンタ記述ファイル

Mac OS X 10.2.4～10.4.xの場合:

ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj

UNIXクライアントソフトウェアをインストールする

下記を参照し、UNIXワークステーションに印刷システムを構築します。
UNIXワークステーションに印刷システムを構築する場合は、CUPSを使用します。

UNIXクライアントソフトウェアのインストール手順一覧

以下にCUPSプリンタドライバのインストール手順参照先一覧を示します。

印刷の種類	参照先
LPR印刷	📖 P.160「CUPSをインストールする（LPR印刷）」
IPP印刷	📖 P.164「CUPSをインストールする（IPP印刷）」

CUPSを設定する

CUPSを使用してUNIXワークステーションに印刷システムをセットアップする場合は、LPR印刷またはIPP印刷を設定することができます。

CUPSについて

本機のCUPSプリンタドライバのインストール方法について説明します。ここでは、CUPS v1.1.15の環境の場合を例に説明しています。異なるバージョンをお使いの場合は、説明と画面が異なる場合があります。

CUPS環境では、実際にはプリンタドライバではなくPPDファイルを使用して印刷をセットアップします。

システム環境

CUPSのインストールされたOS

すべての機能はRed Hat Linux 8.0で動作しますが、SUSE 8.1またはTurbolinux 8.0環境では、CUPSのバージョンが古くなっているため、正常に動作しません。

導入方法

このドライバは、XPPやKPrinterなどのインターフェイスで使用するよう設計されています。このドライバを、Linux環境と同じようにOS X環境で使用することもできますが、OS X環境での使用は推奨していません。

使用コンポーネント

「TOSHIBA_EST205_CUPS.gz」にCUPS環境用のPPDファイルが圧縮されています。Linux環境では、圧縮ファイルをそのまま使用することができます。解凍せずにそのまま使用してください。

PPDファイルを初期設定のディレクトリにコピーする場合、ユーザはルートディレクトリへのアクセス権が必要になります。CUPS用PPDファイルは、通常以下のディレクトリにコピーしてください。

/usr/share/cups/model/Toshiba

CUPSを使用してプリンタを設定する

LPR印刷またはIPP印刷をCUPSに設定することができます。

— CUPSをインストールする（LPR印刷）

CUPSを設定するには、PPDファイルをお使いのUNIXワークステーションにコピーして、プリンタをインストールし、PPDの設定を行います。プリンタのインストールおよびPPDの設定は、ブラウザを使って行います。

CUPSのインストール（LPR印刷）

1 **Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

2 **ルートアカウントにログインし、「/usr/share/cups/model/」ディレクトリに「Toshiba」ディレクトリを作成します。**

3 **以下のコマンドを入力し、「/usr/share/cups/model/Toshiba」ディレクトリにGZIPファイルをコピーします。**

cp TOSHIBA_EST205_CUPS.gz /usr/share/cups/model/Toshiba

GZIPファイルは、CD-ROMの「CUPS/ENG」フォルダに収録されています。

4 **以下のコマンドを入力します。**

service lpd stop
service cups stop

注 意

lpdがすでに終了している場合は「Failed」メッセージが表示されます。

Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順10に進みます。

5 **Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。**

/usr/bin/redhat-switch-printer

「redhat-switch-printer」ダイアログボックスが表示されます。

6 **「CUPS」を選択し、[OK]をクリックします。**

「情報」ダイアログボックスが表示されます。

7 [OK]をクリックします。

8 以下のコマンドを入力します。

service cups start

9 以下のコマンドを入力します。

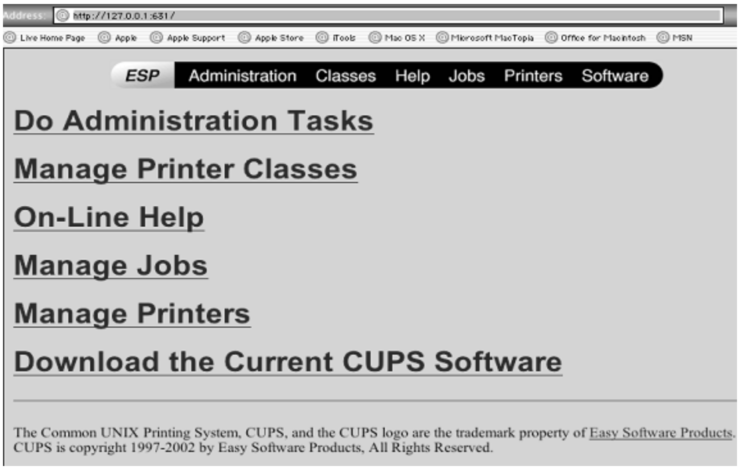
/usr/bin/cupsconfig

「Common UNIX Printing System」ページが表示されます。手順11に進みます。

10 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

「Common UNIX Printing System」ページが表示されます。

11 「Manage Printers」リンクをクリックします。

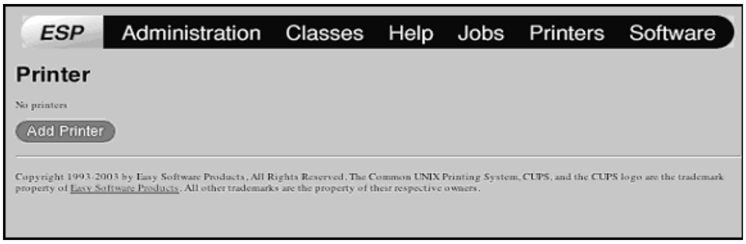


「Printer」ページが表示されます。

補 足

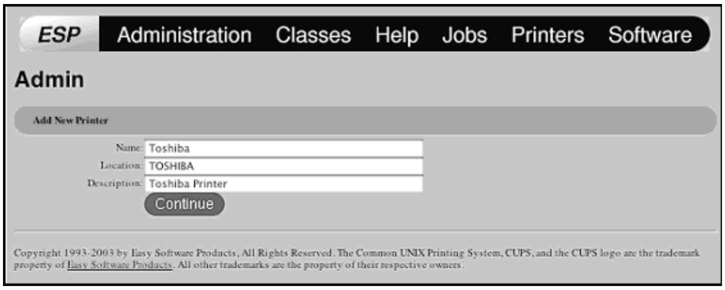
以降の操作において、ユーザ認証ダイアログが表示されることがあります。その場合は、適切なユーザ認証を行った後、CUPSの操作を続行してください。

12 [Add Printer]をクリックします。



「Admin」ページが表示されます。

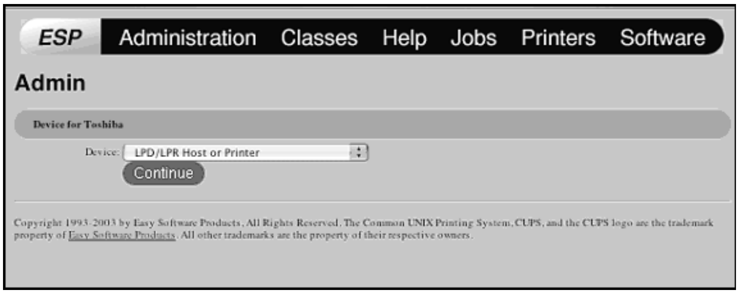
13 プリンタ名、設置場所、詳細説明を入力し、[Continue]をクリックします。



注 意

すでに追加されているプリンタと同名のプリンタ名を入力した場合は、既存のプリンタ設定が上書きされます。

14 「Device」ドロップダウンメニューで「LPD/LPR Host or Printer」を選択し、[Continue]をクリックします。

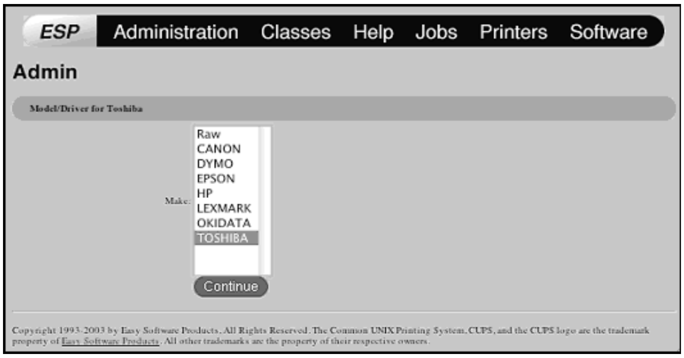


15 「Device URI」フィールドに「lpd://<IP address>/Print」と入力し、[Continue]をクリックします。

注 意

デバイスURIに指定するアドレスの「Print」の「P」は、必ず大文字で入力してください。

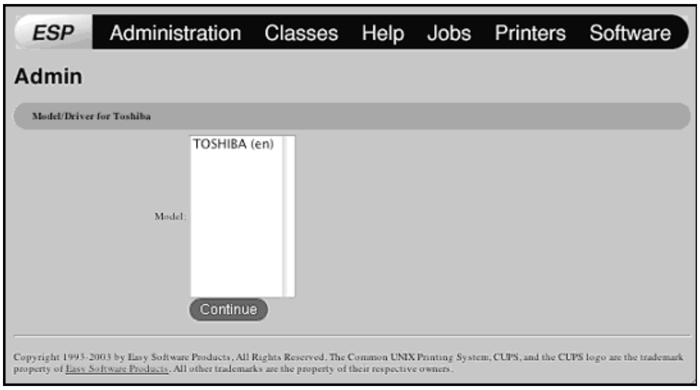
16 「Make」リストで「TOSHIBA」を選択し、[Continue]をクリックします。



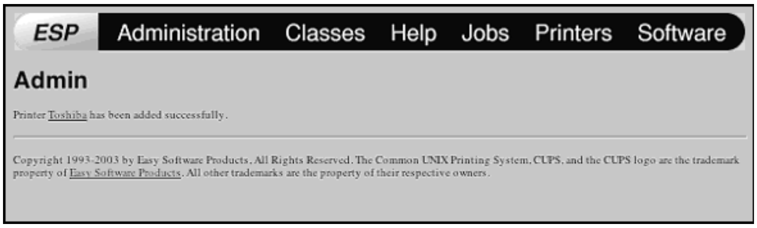
注 意

「Make」リストに「TOSHIBA」が表示されていない場合は、CUPSを再起動してください。

17 「Model」リストでPPDを選択し、[Continue]をクリックします。



18 プリンタの追加が正常に完了したメッセージが表示されることを確認します。



19 引き続いて以下のページに進み、印刷オプションの設定を行います。

📖 P.167「印刷オプションを設定する」

— CUPSをインストールする(IPP印刷)

Linux OSにIPP印刷を設定する場合は、以下の手順で行います。

CUPSのインストール(IPP印刷)

1 Client Utilities CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

2 ルートアカウントにログインし、「/usr/share/cups/model/」ディレクトリに「Toshiba」ディレクトリを作成します。

3 以下のコマンドを入力し、「/usr/share/cups/model/Toshiba」ディレクトリにGZIPファイルをコピーします。

cp TOSHIBA_EST205_CUPS.gz /usr/share/cups/model/Toshiba

GZIPファイルは、CD-ROMの「CUPS/Usa」フォルダに収録されています。

4 以下のコマンドを入力します。

service lpd stop
service cups stop

注 意

lpdがすでに終了している場合は「Failed」メッセージが表示されます。

Red Hat Linuxをお使いの場合は、次の手順に進みます。Red Hat Linux以外をお使いの場合は、手順10に進みます。

5 Red Hat Linuxをお使いの場合は、以下のコマンドを入力します。

/usr/bin/redhat-switch-printer

「redhat-switch-printer」ダイアログボックスが表示されます。

6 「CUPS」を選択し、[OK]をクリックします。

「情報」ダイアログボックスが表示されます。

7 [OK]をクリックします。

8 以下のコマンドを入力します。

service cups start

9 以下のコマンドを入力します。

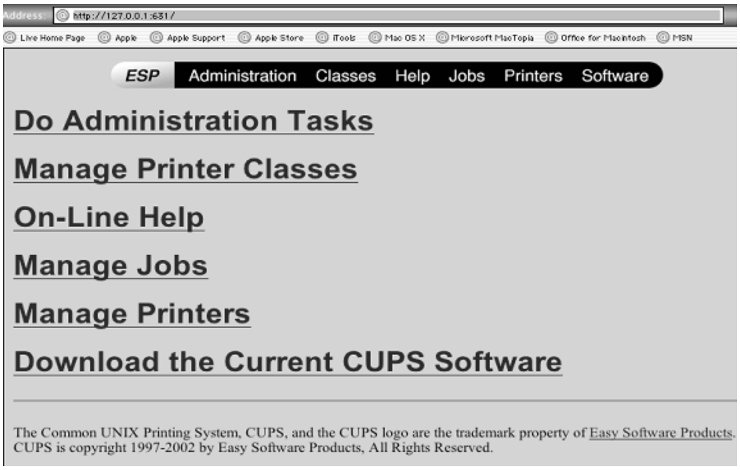
/usr/bin/cupsconfig

「Common UNIX Printing System」ページが表示されます。手順11に進みます。

10 ブラウザを起動し、「http://localhost:631/」をアドレス欄に入力してCUPSにアクセスします。

「Common UNIX Printing System」ページが表示されます。

11 「Manage Printers」リンクをクリックします。

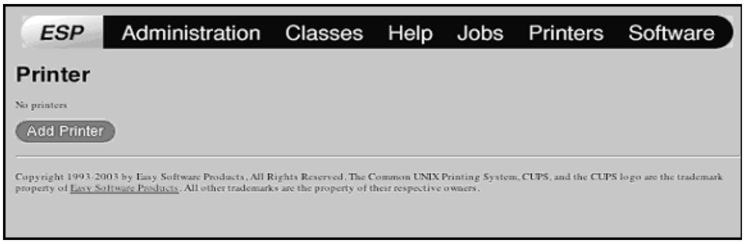


「Printer」ページが表示されます。

補 足

以降の操作において、ユーザ認証ダイアログが表示されることがあります。その場合は、適切なユーザ認証を行った後、CUPSの操作を続行してください。

12 [Add Printer]をクリックし、新しいHTTPSプリンタを追加します。



以降の手順は、LPR印刷の手順13～18と同様ですので説明を省略します。各画面の入力項目は、下記のリストを参照してください。

P.160「CUPSのインストール(LPR印刷)」

Name: <任意名>

Location: <オプション>

Description: <オプション>

Device: Internet Printing Protocol (http)

Device URL: http://<IPアドレス>:631/Print

Make/Model: TOSHIBA

13 引き続いて以下のページに進み、印刷オプションの設定を行います。

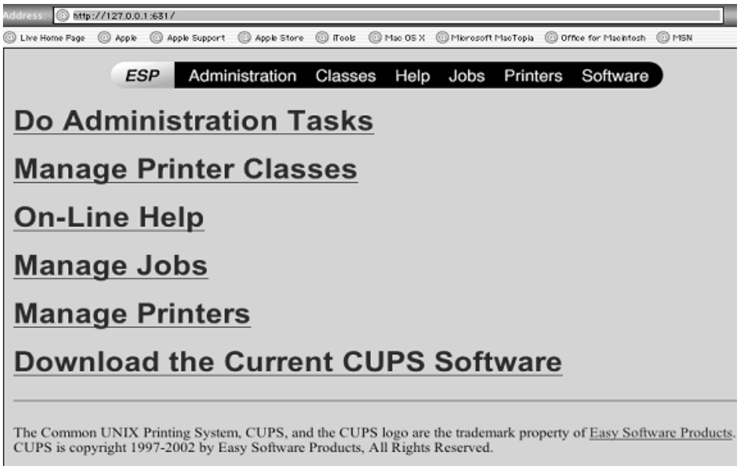
P.167「印刷オプションを設定する」

— 印刷オプションを設定する

CUPSを使用した印刷ジョブに適用される印刷オプションの設定を行います。

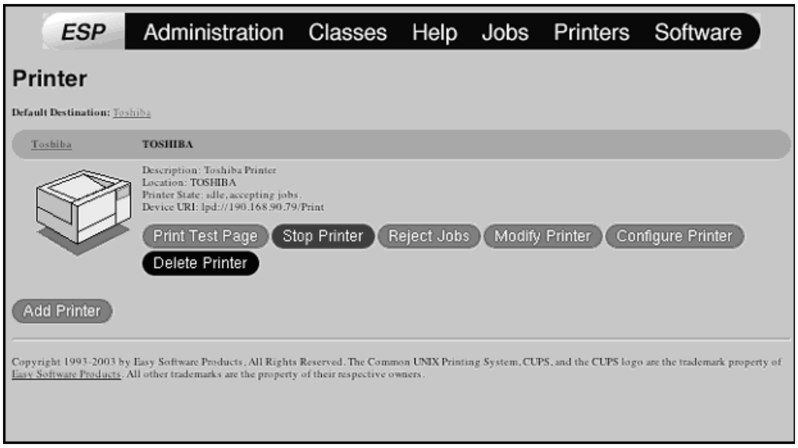
印刷オプションの設定

1 スタートページの「**Manage Printers**」リンクをクリックします。



「Printer」ページが表示されます。

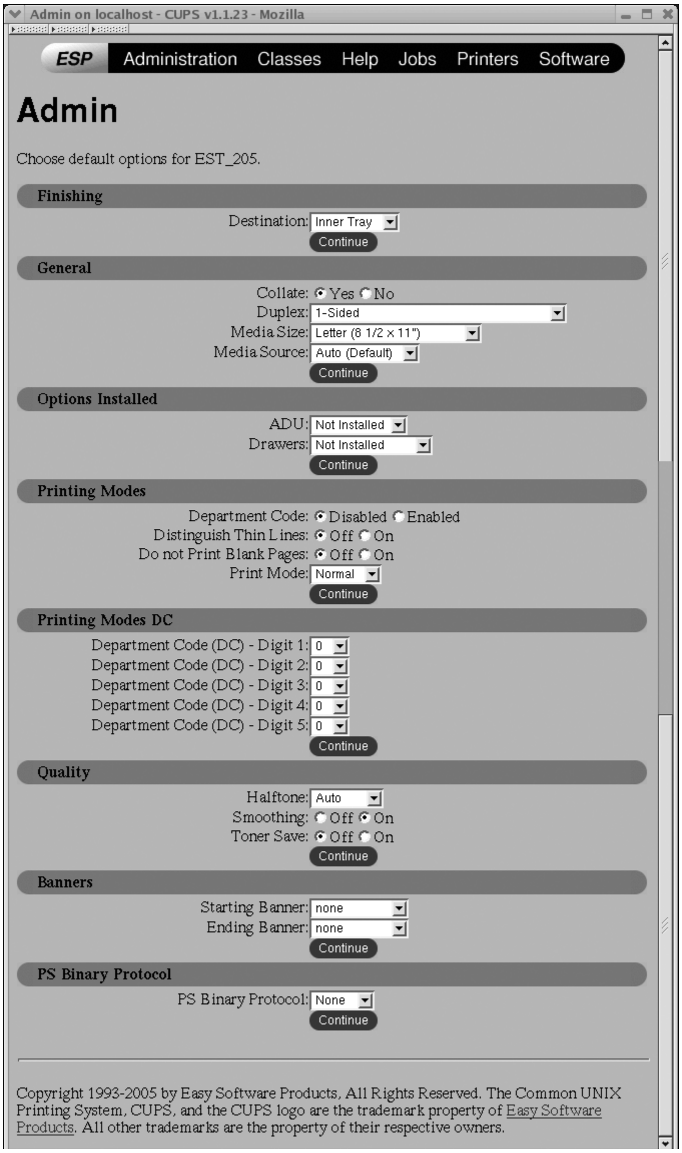
2 本機を選択し、[**Configure Printer**]をクリックします。



3 表示されたページで、印刷オプションの設定を行います。

注 意

- 画面は英文で表示されます。
- アンダーラインの付いたオプションはデフォルト値を示しています。
- 以下は本機のオプションです。
  ADU(自動両面ユニット)、Drawer 2(給紙ユニット)、Drawer 3(多段給紙装置、上カセット)、Drawer 4(多段給紙装置、下カセット)



Finishing(出力トレイ)

項目	選択肢	説明
Destination 排紙先	Inner Tray	本体トレイ(これ以外選択できません。)
[Continue]ボタン	-	

General(一般設定)

項目	選択肢	説明
Collate 丁合	Yes, No	丁合を行うかを選択します。
Duplex 両面印刷、とじしろ	1-Sided	片面印刷
	2-Sided, No Tumble (Long-Edge Binding)	両面印刷(長手綴じ)
	2-Sided, Tumble (Short-Edge Binding)	両面印刷(短手綴じ)
Media Size 用紙サイズ	A3, A4, A5, B4, B5, Ledger, Legal, Letter, Statement, Folio, Computer, 13" LG, 8K, 16K	用紙サイズを選択します。
Media Source 給紙元	Auto (Default) Drawer 1 Drawer 2 Drawer 3 Drawer 4 Bypass Tray Plain Thick 1 Thick 2 Transparency	給紙元または用紙タイプを選択します。 給紙元: Drawer 1(標準のカセット)、Drawer 2(給紙ユニット)、Drawer 3(多段給紙装置、上カセット)、Drawer 4(多段給紙装置、下カセット)または手差しトレイ) 用紙タイプ: 普通紙、厚紙1、厚紙2またはOHP用紙
[Continue]ボタン	上記の選択値を確定します。	

Option Installed(本機オプションの装着)

項目	選択肢	説明
ADU 自動両面ユニット	Not Installed Installed	ADUの有無を選択します。
Drawers カセット	Not Installed Drawer 2 Drawer 2 & 3 Drawer 2, 3 & 4	Drawer 2(給紙ユニット)、Drawer 3(多段給紙装置、上カセット)およびDrawer 4(多段給紙装置、下カセット)の組み合わせを選択します。
[Continue]ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes(印刷モード)

項目	選択肢	説明
Department Code 部門コード	Disabled(無効) Enabled(有効)	印刷の際に部門コードを使用するかを選択します。本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。
Distinguish Thin Lines 細線をはっきりと印刷する	Off, On	細線をはっきりと印刷するかを選択します。
Do not Print Blank Pages 白紙は印字しない	Off, On	白紙ページを印刷するか選択します。
Print Mode 印刷モード	Normal	通常印刷(これ以外選択できません。)
[Continue]ボタン	上記の選択値を確定します。	

Printing Modes DC(印刷モード - 部門コード)

項目	選択肢	説明
Department Code(DC) - Digit 1 to Digit 5 部門コード 1桁目～5桁目	0 to 9	上記Printing ModesのDepartment Codeを有効にした場合は、5桁の部門コードを指定します。 使用する部門コードについては、管理者にお聞きください。
[Continue]ボタン	上記の選択値を確定します。	

Quality(印刷品質)

項目	選択肢	説明
Halftone ハーフトーン	Auto Detail Smooth	印刷時のハーフトーンの処理(自動、詳細(高密度)またはスムーズ(諧調をなめらかに))を選択します。
Smoothing スムージング	Off, On	文字やグラフィックをなめらかに印刷するか選択します。
Toner Save トナー節約	Off, On	トナーを節約して印刷するか選択します。
[Continue]ボタン	上記の選択値を確定します。	

Banners（バナー）

項目	選択肢	説明
Starting Banner 書類の前に	none	文書の前にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
Ending Banner 書類の後に	none	文書の後にバナーページを挿入して印刷するかを選択します。挿入する場合は、以下から選択します。
	classified	機密扱い
	confidential	極秘
	secret	機密
	standard	標準
	topsecret	最高機密
	unclassified	非機密扱い
[Continue]ボタン	上記の選択値を確定します。	

PS Binary Protocol

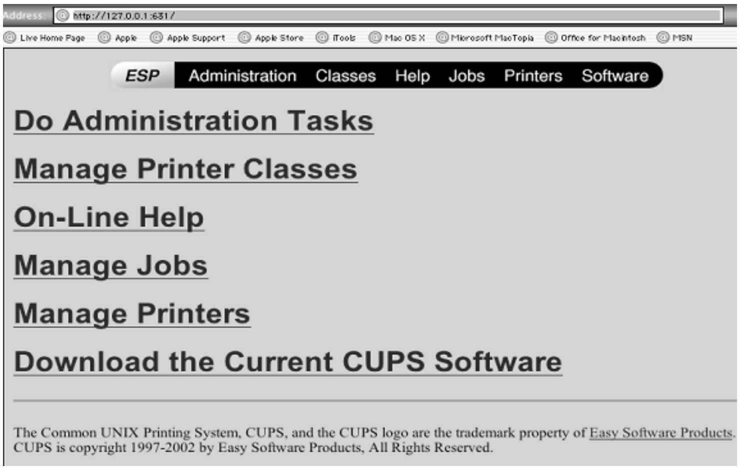
項目	選択肢	説明
PS Binary Protocol PSバイナリプロトコル	None, TBCP	PostScriptを使用して印刷データをバイナリ処理し、TBCPプロトコルを使って印刷を行うかを選択します。
[Continue]ボタン	上記の選択値を確定します。	

— プリンタを変更する

追加した後にプリンタの設置場所や詳細説明の内容を変更したい場合は、以下の手順で変更します。

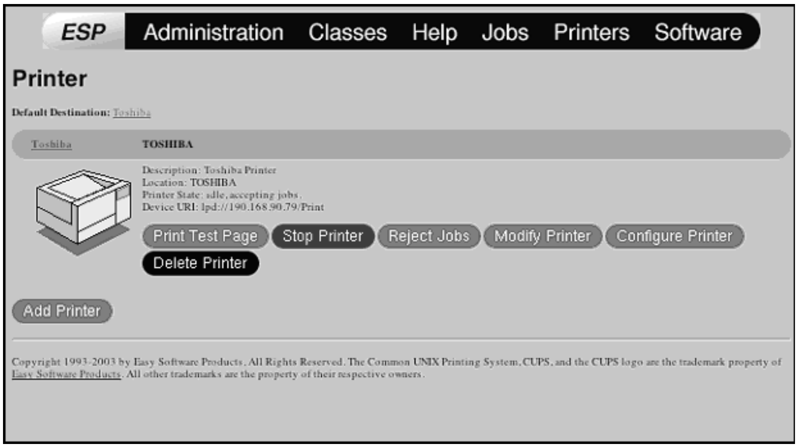
プリンタの変更

1 スタートページの「Manage Printers」リンクをクリックします。

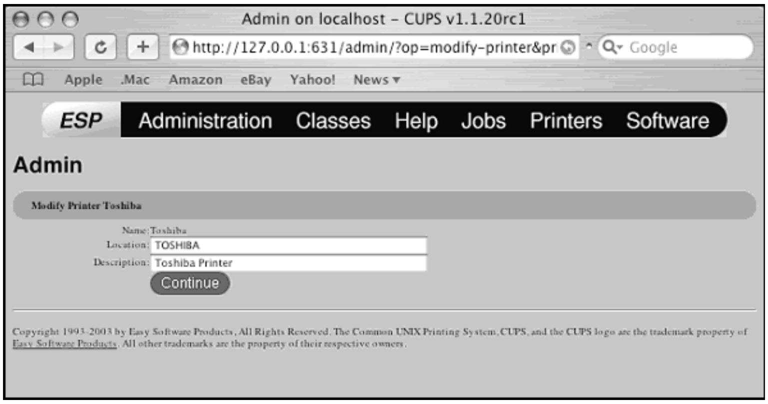


「Printer」ページが表示されます。

2 本機を選択し、[Modify Printer]をクリックします。



3 設置場所および詳細説明の内容を変更し、[Continue]をクリックします。

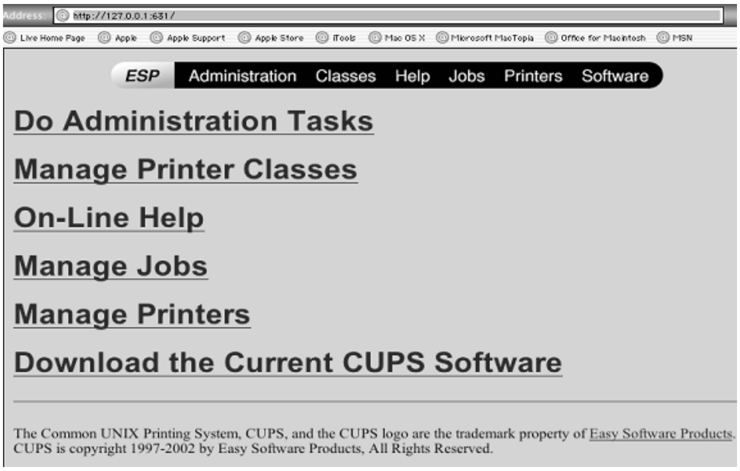


— プリンタをアンインストールする

追加したプリンタを削除する場合は、以下の手順で行います。

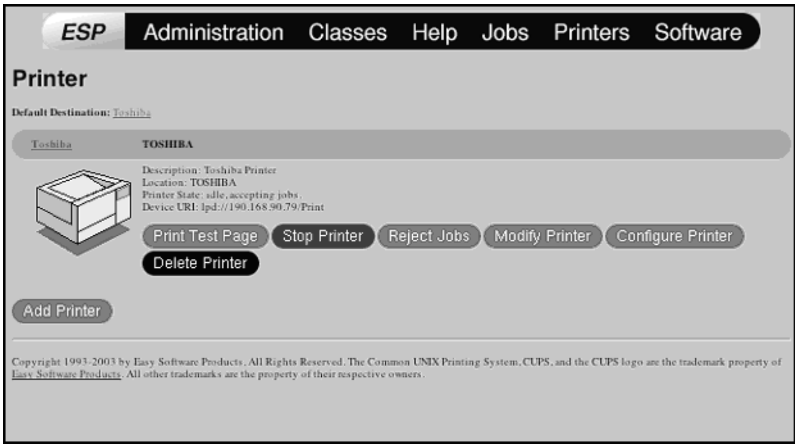
プリンタのアンインストール

1 スタートページの「Manage Printers」リンクをクリックします。



「Printer」ページが表示されます。

2 **本機を選択し、[Delete Printer]をクリックします。**



プリンタが削除されます。

3 **「/usr/share/cups/model/Toshiba」ディレクトリにコピーしたPPDファイルを削除します。**

3

印刷する

本章では、WindowsやMacintosh、UNIX環境からの印刷方法について説明します。

Windowsアプリケーションから印刷する........176
プリンタドライバを使用する前に........176
アプリケーションから印刷する........183
印刷オプションをセットアップする........186
さまざまな機能を使って印刷する........210

Macintoshアプリケーションから印刷する........224
アプリケーションから印刷する(Mac OS 8.6/9.x)........224
アプリケーションから印刷する(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)........239

UNIX環境から印刷する........259
アプリケーションから印刷する........259

Windowsアプリケーションから印刷する

プリンタドライバ(PCL6、PS3)のインストールを完了すれば、ほとんどのWindowsのアプリケーションから印刷を行うことができます。これらのプリンタドライバでは、文書の各プロパティを、用紙の向きや印刷品質からマガジンソート印刷まで設定することができます。

プリンタドライバを使用する前に

印刷を行う前に、以下のオプションを設定する必要があります。

- **オプション構成の設定**

  本機に装着されている給紙ユニットや多段給紙装置などのオプション構成を設定します。このオプション構成情報を設定しないと、装着したオプション装置の機能を使用することはできません。

- **部門コード**

  本機は、各ジョブを部門コードで管理することができます。この機能は、ジョブカウンタ情報を部門コードごとに管理します。たとえば、ネットワーク管理者は、この機能を使って特定の部門が実行した印刷部数を確認することができます。部門コード機能が有効に設定されている場合、印刷を実行するには部門コードの入力が必要となります。使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。

オプション構成を設定する

プリンタドライバのインストールが完了したら、本機に装着されているオプションの構成情報をプリンタドライバに設定する必要があります。設定には、次の２つの方法があります。

- 本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されていない場合は、オプション構成を手動で設定します。

  📖 P.177「手動でオプション構成を設定する」

- 本機とお使いのコンピュータがTCP/IPネットワークで接続されている場合は、オプション構成を自動で設定することができます。双方向通信を使ってオプションの構成情報を取得します。

  📖 P.179「自動でオプション構成を設定する」

— 手動でオプション構成を設定する

ここでは、Windows 2000を例にとり手順を説明します。他のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

手動で[構成]タブを設定する

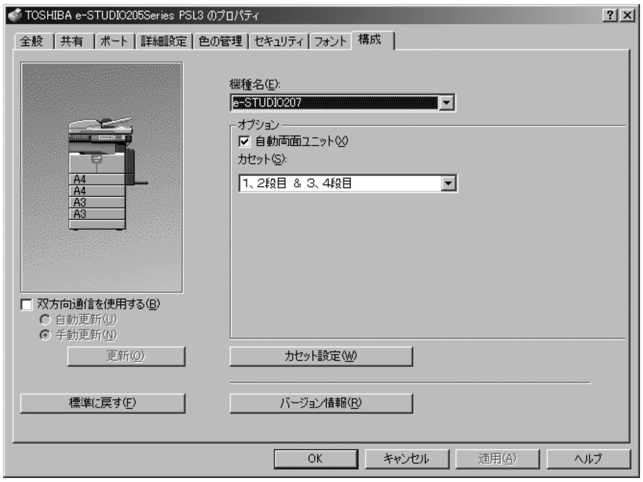
注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。なお、Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」機能によりユーザーアカウントを一時的に変更することができますので、詳細はシステム管理者へお問い合わせください。

1 プリンタフォルダからプリンタドライバを選択し、ファイルメニューから[プロパティ]を選択します。

Windows XP、Windows Server 2003をお使いの場合は、プリンタとFAXフォルダを開き、プリンタドライバを選択します。プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2 [構成]タブを選択し、以下のオプションを設定します。



機種名:機種名を選択します。

オプション - 自動両面ユニット:オプションの自動両面ユニットが装着されている場合にチェックします。

オプション - カセット:カセットの装着構成を選択します。

補 足

各項目の詳細については、[構成]タブの説明を参照してください。

📖 P.209「[構成]タブ」

3 [カセット設定]をクリックします。

「カセット設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 以下のオプションを設定し、[OK]をクリックします。

用紙サイズ

各給紙元にセットされている用紙のサイズを選択します。

用紙タイプ

各給紙元にセットされている用紙のタイプを選択します。なお、1段目から4段目のカセットは、「普通紙」に固定されています。

5 [適用]をクリックし[OK]をクリックして、設定を保存します。

— 自動でオプション構成を設定する

ここでは、Windows 2000を例にとり手順を説明します。他のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

双方向通信を使って[構成]タブを設定する

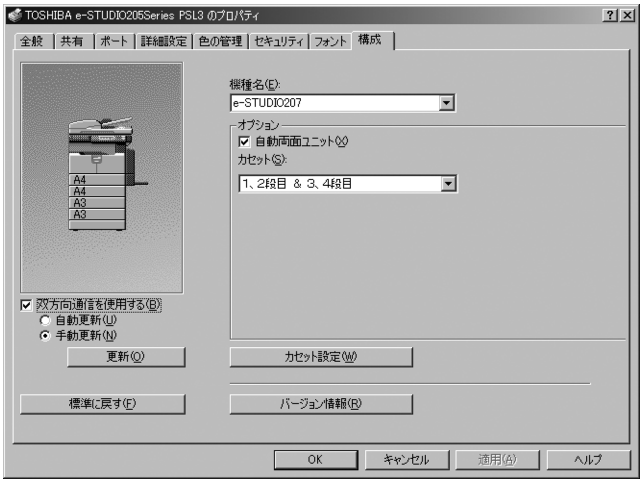
注 意

本項で説明している操作を行うためには、「Administrators」や「Power Users」などのように、クライアントソフトウェアのインストールが許可されているユーザーアカウントでWindowsへログオンしておく必要があります。なお、Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」機能によりユーザーアカウントを一時的に変更することができますので、詳細はシステム管理者へお問い合わせください。

1 プリンタフォルダからプリンタドライバを選択し、ファイルメニューから[プロパティ]を選択します。

Windows XP、Windows Server 2003をお使いの場合は、プリンタとFAXフォルダを開き、プリンタドライバを選択します。プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2 ［構成］タブを選択し、「双方向通信を使用する」チェックボックスをチェックして、［更新］をクリックします。

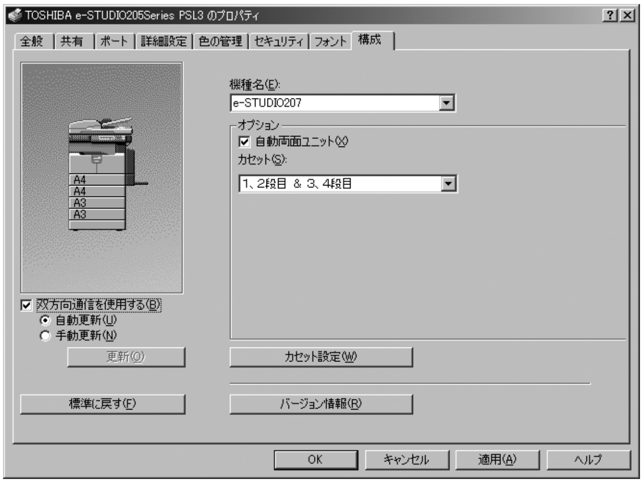


プリンタドライバと本機との通信が始まり、プリンタドライバは本機のオプション構成を自動で取得します。

注 意

本機とのSNMP通信できない場合、または接続がまだセットアップされていない場合は、更新されません。

3 ［構成］タブを開いた際に、オプション構成の情報を自動で更新する場合は、「自動更新」チェックボックスをチェックします。



4 ［適用］をクリックし［OK］をクリックして、設定を保存します。

補 足

各項目の詳細については、［構成］タブの説明を参照してください。

📖 P.209「［構成］タブ」

部門コードを設定する

本機が部門コードでカウンタ情報を管理している場合、各ユーザはプリンタドライバを介して印刷ジョブを送信する際に部門コードを入力する必要があります。部門コード機能を使用することにより、ネットワーク管理者は特定の部門が実行した印刷部数を確認することができます。部門コードの入力が必要であるかは管理者にご確認ください。また、必要である場合、入力すべき部門コードをあわせてお聞きください。
部門コードを入力する場合、以下の手順であらかじめプリンタドライバの部門コードフィールドに部門コードを入力しておくことで、印刷するたびに部門コードを入力する手間を省くことができます。

補 足

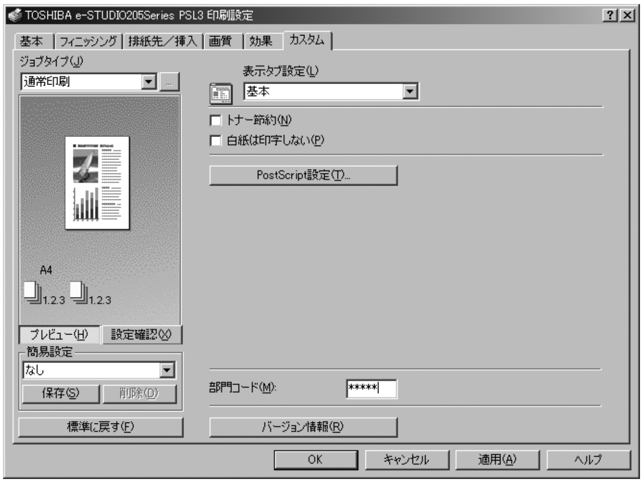
- 不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効（削除）となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。（プリンタの［構成］タブで「双方向通信を使用する」をチェックしていた場合は、印刷ジョブ削除前にエラーメッセージが表示されます。ただし、Windows NT 4.0を使用しNetWareプリントサーバーを介して印刷を行う場合は、双方向通信が有効であっても、エラーメッセージは表示されません。）
- 部門コードは、印刷を実行するごとに入力し直すこともできます。複数の印刷ジョブを異なる部門コードで処理する場合は、印刷するときに該当する部門コードをそれぞれ入力します。

部門コードを入力する

1 **プリンタフォルダからプリンタドライバを選択し、ファイルメニューから［プロパティ］を選択します（Windows 98/Me）。Windows NT 4.0をお使いの場合は［ドキュメントの既定値］を、Windows 2000/XP/Server 2003/Vistaをお使いの場合は［印刷設定］を選択します。**

プリンタドライバのプロパティダイアログボックスが表示されます。

2 [カスタム]タブを選択し、「部門コード」フィールドに部門コードを入力します。



このフィールドには、5桁の部門コードを入力します。部門コードが5桁に満たない場合は、コードの先頭に0を付加し、5桁のコードにして入力してください。

3 [適用]をクリックし、[OK]をクリックして、設定を保存します。

Windows用PPDファイルをコピーする

Client Utilities CD-ROMには、印刷時にPPDファイルを必要とするWindowsアプリケーション用のPPDファイルが収録されています。PageMaker 6.0、6.5や7.0などは、自動的にPPDファイルをインストールできません。これらのアプリケーションで、プリンタ特有の印刷設定を「印刷」ダイアログボックスや「用紙設定」ダイアログボックスで利用可能にするには、PPDファイルを適切な場所にコピーします。

PPDファイルをコピーする

1 **Client Utilities CD-ROMのPS3プリンタドライバが収録されているフォルダを開きます。**

- Windows 98/Meの場合：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥9X_ME¥PS¥JPN¥
- Windows NT 4.0の場合：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥NT¥PS¥JPN¥
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vistaの場合：
  [Client Utilities CD-ROM]:¥W2K_XP_VISTA¥PS¥JPN¥
- Windows XP/Vista 64ビット版の場合：
  [Client Utilities CD-ROM]：¥XP_VISTA_X64¥PS¥JPN¥

2 PPDファイル(*.ppd)を適切な場所にコピーします。

- PageMaker 6.0の場合:
  ¥PM6J¥RSRC¥JAPANESE¥PPD4¥
- PageMaker 6.5の場合:
  ¥PM65J¥RSRC¥JAPANESE¥PPD4¥
- PageMaker 7.0の場合:
  ¥Program Files¥Adobe¥PageMaker 7.0¥Rsrc¥Japanese¥PPD4

アプリケーションから印刷する

Windowsアプリケーションからの印刷方法について説明します。

📖 P.183「注意点と制限事項について」
📖 P.184「印刷方法」

注意点と制限事項について

- いくつかの印刷オプションの設定は、アプリケーションで重複して設定できるものがあります(例:丁合いオプションなど)。アプリケーションで、丁合いオプションを設定すると、正しく印刷されない場合があります。この場合は、プリンタドライバのソートモードオプションで設定し、アプリケーションでは設定しないで印刷するようにしてください。また、アプリケーションによっては、印刷の向きなど、アプリケーションでの設定が必要になる印刷オプションもあります。プリンタドライバとアプリケーション両方で設定できる場合は、アプリケーションの取扱説明書で説明されている印刷方法を参照してください。

- PS3プリンタドライバを使用してAdobe Acrobatから印刷する場合、プリンタドライバのPostScript設定で「アプリケーションのPostScriptを優先」が有効になっている場合は、用紙サイズに合わせて印刷機能は無効になります。用紙サイズに合わせて印刷機能を使用する場合は、「アプリケーションのPostScriptを優先」を無効にして印刷を行ってください。

- PS3プリンタドライバを使用してAdobe Acrobatなど印刷時にPostScriptコードを独自に作成するアプリケーションから印刷する場合は、以下の印刷オプションは正常に機能しないことがあります。その場合は、「アプリケーションのPostScriptを優先」を無効にして印刷を行ってください。
  - 手動倍率
  - 用紙サイズ
  - 用紙タイプ
  - 表紙挿入
  - 裏表紙挿入
  - マガジンソート
  - Nin1
  - 効果タブの全機能
  - 画質タブの全機能

印刷方法

プリンタドライバをインストールし、適切に設定すれば、ほとんどのWindowsアプリケーションからそのまま印刷を行うことができます。プリンタドライバが提供する印刷オプションを使用すると、さまざまな特殊な機能を利用してより高度な印刷を行うことができます。

Windowsアプリケーションから印刷する

1 **印刷するファイルを開き、アプリケーションのファイルメニューから[印刷]を選択します。**

印刷ダイアログボックスが表示されます。

2 **プリンター覧から使用する 本機プリンタドライバを選択し、[プロパティ]をクリックします。**

プリンタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

注 意

プリンタドライバのプロパティダイアログを表示させる手順は、お使いのアプリケーションによって異なる場合があります。詳細はアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

3 印刷目的に合わせ、各タブで印刷オプションを設定します。

- 印刷オプションの設定は、どのように印刷するかによって異なります。
  P.190「印刷オプション」
- 簡易設定を使って印刷オプションを設定することもできます。
  P.187「簡易設定を使って印刷オプションを設定する」

4 [OK]をクリックして、設定を保存します。

5 [プリント](または[印刷]、[OK]など)をクリックして、文書を印刷します。

注 意

- 部門管理をしている環境で不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効(削除)となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。
- ページ数が多い文書やグラフィックを多用している文書を複数部印刷する場合、その印刷ジョブのデータサイズが本機のメモリ容量を超えてしまうと、指定した部数は印刷されず、文書1部とエラーレポートが印刷されます。

印刷オプションをセットアップする

印刷オプションは、印刷ジョブの処理方法を決定するために設定した属性を示します。

補 足

印刷方法から設定する印刷オプションを確認したい場合は、下記を参照してください。
P.210「さまざまな機能を使って印刷する」

セットアップ方法

印刷オプションを設定する方法はいくつかありますが、設定が印刷にどのような効果をもたらすかは、印刷オプションの設定方法によって異なります。また、プリンタダイアログボックスに表示されるタブも、それぞれの表示方法によって異なります。

— 印刷オプションの初期値を設定する

プリンタフォルダのプリンタアイコンからプリンタプロパティダイアログボックスを表示して設定した印刷オプションは、プリンタドライバの初期値として設定されます。たとえば、頻繁に使う用紙サイズや本機のオプション構成の設定、ユーザ情報の設定などは、印刷するごとに変更する設定ではないので、この方法で印刷オプションを設定します。

表示方法：Windows 98/Meの場合

1. [スタート]をクリックして、[設定]→[プリンタ]を選択します。
2. 本機プリンタドライバを選択し、ファイルメニューから[プロパティ]を選択します。

表示方法：Windows NT 4.0の場合

1. [スタート]をクリックして、[設定]→[プリンタ]を選択します。
2. 本機プリンタドライバを選択し、ファイルメニューから[ドキュメントの既定値] または[プロパティ]を選択します。

表示方法：Windows 2000/XP/Server 2003の場合

1. [スタート]をクリックして、[設定]→[プリンタとFAX]を選択します。
2. 本機プリンタドライバを選択し、ファイルメニューから[印刷設定]または[プロパティ]を選択します。

表示方法：Windows Vistaの場合

1 ［スタート］をクリックして、［コントロールパネル］→［ハードウェアとサウンド］→［プロパティ］を選択します。

2 本機プリンタドライバを選択し、ファイルメニューから［印刷設定］または［プロパティ］を選択します。

— 印刷ジョブごとに印刷オプションを設定する

アプリケーションのプリント（印刷）ダイアログボックスからプリンタダイアログボックスを表示して設定した印刷オプションは、現在の印刷ジョブのみに反映される印刷オプションとして設定されます。この方法で設定した内容は、アプリケーションを閉じると無効になります。

表示方法：

1 アプリケーションのファイルメニューから ［印刷］を選択します。

2 プリンター覧から使用する 本機 プリンタドライバを選択し、［プロパティ］をクリックします。

— 簡易設定を使って印刷オプションを設定する

簡易設定では、印刷オプションの設定を保存したり、保存した印刷設定を呼び出して使用することができます。

簡易設定を使用するには、まず印刷オプションの設定を簡易設定ファイルとして保存する必要があります。

📖 P.187「簡易設定を保存する」

簡易設定を保存すると、特定のジョブを印刷する際にいつでも適用することができます。

📖 P.189「簡易設定を適用する」

簡易設定は必要がなくなったら削除できます。

📖 P.189「簡易設定を削除する」

簡易設定を保存する

最大20個までプリンタドライバの簡易設定を作成できます。

1 各タブで、印刷目的に合わせ印刷オプションを設定します。

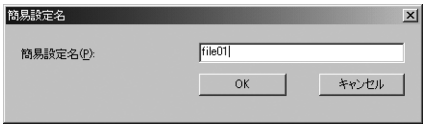
印刷オプションの設定は、どのように印刷するかによって異なります。

📖 P.190「印刷オプション」

2 簡易設定の印刷オプションの［保存...］をクリックします。

「簡易設定名」ダイアログボックスが表示されます。

3 簡易設定名を入力し、[OK]をクリックします。



ファイル名は、半角/全角63文字以内で入力します。

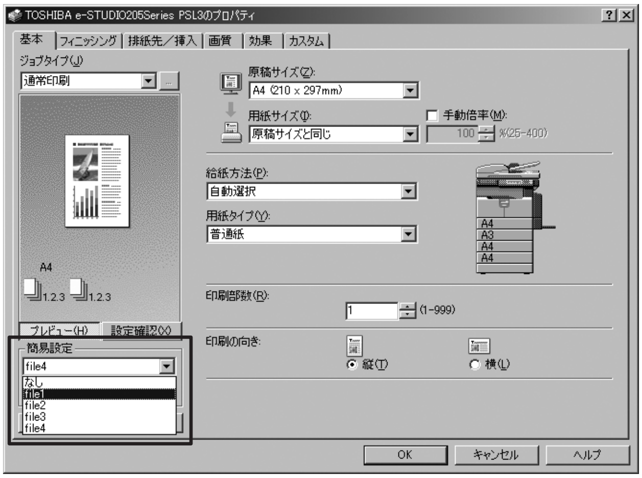
補 足

簡易設定名がすでに使われていた場合は、既存の簡易設定ファイルを上書きするかどうか聞いてきます。上書きする場合は、[OK]をクリックします。

4 簡易設定が保存されます。

簡易設定を適用する

1 「簡易設定」ドロップダウンメニューで適用したい簡易設定名を選択します。



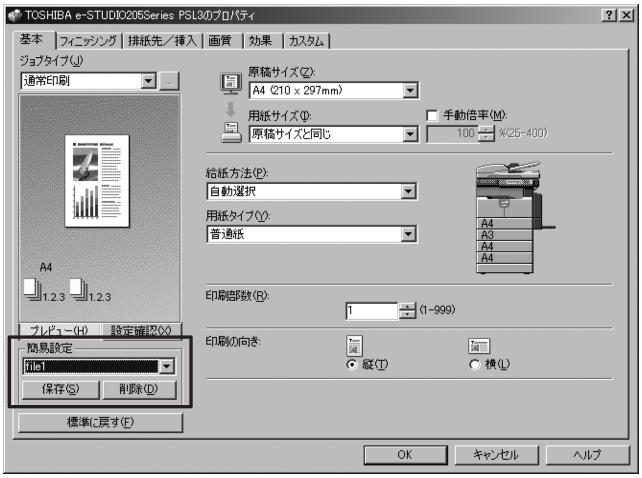
選択した簡易設定ファイルの設定が、各印刷オプションタブに自動的に反映されます。

注 意

「簡易設定」ドロップダウンメニューから「なし」を選択しても、プリンタドライバの初期設定に戻すことはできません。簡易設定を選択した後に初期設定に戻す場合は、[標準に戻す]をクリックします。

簡易設定を削除する

1 「簡易設定」ドロップダウンメニューで削除したい簡易設定名を選択し、[削除]をクリックします。



「簡易設定削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

2 [はい]をクリックし、選択した簡易設定ファイルを削除します。

印刷オプション

ここでは、プリンタドライバの各タブで設定できる、印刷オプションについて説明します。
以下の画面例は、プリンタフォルダから[ファイル]-[印刷設定]を選択した場合に表示されます。

1) プリンタ名
プリンタドライバ名を表示します。

2) メニュータブ
プリンタドライバの各メニュータブを表示します。各タブをクリックすると、選択したタブの内容をダイアログボックス上に表示します。表示されるタブの種類は、プリンタプロパティの表示方法によって異なります。

- **[基本]タブ**
  このタブでは、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙方法、用紙タイプ、印刷部数、印刷の向きなどの基本的な印刷操作に関する設定を行います。
  📖 P.192「[基本]タブ」
- **[フィニッシング]タブ**
  このタブでは、印刷方式、両面印刷、Nin1印刷などのフィニッシング機能に関する設定を行います。
  📖 P.194「[フィニッシング]タブ」
- **[排紙先/挿入]タブ**
  このタブでは、排紙先、表紙挿入、裏表紙挿入などの排出先/挿入機能に関する設定を行います。
  📖 P.198「[排紙先/挿入]タブ」

- **[画質]タブ**
  このタブでは、イメージをどのように印刷するかを設定します。文書のタイプに応じた適切な画質を簡単に選択することができます。
  📖 P.200「[画質]タブ」
- **[効果]タブ**
  このタブでは、ウォーターマーク、オーバーレイファイル印刷、回転印刷、鏡像印刷、反転印刷などの印刷ジョブに効果を加える設定を行います。
  📖 P.201「[効果]タブ」
- **[カスタム]タブ**
  このタブでは、表示タブ設定、トナー節約、白紙は印字しないなどの特別な機能に関する設定を行います。
  📖 P.205「[カスタム]タブ」
- **[フォント]タブ**
  このタブでは、TrueTypeフォントをどのように印刷するかを選択します。このタブはプリンタフォルダからプロパティ画面を表示した場合のみ表示されます。
  📖 P.207「[フォント]タブ」
- **[構成]タブ**
  このタブでは、本機に装着されているオプションユニットの構成を設定します。このタブはプリンタフォルダからプロパティ画面を表示した場合のみ表示されます。
  📖 P.209「[構成]タブ」

3) ジョブタイプ

本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。

- **通常印刷**
  通常の印刷を行います。
- **オーバーレイファイルで保存**
  印刷ジョブをオーバーレイファイルとして保存します。保存したオーバーレイファイルは、他の文書に重ねて印刷することができます。たとえば、印刷文書の背面にマスターページイメージを印刷する場合、この機能を使ってマスターページイメージを作成することができます。その作成したイメージを[効果]タブの「オーバーレイファイル」で選択すれば、印刷文書の背面または前面に印刷することができます。
  この処理を選択した場合は、[...]ボタンをクリックしてオーバーレイファイル名を入力してください。

注 意

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合は、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向きで作成または印刷する必要があります。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してオーバーレイファイルで保存を行うと、オーバーレイファイルが正常に作成されないことがあります。その場合はPostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」のチェックを外してください。
  📖 P.206「PostScript設定」

4) プレビューウィンドウ

プレビューウィンドウでは、プリンタドライバの現在の設定でページがどのように印刷されるかを表示します。ウィンドウ下にある[プレビュー]を選択した場合は、設定した印刷オプションを反映したページイメージを表示します。[設定確認]を選択した場合は、設定した印刷オプションの詳細をウィンドウに表示します。

5) 簡易設定

設定した印刷機能を簡易設定ファイルとして保存することができます。[保存]をクリックして、印刷オプションの設定を保存します。保存した設定ファイルは、「簡易設定」ドロップダウンメニューから選択することができます。

📖 P.187「簡易設定を使って印刷オプションを設定する」

6) [標準に戻す]

表示しているタブの印刷オプションを出荷時の状態へ戻します。

7) [OK]

変更した印刷オプションの設定を保存し、プリンタプロパティを閉じます。

8) [キャンセル]

変更した印刷オプションの設定をキャンセルし、プリンタプロパティを閉じます。

9) [適用]

プリンタプロパティを閉じずに、変更した印刷オプションの設定を保存します。Windows NT 4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vistaでは、プリンタフォルダからプリンタプロパティを表示したときだけ表示します。このボタンは、設定を変更するまで網かけ表示されます。

10) [ヘルプ]

プリンタドライバのヘルプを表示します。

— [基本]タブ

このタブでは、基本的な印刷操作に関する設定を行います。設定項目には、原稿サイズ、用紙サイズ、給紙方法、用紙タイプ、印刷の向き、印刷部数などがあります。また、変倍印刷、ソート印刷、両面印刷を有効にすることもできます。

1) 原稿サイズ

原稿のサイズを選択します。

使用できる原稿サイズは、次のとおりです：

- A4
- A5
- A3
- B4
- B5
- Folio
- はがき
- 封筒長形3号
- 封筒洋形4号
- 封筒DL
- Letter
- Legal
- Ledger
- Statement
- Computer
- 13"LG
- 封筒COM10
- 封筒Monarch
- 16K
- 8K

補 足

封筒に印刷する場合は、以下のページを参照してください。

📖 P.15「封筒に印刷するには」

2) 用紙サイズ

印刷に使用する用紙サイズを選択します。原稿サイズと同じサイズで印刷するときは、「原稿サイズと同じ」を選択します。

3) 手動倍率

このチェックボックスをチェックして、ページイメージを拡大または縮小する倍率を入力してください。倍率は、25～ 400(%)の範囲で設定することができます。マガジンソート印刷が有効なときや、給紙方法でいずれかのカセットが選択されているときは、このオプションを使用することはできません。

4) 給紙方法

印刷に使用する用紙の給紙元を選択します。用紙サイズに合った給紙元を選択してください。

- **自動選択**：印刷サイズに合わせて、自動的に適当な給紙元を選択します。
- **１段目カセット**：用紙を１段目のカセットから給紙します。
- **２段目カセット**：用紙を２段目の給紙ユニット（オプション）から給紙します。
- **３段目カセット**：用紙を多段給紙装置（オプション）の上部カセットから給紙します。
- **４段目カセット**：用紙を多段給紙装置（オプション）の下部カセットから給紙します。
- **手差しトレイ**：用紙を手差しトレイから給紙します。（「原稿サイズ」で封筒を選択した場合は、自動的に手差しが選択されます。）

注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション装置および[構成]タブの設定によって異なります。

5) 用紙タイプ
印刷に使用する用紙の種類を選択します。
- **普通紙**:普通紙(64〜80 g/m^2)に印刷する場合に選択します。
- **厚紙1**:厚紙1(81〜105 g/m^2)に印刷する場合に選択します。
- **厚紙2**:厚紙2(106〜163 g/m^2)に印刷する場合に選択します。
- **OHP用紙**:OHP用フィルムに印刷する場合に選択します。
- **封筒**:「用紙サイズ」で封筒を選択すると、自動的に選択されます。

6) 印刷の向き
給紙方法で選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。
- **縦**:文書を用紙に対して縦方向に印刷します。
- **横**:文書を用紙に対して横方向に印刷します。

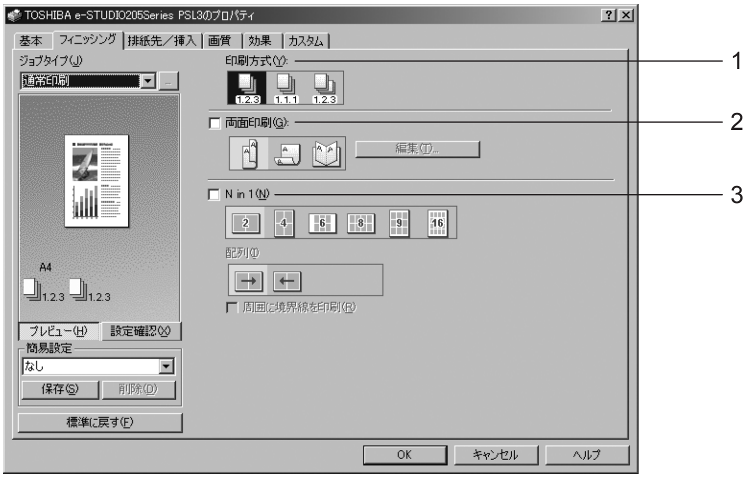
7) 印刷部数
印刷部数を指定します。1〜 999(部)の範囲で指定することができます。

注 意

ページ数が多い文書やグラフィックを多用している文書を複数部印刷する場合、印刷ジョブのデータサイズが本機のメモリ容量を超えてしまうと、指定した部数は印刷されず、文書1部とエラーレポートが印刷されます。

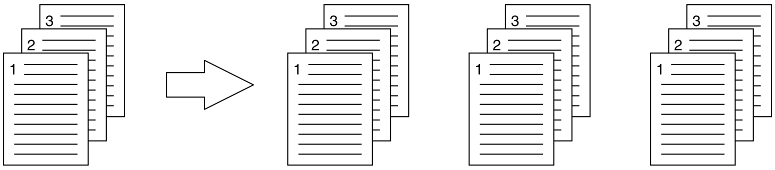
— [フィニッシング]タブ

このタブでは、印刷方式、両面印刷、Nin1印刷などのフィニッシング機能に関する設定を行います。

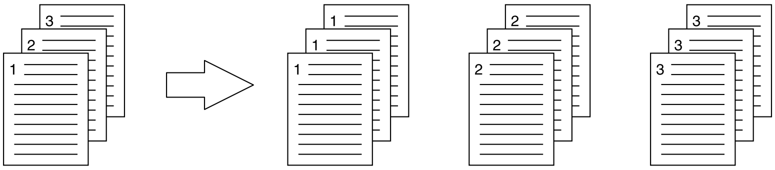


1) 印刷方式
複数部数の印刷やコピーを行うときに、印刷ページをどのようにソートするかを設定します。

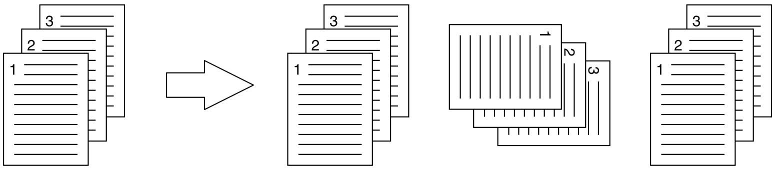
- **ソート**:ソート印刷を選択します(部ごとに仕分けして排紙します)。



- **グループ**:グループ印刷を選択します(ページごとにグループ分けして排紙します)。



- **縦横交互**:1部ずつ縦横交互に排紙します。



注 意

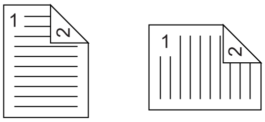
- 「グループ」および「縦横交互」は、印刷部数を2部以上指定したときにのみ有効です。
- 「縦横交互」は、用紙サイズに「Letter」、「A4」、「B5」、「16K」を選択したときにのみ有効です。

2) 両面印刷

両面印刷は、左右開き(左綴じ)または上下開き(上綴じ)にとじしろを設定し、用紙の両面に印刷する機能です。

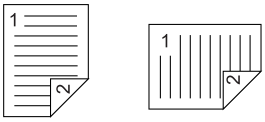
- **なし**:両面印刷をしません。
- **左綴じ**:用紙の垂直方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。

縦　横



- **上綴じ**:用紙の水平方向にとじしろを設定し両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。

縦　横



- **マガジンソート**:本や雑誌と同じような印刷物を作成します。選択した場合は、[編集]をクリックしてどのようにマガジンソート印刷するかを設定します。

注 意

- ［基本］タブの「用紙サイズ」ドロップダウンメニューで以下の用紙サイズが選択されている場合は、両面印刷を実行することはできません。
  - はがき
  - 封筒（各種）
- ［基本］タブの「用紙タイプ」ドロップダウンメニューで以下の用紙タイプが選択されている場合は、両面印刷を実行することはできません。
  - 厚紙（各種）
  - OHP用紙
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してマガジンソート印刷を行うと、印刷結果がおかしくなることがあります。その場合はPostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」のチェックを外してください。
  P.206「PostScript設定」

「マガジンソート」の［編集］をクリックすると、「マガジンソート設定」ダイアログボックスが表示されます。

仕上がりサイズ

出力される仕上がりサイズを選択します。

- **A5 on A4**：各ページをA5サイズに縮小して、A4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **A4 on A3**：各ページをA4サイズに縮小して、A3サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **B5 on B4**：各ページをB5サイズに縮小して、B4サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **B6 on B5**：各ページをB6サイズに縮小して、B5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Folio on Folio**：各ページをFolio用紙の半分に収まるように縮小して、Folioサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **A6 on A5**：各ページをA6サイズに縮小して、A5サイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **Letter - Half on Letter**：各ページをLetter用紙の半分に収まるように縮小して、Letterサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

- **LT on LD**：各ページをLetterサイズに縮小して、Ledgerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 LG on LG**：各ページをLegal用紙の半分に収まるように縮小して、Legalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Statement on Statement**：各ページをStatement用紙の半分に収まるように縮小して、Statementサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 Comp on Comp**：各ページをComputer用紙の半分に収まるように縮小して、Computerサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **1/2 13LG on 13LG**：各ページを13インチLegal用紙の半分に収まるように縮小して、13インチLegalサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **32K on 16K**：各ページを32Kサイズに縮小して、16Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。
- **16K on 8K**：各ページを16Kサイズに縮小して、8Kサイズの用紙に2ページずつ印刷します。

ページの順序

ページの印刷順序として「左から右」または「右から左」のいずれかを選択します。

余白

- **中心**：見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。12.70 mm（0.50インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
- **外側**：ページの上下左右の余白を設定します。25.40 mm（１インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
- **単位**：中心の余白および外側の余白の単位を選択します。

3) Nin1

複数ページを1枚の用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

- **2 in 1**：2ページを1枚の用紙に印刷します。
- **4 in 1**：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6 in 1**：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **8 in 1**：8ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9 in 1**：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16 in 1**：16ページ1枚の用紙に並べて印刷します。

配列

ページの配列を選択します。

- **左から右**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **右から左**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **縦列で左から右**：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **縦列で右から左**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

周囲に境界線を印刷

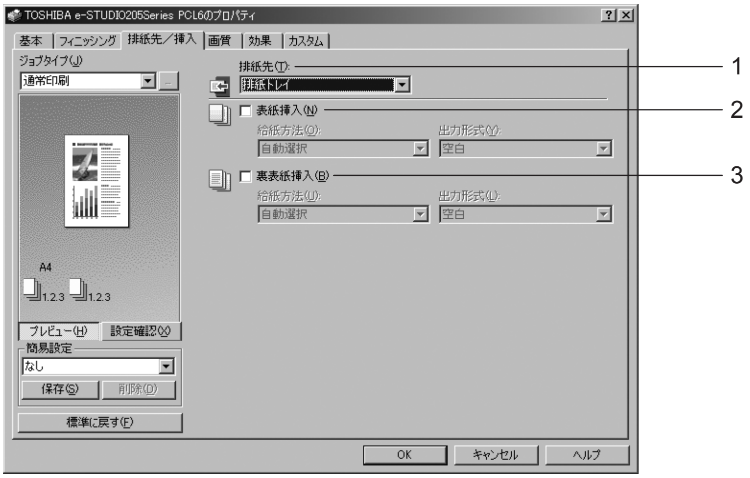
このチェックボックスをチェックすると、ページごとに境界線を印刷します。

注 意

「両面印刷」で「マガジンソート」が設定されている場合は、Nin1印刷を実行することはできません。

— [排紙先/挿入]タブ

このタブでは、排紙先、表紙挿入、裏表紙挿入などの排出先/挿入機能に関する設定を行います。



1) 排紙先

「排紙トレイ」に設定されています。(選択不要です。)

2) 表紙挿入

表紙印刷を設定します。この印刷オプションを設定すると、表紙に違う給紙元の用紙を挿入したり、違う給紙元の用紙に文書の始めのページを印刷することができます。
表紙印刷を設定する場合は、表紙挿入チェックボックスをチェックし、給紙方法と出力形式をそれぞれのドロップダウンメニューから選択します。

給紙方法

表紙に使用する用紙を給紙する給紙元のカセットを選択します。「自動選択」を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、自動的に同じ用紙サイズの給紙元を選択します。

注 意

- 選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション装置および各タブにおける印刷オプションの設定によって異なります。
- 手差しトレイから給紙する場合は、[スタート]ボタンを押してください。印刷を中止する場合は、[クリア/ストップ]ボタンを押してください。

出力形式

表紙の印刷方法を選択します。

- **空白**:何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **片面印刷**:文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
- **両面印刷**:文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、[フィニッシング]タブで両面印刷オプションが有効に設定されているときに選択することができます。

注 意

[フィニッシング]タブで両面印刷を設定したときに「片面印刷」オプションを選択すると、表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

3) 裏表紙挿入

裏表紙印刷を設定します。この印刷オプションを設定すると、裏表紙に違うトレイから給紙した用紙を挿入したり、違うトレイから給紙した用紙に文書の最後のページを印刷することができます。裏表紙印刷を設定する場合は、裏表紙挿入チェックボックスをチェックし、給紙方法と出力形式をそれぞれのドロップダウンメニューから選択します。

給紙方法

裏表紙に使用する用紙を給紙する給紙元のカセットを選択します。「自動選択」を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、自動的に同じ用紙サイズの給紙元を選択します。

注 意

選択できる給紙元は、本機に装着されているオプション装置および各タブにおける印刷オプションの設定によって異なります。

出力形式

裏表紙の印刷方法を選択します。

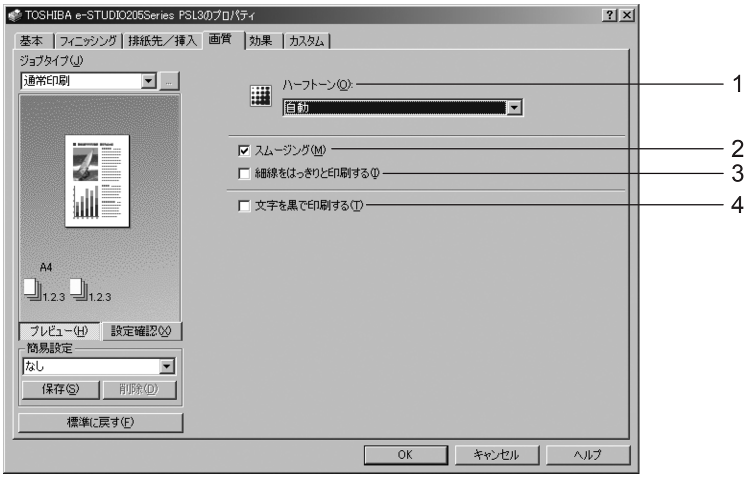
- **空白**：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **片面印刷**：文書の最後のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
- **両面印刷**：文書の最後の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。この機能は、[フィニッシング]タブで両面印刷オプションが有効に設定されているときに選択することができます。

注 意

- [フィニッシング]タブで両面印刷を設定したときに「片面印刷」オプションを選択すると、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。
- 「両面印刷」オプションを選択したときに裏表紙に印刷するページが1ページしかない場合は、裏表紙の表面のみに印刷が行われ、裏面は空白となります。

— [画質]タブ

このタブでは、ページイメージをどのように印刷するかを設定します。文書のタイプに応じた適切な画質を選択することができます。



1) ハーフトーン
ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
- **自動**：画像部分は写真にあったハーフトーンで印刷し、文字部分は文字にあったハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

注 意

「自動」はPS3プリンタドライバのみ有効です。

2) スムージング
テキストやグラフィックをなめらかに印刷する場合にチェックします。

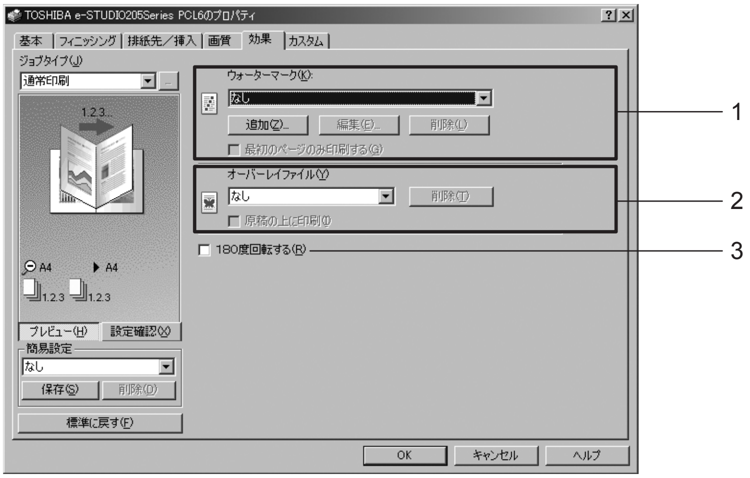
3) 細線をはっきりと印刷する
細線をはっきりと印刷する場合にチェックします。

4) 文字を黒で印刷する
白文字を除き、テキストをすべて黒で印刷する場合にチェックします。

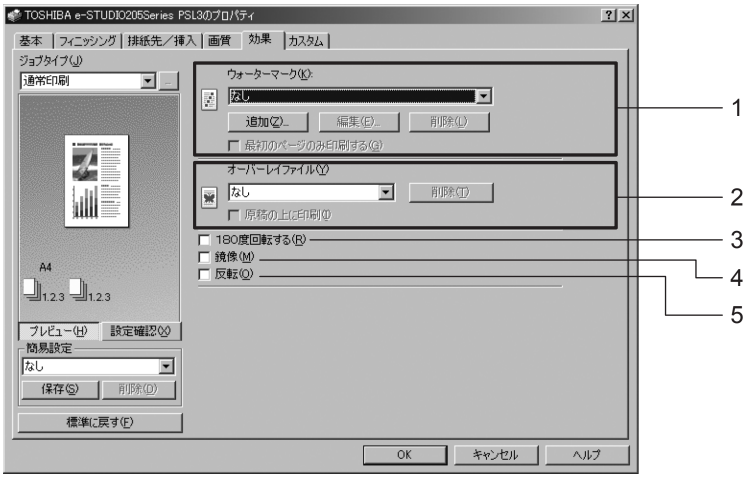
— [効果]タブ

このタブでは、ウォーターマーク、オーバーレイファイル印刷、回転印刷、鏡像印刷、反転印刷などの印刷ジョブに効果を加える設定を行います。

[効果]タブ(PCL6)



[効果]タブ(PS3)



1) ウォーターマーク

使用または編集するウォーターマークを選択します。プリンタドライバには、標準で「極秘」「社外秘」「ドラフト」「オリジナル」「コピー」のウォーターマークが登録されています。また、新たに作成したウォーターマークを保存(標準登録分を含めて最大20マーク)することもできます。

- なし :ウォーターマークを印刷しないときに選択します。標準で登録されている以下のウォーターマークが、ドロップダウンメニューに表示されます。
- 極秘
- 社外秘
- ドラフト
- オリジナル

- コピー

[追加]
新しいウォーターマークを作成します。クリックすると、ウォーターマークの編集ダイアログボックスが表示されます。
📖 P.203「ウォーターマークを追加する／編集する」

[編集]
ウォーターマークドロップダウンメニューで選択したウォーターマークを編集します。クリックすると、ウォーターマークの編集ダイアログボックスが表示されます。
📖 P.203「ウォーターマークを追加する／編集する」

[削除]
ウォーターマークドロップダウンメニューで選択したウォーターマークを削除します。

注 意

- 標準で登録されているウォーターマークを削除することができます。ただし、削除した場合、元に戻すことはできません。
- 「なし」を削除することはできません。

最初のページのみ印刷する
選択したウォーターマークを文書の最初のページにのみ印刷します。

2) オーバーレイファイル
文書にオーバーレイファイルを印刷します。ウォーターマークはテキストのみですが、この機能は印刷文書の背面にグラフィックなどのイメージを印刷することができます。

注 意

- Nin1印刷時にオーバーレイを選択すると、複数のページがレイアウトされる用紙ごとにオーバーレイファイルが印刷されます。用紙上にレイアウトされる各ページイメージには、オーバーレイファイルは印刷されません。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向き、解像度で作成または印刷する必要があります。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してオーバーレイファイル印刷を行うと、オーバーレイファイルが印刷されないことがあります。その場合はPostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」オプションのチェックを外してください。
  📖 P.206「PostScript設定」

補 足

印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するときは、まず最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。ファイルの作成は、アプリケーションでオーバーレイイメージを作成し、「オーバーレイファイルで保存」を実行します。この操作は[ジョブタイプ]タブで行います。
📖 P.210「オーバーレイファイルを作成する」

[削除]
ドロップダウンメニューで選択したオーバーレイイメージを削除します。

原稿の上に印刷
印刷文書に重ねてオーバーレイイメージを印刷する場合に、チェックします。

3) 180度回転する
印刷イメージを180度回転させて印刷します。

4) 鏡像
印刷イメージを鏡に映したように左右を反転させて印刷します。この印刷オプションは、PS3プリンタドライバでのみ有効です。

注 意

- アプリケーションのPostScriptを優先するときは、鏡像が効かないことがあります。
- Adobe Acrobatなどのアプリケーションから印刷する場合、PostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」オプションが有効になっていると、鏡像印刷は無効になります。鏡像印刷を行う場合は、PostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」オプションを無効にして印刷してください。

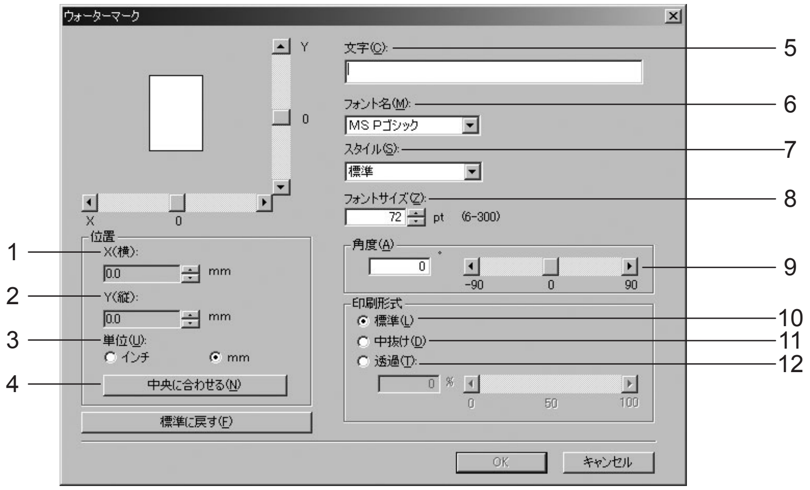
5) 反転
印刷イメージを白黒反転させて印刷します。この印刷オプションは、PS3プリンタドライバでのみ有効です。

注 意

- アプリケーションのPostScriptを優先するときは、反転が効かないことがあります。
- Adobe Acrobatなどのアプリケーションから印刷する場合、PostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」オプションが有効になっていると、反転印刷は無効になります。反転印刷を行う場合は、PostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」オプションを無効にして印刷してください。

ウォーターマークを追加する／編集する

「ウォーターマーク」の[追加]または[編集]をクリックすると、ウォーターマークの編集ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、ウォーターマークの新規作成や既存のウォーターマークの編集をします。



1) X(横)

ウォーターマークの横位置を調整します。プレビュー表示部の水平スクロールバーを使って、位置を変更することもできます。

2) Y(縦)

ウォーターマークの縦位置を調整します。プレビュー表示部の垂直スクロールバーを使って、位置を変更することもできます。

3) 単位

「X(横)」および「Y(縦)」フィールドの単位を選択します。

4) [中央に合わせる]

ウォーターマークの位置をページの中央に設定します。

5) 文字

ウォーターマークに使用するテキストを入力します。半角/全角63文字以内で入力します。ウォーターマークを編集している場合は、選択したウォーターマークのテキストが表示されます。

6) フォント名

ウォーターマークテキストのフォントを選択します。

7) スタイル

ウォーターマークテキストのスタイルを選択します。

8) フォントサイズ

ウォーターマークテキストのフォントサイズを指定します。6～300(pt)の範囲を1pt単位で設定することができます。

9) 角度

ウォーターマークテキストの回転角度を指定します。-90～ 90(度)の範囲を1度単位で設定することができます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

10) 標準

ウォーターマークを指定した色で塗りつぶして印刷します。

11) 中抜け

ウォーターマークを中抜きのフォントスタイルで印刷します。

12) 透過

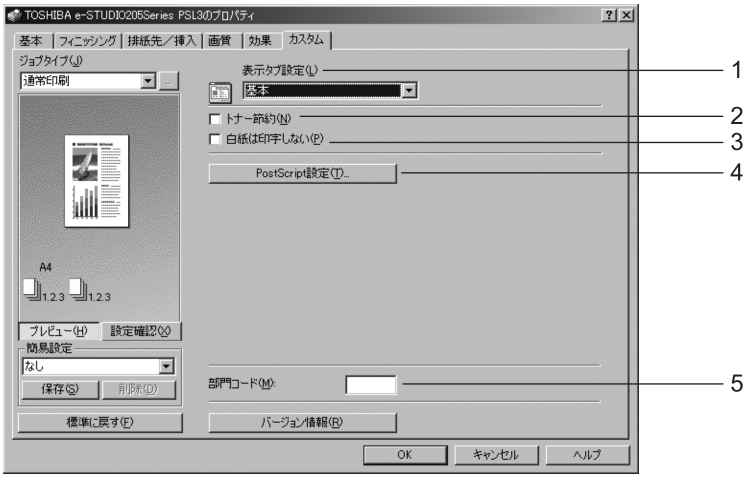
ウォーターマークが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0～ 100(%)の範囲を1%単位で設定することができます。スクロールバーを使って透過率を設定することもできます。

— [カスタム]タブ

このタブでは、表示タブ設定、トナー節約、白紙は印字しないなどの特別な機能に関する設定を行います。

[カスタム]タブ(PCL6)

[カスタム]タブ(PS3)



1) 表示タブ設定
プリンタドライバを開いたときに、最初に表示されるタブを設定します。

2) トナー節約
トナー節約モードで印刷します。

注意

トナー節約モードで印刷すると、印字が薄くなることがあります。

3) 白紙は印字しない
印刷原稿の白紙ページを無視し印刷しません。

注 意

- ウォーターマークが設定されている場合は、白紙も全て印字されます。
- ヘッダやフッタを含む文書を印刷する場合は、ヘッダやフッタが含まれているため内容がないページも印刷されます。

4) ［PostScript設定］

PostScript固有の機能を設定します。クリックすると、PostScript設定ダイアログボックスが表示されます。この印刷機能は、PS3プリンタドライバでのみ有効です。

P.206「PostScript設定」

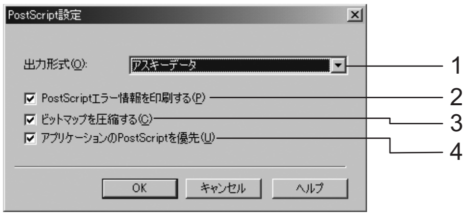
5) 部門コード

ユーザの部門コードを入力します。部門コードの入力は、本機が部門コードで管理されているときに必要となります。使用する部門コードについては、管理者にお問い合わせください。

注 意

不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効(削除)となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。(プリンタの[構成]タブで「双方向通信を使用する」をチェックしていた場合は、印刷ジョブ削除前にエラーメッセージが表示されます。ただし、Windows NT 4.0を使用しNetWareプリントサーバーを介して印刷を行う場合は、双方向通信が有効であっても、エラーメッセージは表示されません。)

PostScript設定



1) 出力形式

PostScript印刷の出力形式を選択します。

- **アスキーデータ**：ジョブをアスキーデータ形式(テキストエディタやワープロでPostScriptコード編集可能)で送信します。
- **Encapsulated PostScript (EPS) 形式**：ジョブをEPS形式(PostScript対応プリンタ用ファイル)で送信します。
- **タグ付きバイナリ通信プロトコル**：ジョブをタグ付きバイナリ形式(情報付き文字以外のデータ形式)で送信します。
- **PostScript(ポータビリティーADSC用に最適化)**：印刷処理がエラーが少なくなるように最適化されたPostScript形式でジョブを送信します 。

注 意

EPS形式は、通常は文書に取り込むための画像を作成する場合に使用する形式です。このため、「Encapsulated PostScript(EPS)形式」を選択すると、文書の1ページのみしか印刷されません。

2) PostScriptエラー情報を印刷する

印刷中に発生したPostScriptエラー情報を出力します。

3) ビットマップを圧縮する

圧縮したビットマップデータを本機へ送信します。

4) アプリケーションのPostScriptを優先

プリンタドライバのPostScriptプログラムの代わりにアプリケーションのプログラムを使用します。

注 意

「アプリケーションのPostScriptを優先」を有効にした場合、Adobe AcrobatなどのPostScriptコードを独自に作成するアプリケーションから印刷すると、以下の印刷オプションは正常に機能しないことがあります。その場合は、この印刷オプションを無効にして印刷を行ってください。

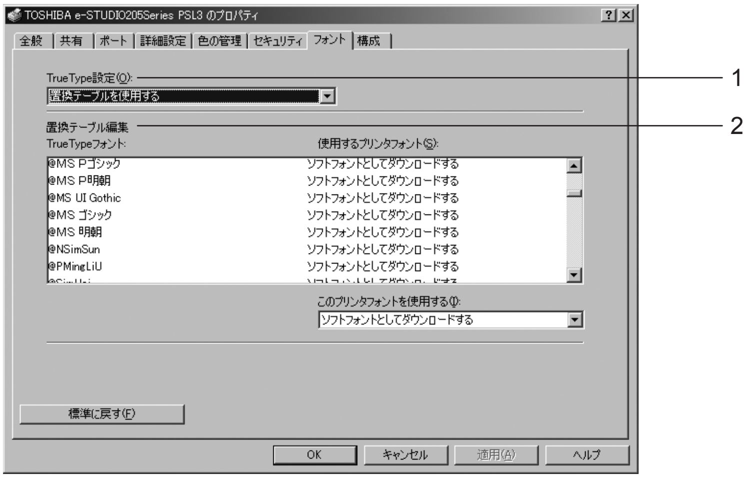
- 手動倍率
- 用紙サイズ
- 用紙タイプ
- 表紙挿入
- 裏表紙挿入
- マガジンソート
- Nin1
- 効果タブの全機能
- 画質タブの全機能

— [フォント]タブ

このタブでは、TrueTypeフォントの印刷方法を選択します。

注 意

[フォント]タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。



1) TrueType設定

TrueTypeフォントの印刷方法を設定します。

- **常にTrueTypeフォントを使用する**：TrueTypeフォントをすべてイメージに展開して印刷するので、画面に表示されているページイメージと印刷結果が一致します。
- **常にプリンタフォントを使用する**：TrueTypeフォントをすべてプリンタの内蔵フォントに置き換えて印刷します。画面に表示されているページイメージと印刷結果が異なる場合があります。
- **置換テーブルを使用する**：ドライバの規定値を使用せず、TrueType置換テーブルの設定を使用してフォントを置き換えて印刷します。「置換テーブル編集」に表示されている置換テーブルを編集することができます。
- **ビットマップとしてダウンロードする**：文書で使用しているフォントをビットマップイメージとして本機にダウンロードし印刷します。

補 足

- PCL6プリンタドライバでは「常にTrueTypeフォントを使用する」が初期設定になります。
- PS3プリンタドライバでは「置換テーブルを使用する」が初期設定になります。

2) 置換テーブル編集

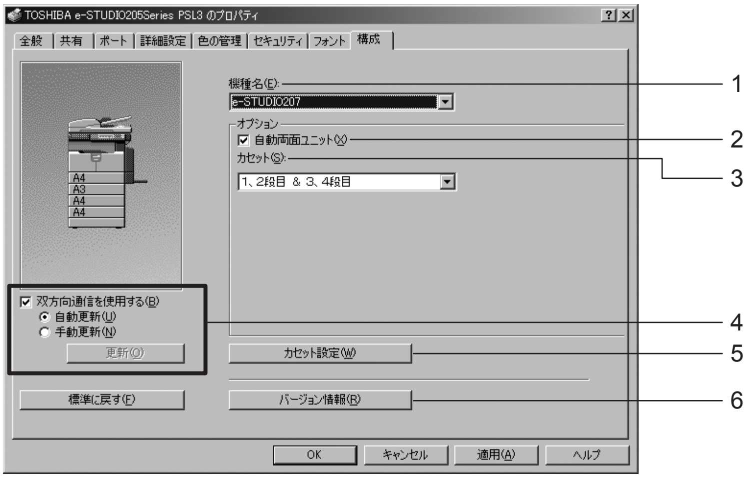
TrueTypeフォントごとにどのようにプリンタフォントに置き換えるかを設定します。置換テーブルの設定を変更するには、変更したいTrueTypeフォントの設定を一覧で選択し、「このプリンタフォントを使用する」ドロップダウンメニューでどのプリンタフォントに置き換えるかを選択します。「このプリンタフォントを使用する」ドロップダウンメニューでは、TrueTypeフォントをType 42形式で送信する「ソフトフォントとしてダウンロードする」、または本機の内蔵フォントを選択することができます。ドロップダウンメニューに表示される本機の内蔵フォントは、選択したTrueTypeフォントによって異なります。

— [構成]タブ

このタブでは、本機に装着しているオプションユニットの構成を設定します。装着したオプションユニットの機能を実行するには、[構成]タブでオプション構成を設定することが必要です。

注 意

[構成]タブは、プリンタドライバのプロパティをプリンタフォルダから表示したときに表示されます。アプリケーションの印刷ダイアログボックスからプロパティを表示した場合には、表示されません。



1) 機種名
本機の機種名を選択します。

2) 自動両面ユニット
オプションの自動両面ユニットが装着されている場合にチェックします。

3) カセット
カセットの装着構成を選択します。
- **1段目**：1段目カセットのみで、オプションのカセットを装着していない場合に選択します。
- **1、2段目**：1段目カセットに加えて、オプションの2段目カセットを装着している場合に選択します。
- **1、2段目＆3段目**：1段目カセットに加えて、オプションの2段目カセット/3段目カセットを装着している場合に選択します。
- **1、2段目＆3、4段目**：1段目カセットに加えて、オプションの2段目カセット/3段目カセット/4段目カセットを装着している場合に選択します。

4) 双方向通信を使用する
本機からオプション構成の情報を取得する場合にチェックします。
- **自動更新**：オプション構成の情報を自動更新したい場合に選択します。
- **手動更新**：オプション構成の情報を手動更新したい場合に選択します。この場合、[更新]をクリックすると、オプション構成の情報を更新することができます。

5) ［カセット設定］
各給紙元の用紙サイズと用紙タイプを設定します。このボタンをクリックすると、「カセット設定」ダイアログボックスが表示されます。

用紙サイズ
各給紙元にセットされている用紙のサイズを選択します。
用紙タイプ
各給紙元にセットされている用紙のタイプを選択します。なお、1段目から4段目のカセットは、「普通紙」に固定されています。

6) ［バージョン情報］
このボタンをクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

さまざまな機能を使って印刷する

ここでは、プリンタドライバが提供する印刷ジョブの処理方法や、レイアウトおよび仕上げオプションなど、高度な印刷機能について説明します。説明をよくお読みになり、目的に合った印刷方法をご使用ください。

印刷ジョブタイプ

印刷ジョブを処理する方法には、通常印刷のほかに、「オーバーレイファイルで保存」があります。

— オーバーレイファイルを作成する

プリンタドライバを介して文書をオーバーレイファイルとして保存することができます。作成したオーバーレイファイルは、他の印刷文書の背面または前面に印刷することができます。
📖 P.222「オーバーレイイメージを使用する」

注 意

- 複数ページの文書をオーバーレイファイルとして保存した場合は、最初のページのみオーバーレイファイルとして保存されます。
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向きで作成または印刷する必要があります。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してオーバーレイファイルで保存を行うと、オーバーレイファイルが正常に作成されないことがあります。その場合はPostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」のチェックを外してください。
📖 P.206「PostScript設定」

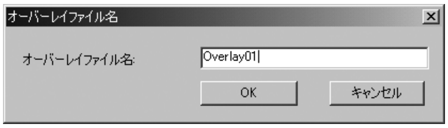
オーバーレイファイルとして保存する

1 **「ジョブタイプ」のドロップダウンメニューから「オーバーレイファイルで保存」を選択します。**

2 **ドロップダウンメニューの右側にある[…]をクリックします。**

「オーバーレイファイル名」ダイアログボックスが表示されます。

3 **オーバーレイイメージの名前を入力し、[OK]をクリックします。**



半角/全角63文字まで入力できます。

4 **必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。**

5 **[プリント](または[印刷]、[OK]など)をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

文書がオーバーレイファイルとして保存されます。

補 足

作成したオーバーレイファイルは、文書を印刷するときに使用することができます。
📖 P.222「オーバーレイイメージを使用する」

レイアウトおよび仕上げオプションを使って印刷する

印刷ジョブごとに適したレイアウトオプションを設定すれば、より効果的な印刷ジョブを作成することができます。また、ソート印刷やマガジンソート印刷など、印刷ジョブごとに適した仕上げオプションを設定して印刷ジョブを出力することができます。

— ソート印刷

複数部数のジョブを印刷するときのソート方法を選択することができます。1 部ごと出力するソート、ページごとにグループ分けして出力するグループ、および縦横交互に出力する縦横交互排紙を選択することができます。

1部ごと仕分けして排紙する

1 [基本]タブを選択し、「印刷部数」フィールドに印刷部数を入力します。

2 [フィニッシング]タブを選択し、「印刷方式」でソートアイコンを選択します。

3 必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。

4 [プリント](または[印刷]、[OK]など)をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブを 1 部ごと仕分けして排紙します。

ページごとにグループ分けして排紙する

1 [基本]タブを選択し、「印刷部数」フィールドに印刷部数を入力します。

2 [フィニッシング]タブを選択し、「印刷方式」でグループアイコンを選択します。

3 必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。

4 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブをページごとにグループ分けして排紙します。

縦横交互に排紙する

注 意

「縦横交互」オプションは、Letter、A4、B5、16Kの用紙を使って印刷するときに有効です。

1 ［基本］タブを選択し、「印刷部数」フィールドに印刷部数を入力します。

2 ［フィニッシング］タブを選択し、「印刷方式」で縦横交互アイコンを選択します。

3 必要に応じて他の印刷オプションを設定し、［OK］をクリックします。

4 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブを１部ごと、縦横交互に排紙します。

— 変倍印刷

指定した用紙のサイズに収まるように、ページイメージを自動で拡大または縮小して印刷します。倍率は手動で設定することもできます。

自動で変倍印刷を行う

1 ［基本］タブを選択し、「原稿サイズ」ドロップダウンメニューから文書のサイズを選択します。また、「用紙サイズ」ドロップダウンメニューから使用する用紙のサイズを選択します。

選択した原稿および用紙のサイズに応じて、ページイメージが変倍されます。

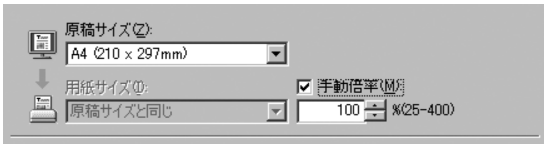
2 必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。

3 [プリント](または[印刷]、[OK]など)をクリックし、印刷ジョブを送信します。

指定した用紙サイズに収まるように変倍されたページイメージが印刷されます。

手動で変倍印刷を行う

1 [基本]タブを選択し、「手動倍率」チェックボックスをチェックして、倍率を入力します。



倍率は、25～ 400(%)の範囲を1%単位で設定することができます。

2 必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。

3 [プリント](または[印刷]、[OK]など)をクリックし、印刷ジョブを送信します。

指定した倍率で変倍されたページイメージが印刷されます。

— 両面印刷

両面印刷は、左右開き(左綴じ)または上下開き(上綴じ)にとじしろを設定し、用紙の両面に印刷する機能です。

両面印刷を行う

1 [セットアップ]タブを選択し、「両面印刷」チェックボックスをチェックして、印刷文書の綴じ向きを選択します。

左綴じ:用紙の垂直方向にとじしろを設定して両面印刷します。印刷文書は左右開きとなります。
上綴じ:用紙の水平方向にとじしろを設定して両面印刷します。印刷文書は上下開きとなります。

2 必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。

3 ［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブを指定した綴じ向きで両面印刷します。

— 表紙/裏表紙挿入

表紙および裏表紙を別のカセットから印刷することができる機能です。

表紙および裏表紙を印刷、挿入する

1 **［排紙先/挿入］タブを表示します。**

2 **表紙を印刷または挿入するときは、「表紙挿入」チェックボックスをチェックし、「給紙方法」ドロップダウンメニューから表紙に使用する用紙の給紙元を選択します。また、「出力形式」ドロップダウンメニューから表紙の印刷方法を選択します。**

- 空白：何も印刷せずに指定した給紙元の用紙を挿入します。
- **片面印刷**：文書の最初のページを指定した給紙元の用紙の表面に印刷します。
- **両面印刷**：文書の最初の2ページを指定した給紙元の用紙の両面に印刷します。

注 意

- 「給紙方法」ドロップダウンメニューで「自動選択」を選んだ場合は、本文の印刷サイズに合わせて、自動的に同じ用紙サイズの給紙元を選択します。
- ［セットアップ］タブで両面印刷オプションが有効に設定されているときに、「両面印刷」を選択することができます。

3 **裏表紙を印刷または挿入するときは、「裏表紙挿入」チェックボックスをチェックし、目的の「給紙方法」および「出力形式」を設定します。**

設定内容は、上記の「表紙挿入」と同じです。

4 **必要に応じて他の印刷オプションを設定し、［OK］をクリックします。**

5 **［プリント］（または［印刷］、［OK］など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷文書に表紙や裏表紙が挿入され、排紙されます。

— マガジンソート印刷

マガジンソート印刷を選択して印刷を行うと、本や雑誌と同じような印刷物を作成することができます。たとえば、B4サイズで文書をマガジンソート印刷した場合、B5サイズの中折り綴じの作成が可能になります。各ページが指定の用紙の半分に収まるように文書サイズを自動調節し、中折り綴じに綴じたときにページの順番が正しくなるようにページを並べ替えて印刷を行います。文書サイズを変更せずにマガジンソート印刷を行う場合は、印刷する用紙サイズを文書サイズの2倍のサイズの用紙を設定します。たとえば、B5サイズで作成した文書をB4サイズの用紙にマガジンソート印刷すると、B4サイズの中折り綴じを作成できます。文書サイズと同じサイズの中折り綴じを作成するには、次のようなサイズで文書を作成し、用紙サイズを指定します。

- A4(文書サイズ)/A3(用紙サイズ)
- B5(文書サイズ)/B4(用紙サイズ)
- Letter(文書サイズ)/Ledger(用紙サイズ)

注 意

PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してマガジンソート印刷を行うと、印刷結果がおかしくなることがあります。その場合はPostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」のチェックを外してください。

P.206「PostScript設定」

補 足

印刷された用紙の中央に手で折り目を入れることにより、中折り綴じの印刷物を作成することが可能です。

マガジンソート印刷を行う

1 [フィニッシング]タブを表示します。

2 「両面印刷」チェックボックスをチェックし、「マガジンソート」アイコンを選択します。

3 [編集...]をクリックします。

「マガジンソート設定」ダイアログボックスが表示されます。

4 以下の項目を設定し、[OK]をクリックします。

仕上がりサイズ：出力される仕上がりサイズを選択します。
ページの順序：ページを左から右の順序で印刷するか、右から左の順序で印刷するかを選択します。
余白 - 中心：見開き印刷されるページの中央の余白を設定します。12.70 mm（0.50インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
余白 - 外側：ページの上下左右の余白を設定します。25.40 mm（1インチ）まで入力することができます。余白の設定値分だけ印刷画像は縮小されます。
余白 - 単位：中心の余白および外側の余白の単位を選択します。

5 必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。

6 [プリント]（または[印刷]、[OK]など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。

印刷ジョブをマガジンソート印刷します。

— Nin1印刷

Nin1印刷は、複数ページを1枚の用紙にレイアウトして印刷する機能です。ページの多い文書の外見を印刷して確認したい場合などに便利です。たとえば、ページが長いWeb ページや、プレゼンテーション用ドキュメントなどにNin1印刷を使用すると、効率的に文書の全体を確認することができます。また、用紙の使用量を削減することもできます。

補 足

Nin1印刷時にオーバーレイを選択すると、複数のページがレイアウトされる用紙ごとにオーバーレイイメージが印刷されます。用紙上にレイアウトされる各ページイメージには、オーバーレイイメージは印刷されません。

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1 **[フィニッシング]タブを表示します。**

2 **「Nin1」チェックボックスをチェックし、レイアウト方法を選択します。**

2 in 1：2ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

4 in 1：4ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

6 in 1：6ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

8 in 1：8ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

9 in 1：9ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

16 in 1：16ページを1枚の用紙に並べて印刷します。

3 **「配置」で用紙にページをどのように並べるかを選択します。**

左から右：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
右から左：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
縦列で左から右：ページを左上から右下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
縦列で右から左：4ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

4 **ページごとに境界線を印刷するときは、「周囲に境界線を印刷」チェックボックスをチェックします。**

5 **必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。**

6 **[プリント]（または[印刷]、[OK]など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブをNin1印刷します。

— ウォーターマークを使用する

ウォーターマークは、「社外秘」、「ドラフト」、「コピー」などの文字列を印刷する文書に重ねた状態で用紙に印刷する機能です。ウォーターマークによって印刷文書の種類や用途を一目で分かるように分類することができます。上記３つのウォーターマークは標準で登録されていますが、ウォーターマークに使用する文字は自分で作成することもできます。

注 意

ウォーターマークは、オーバーレイファイルには使用できません。「ジョブタイプ」タブで「オーバーレイファイルで保存」を選択した場合は、ウォーターマークの設定項目は網掛け表示され、設定できなくなります。

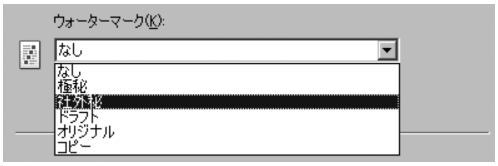
補 足

ウォーターマークはテキストだけを使います。グラフィックなどを使う場合は、オーバーレイファイルを使用します。

📖 P.222「オーバーレイイメージを使用する」

ウォーターマークを印刷する

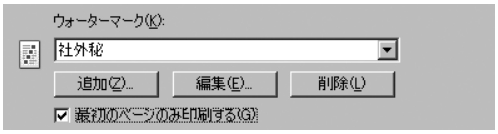
1 **[効果]タブを選択し、「ウォーターマーク」ドロップダウンメニューで印刷するウォーターマークを選択します。**



注 意

ドロップダウンメニューに目的のウォーターマークがない場合は、ウォーターマークを新たに作成することができます。

2 **選択したウォーターマークを文書の最初のページにのみ印刷する場合は、「最初のページのみ印刷する」チェックボックスをチェックします。**



3 **必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。**

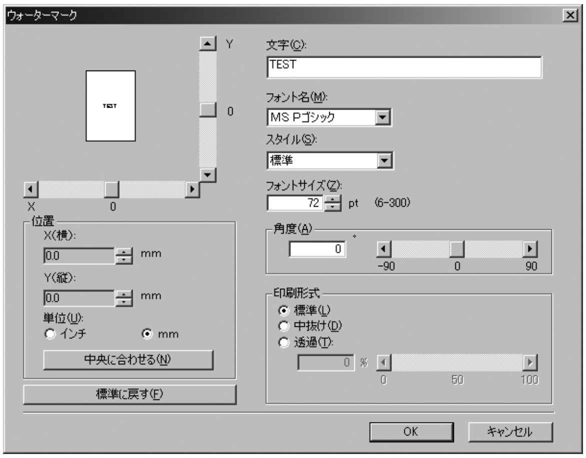
4 **[プリント](または[印刷]、[OK]など)をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブにウォーターマークが印刷されます。

ウォーターマークを作成する／編集する

1 **新規のウォーターマークを作成するときは、[追加]をクリックします。既存のウォーターマークを編集する場合は、編集するウォーターマークを選択し、[編集]をクリックします。**

ウォーターマークの編集ダイアログボックスが表示されます。



2 **「文字」フィールドにウォーターマークに使用するテキストを入力します。**

半角/全角63文字まで入力することができます。

3 **「フォント名」ドロップダウンメニューで、ウォーターマークテキストのフォントを選択します。**

4 **「スタイル」ドロップダウンメニューで、ウォーターマークテキストのスタイルを選択します。**

5 **「フォントサイズ」フィールドにウォーターマークテキストのフォントサイズを入力します。**

6ptから300ptの範囲を1pt単位で設定することができます。スクロールバーを使ってフォントサイズを設定することもできます。

6 **「角度」フィールドにウォーターマークテキストの回転角度を入力します。**

-90°～ 90°の範囲を1°単位で設定することができます。スクロールバーを使って角度を設定することもできます。

7 「印刷形式」でウォーターマークテキストの印刷方法を選択します。

標準：ウォーターマークを指定した色で塗りつぶして印刷します。
中抜け：ウォーターマークを中抜きのフォントスタイルで印刷します。
透過：ウォーターマークが文書のテキストやオブジェクトの背面に透過して見えるように印刷します。透過率は、0～100(%)の範囲を1%単位で設定することができます。スクロールバーを使って透過率を設定することもできます。

8 [OK]をクリックし、ウォーターマーク設定を保存します。

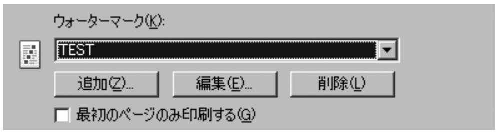
新規ウォーターマークが追加、または変更内容が適用されます。

ウォーターマークを削除する

注 意

標準で登録されているウォーターマークも削除することができます。ただし、削除した場合、[標準に戻す]をクリックしても元に戻すことはできません。

1 「ウォーターマーク」ドロップダウンメニューで、削除するウォーターマークを選択します。



2 [削除]をクリックします。

削除の確認メッセージが表示されます。

3 [はい]をクリックします。

ウォーターマークが削除されます。

— オーバーレイイメージを使用する

テキスト、グラフィック、チャート、表などによって構成された単ページ文書（または画像）を指定し、印刷文書の背面に印刷する機能です。グラフィックを使用するため、通常のウォーターマークより印刷に時間がかかってしまう場合がありますが、より適応したウォーターマークを印刷するときに便利です。印刷ジョブにオーバーレイファイルを使用するには、まず最初にオーバーレイファイルを作成する必要があります。

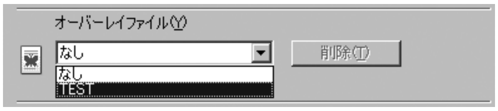
📖 P.210「オーバーレイファイルを作成する」

注 意

- Nin1印刷時にオーバーレイを選択すると、複数のページがレイアウトされる用紙ごとにオーバーレイイメージが印刷されます。（用紙上にレイアウトされる各ページイメージには、オーバーレイイメージは印刷されません。）
- オーバーレイファイルとそのオーバーレイファイルを使用して印刷する文書は、同じ用紙サイズ、用紙の向きで作成または印刷する必要があります。
- PostScriptコマンドを直接生成するアプリケーションから、PS3プリンタドライバを使用してオーバーレイファイルで保存を行うと、オーバーレイファイルが正常に作成されないことがあります。その場合はPostScript設定の「アプリケーションのPostScriptを優先」のチェックを外してください。
  📖 P.206「PostScript設定」

オーバーレイイメージを使用する

1 **[効果]タブを選択し、「オーバーレイファイル」ドロップダウンメニューから使用するオーバーレイイメージ名を選択します。**



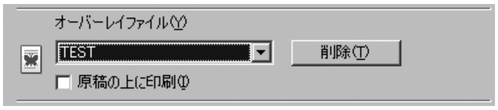
2 **必要に応じて他の印刷オプションを設定し、[OK]をクリックします。**

3 **[プリント]（または[印刷]、[OK]など）をクリックし、印刷ジョブを送信します。**

印刷ジョブにオーバーレイイメージが印刷されます。

オーバーレイイメージを削除する

1 「オーバーレイファイル」ドロップダウンメニューで、削除するオーバーレイイメージを選択します。



2 [削除]をクリックします。

削除の確認メッセージが表示されます。

3 [はい]をクリックします。

オーバーレイイメージが削除されます。

Macintoshアプリケーションから印刷する

本機は、Macintoshアプリケーションからの印刷をサポートしています。

アプリケーションから印刷する（Mac OS 8.6/9.x）

📖 P.130「プリンタをインストールする（Mac OS 8.6/9.x）」で説明している手順でPPDファイルのインストールを完了すれば、ほとんどのMac OSのアプリケーションから印刷を行うことができます。

印刷方法（Mac OS 8.6/9.x）

アプリケーションから本機に印刷する前に、印刷に使用するプリンタとして本機をセレクタで選択する必要があります。PPDファイルを正しくインストールするとLaserWriter 8プリンタドライバ を使用して、さまざまな特殊な機能を利用してより高度な印刷を行うことができます。

— セレクタでプリンタを選択する

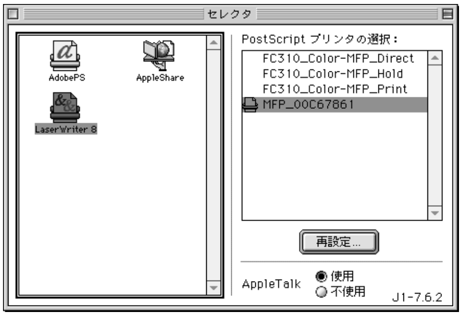
アプリケーションから印刷する前に、本機を印刷に使用するプリンタとしてセレクタで選択します。

セレクタでLaserWriter 8プリンタを選択する

1 **アップルメニューをクリックし、[セレクタ]を選択します。**

「セレクタ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **LaserWriter 8アイコンを選択し、「PostScriptプリンタの選択」リストで本機を選択します。**



3 **「セレクタ」ダイアログボックスを閉じます。**

選択したLaserWriter 8プリンタを現在使用するプリンタとして設定します。

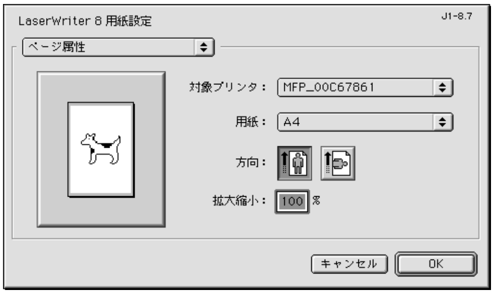
— Macintoshコンピュータから印刷する

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷オプションを用紙設定ダイアログボックスおよび印刷ダイアログボックスで設定し、印刷します。

アプリケーションから印刷する

1 **文書を開き、アプリケーションの[ファイル]メニューをクリックして[用紙設定]を選択します。**

2 **「対象プリンタ」ドロップダウンメニューで本機が選択されていることを確認し、用紙設定をセットアップします。**



用紙設定は、どのように印刷するかによって異なります。

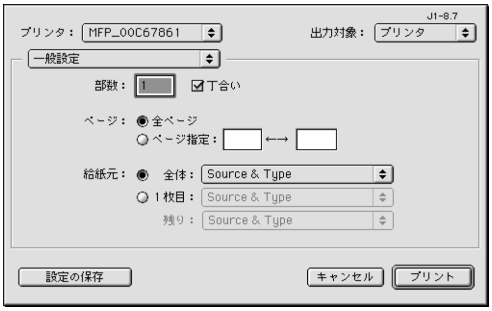
P.226「用紙設定ダイアログボックスの設定(Mac OS 8.6/9.x)」

3 **[OK]をクリックし、設定を保存します。**

4 [ファイル]メニューをクリックして[プリント]を選択します。

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

5 「プリンタ」ドロップダウンメニューで本機が選択されていることを確認し、印刷設定をセットアップします。



印刷設定は、どのように印刷するかによって異なります。

📖 P.228「印刷設定ダイアログボックスの設定(Mac OS 8.6/9.x)」

6 [プリント]をクリックし、印刷を実行します。

注 意

- 部門管理をしている環境で不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効(削除)となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。
- ページ数が多い文書やグラフィックを多用している文書を複数部印刷する場合、その印刷ジョブのデータサイズが本機のメモリ容量を超えてしまうと、指定した部数は印刷されず、文書1部とエラーレポートが印刷されます。

用紙設定ダイアログボックスの設定(Mac OS 8.6/9.x)

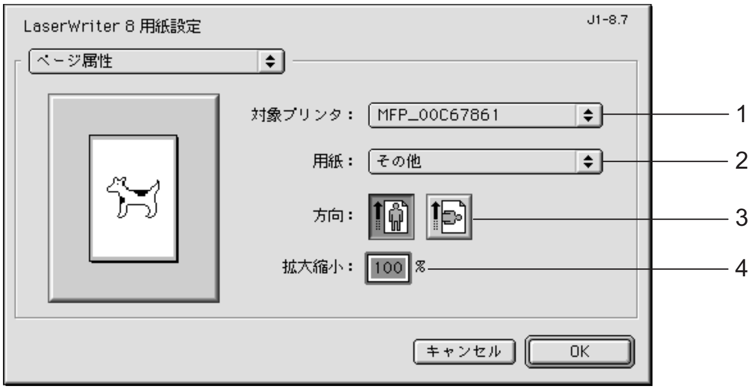
用紙設定は、アプリケーションの[ファイル]メニューにある[用紙設定]コマンドを選択して表示することができます。「用紙設定」ダイアログボックスでは、ページ属性の設定を操作します。

注 意

- 「用紙設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。
- PostScriptオプションウィンドウには、通常LaserWriter8プリンタドライバが提供する設定項目が表示されます。PostScriptオプションの詳細については、Mac OSのバルーンヘルプを参照してください。

— ページ属性

ページ属性メニューでは、用紙サイズ、印刷の向き、倍率を設定することができます。



1) 対象プリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。

2) 用紙

印刷に使用する用紙サイズを選択します。 使用できる原稿サイズは、次のとおりです：

- A4
- A5
- A3
- B4
- B5
- Folio
- はがき
- 8K
- 16K
- Letter
- Ledger
- Legal
- Statement
- Computer
- 13"LG

3) 方向

給紙方向で選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。

- **縦**：文書を用紙に対して縦方向に印刷します。
- **横**：文書を用紙に対して横方向に印刷します。

4) 拡大縮小

印刷イメージを拡大または縮小して印刷する場合に、倍率を指定します。25～400（%）の範囲を1%単位で設定することができます。

印刷設定ダイアログボックスの設定(Mac OS 8.6/9.x)

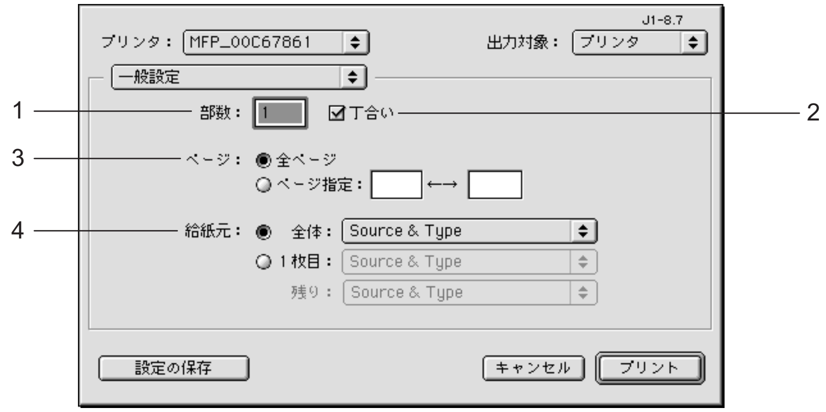
印刷設定は、アプリケーションの[ファイル]メニューにある[プリント]コマンドを選択して表示することができます。「印刷設定」ダイアログボックスでは、以下の設定を操作します。
一般設定、バックグラウンドプリント、カラーマッチング、表紙、フォント設定、作業記録処理、レイアウト、排出設定、印刷種別、マガジンソート設定、ウォーターマーク設定(A)(B)、画質

注 意

「印刷」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。

— 一般設定

一般設定メニューでは、印刷部数やソート印刷などを設定することができます。



1) 部数
印刷する部数を設定します。1部～9999部まで指定することができます。

注 意

ページ数が多い文書やグラフィックを多用している文書を複数部印刷する場合、印刷ジョブのデータサイズが本機のメモリ容量を超えてしまうと、指定した部数は印刷されず、文書1部とエラーレポートが印刷されます。

2) 丁合い
2部以上を印刷する場合に、部単位に仕分けして印刷します(ソート印刷)。

3) ページ
印刷するページを指定します。
- **全ページ**:すべてのページを印刷します。
- **ページ指定**:印刷するページを指定して印刷します。選択した場合は、印刷する始めのページと終わりのページをそれぞれ入力します。

4) 給紙元

印刷に使用する用紙の給紙元を選択します。始めのページとそれ以外のページに異なった給紙方法を設定することもできます。印刷サイズに合った用紙がセットされている給紙元を選択してください。

- **全体**：すべてのページを同じ給紙元の用紙に印刷する場合に選択します。右のドロップダウンメニューで使用する給紙元を選択します。
- **1枚目**：文書の始めのページと残りのページを異なる用紙を使用して印刷する場合に選択します。右のドロップダウンメニューで1ページ目の印刷に使用する給紙元を選択します。
- **残り**：文書の始めのページと残りのページを異なる用紙を使用して印刷する場合に、右のドロップダウンメニューで残りのページの印刷に使用する給紙元を選択します。

— カラーマッチング

印刷のためのカラーマッチングを設定します。

1) カラー指定

本機で印刷を実行するには、「カラー／グレイスケール」を選択します。他の項目はサポートされていません。

2) マッチングスタイル

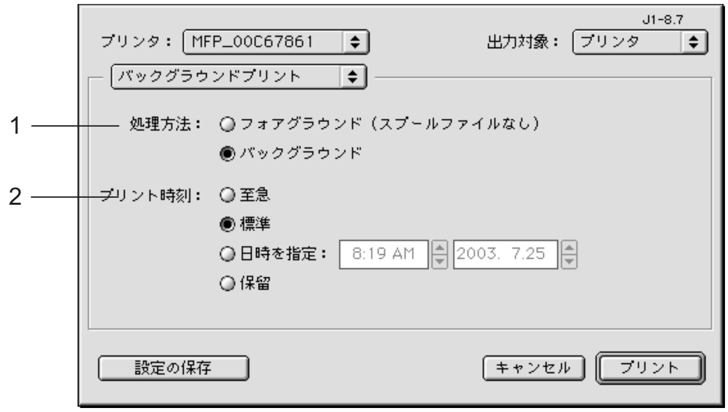
「カラー指定」ドロップダウンメニューの「ColorSyncカラーマッチング」および「PostScriptカラーマッチング」はサポートされていないため、この項目は設定しないでください。

3) プリンタ用プロファイル

「カラー指定」ドロップダウンメニューの「ColorSyncカラーマッチング」および「PostScriptカラーマッチング」はサポートされていないため、この項目は設定しないでください。

— バックグラウンドプリント

バックグラウンドプリントメニューでは、印刷ジョブのスプール設定を行います。



1) 処理方法

どのように印刷ジョブをスプールするかを設定します。

- **フォアグラウンド(スプールファイルなし)**：印刷中にMac OSコンピュータ上の操作を無効にし、印刷処理以外の動作をコンピュータ上で行えないようにします。
- **バックグラウンド**：印刷中にMac OSコンピュータ上の操作を有効にします。

2) プリント時刻

印刷する時刻を設定します。

- **至急**：今すぐ印刷ジョブを印刷する場合に選択します。コンピュータ上で、現在処理中の印刷ジョブがある場合は、処理を一時中止し、この印刷ジョブを優先して印刷します。
- **標準**：送信した印刷ジョブの順序で印刷する場合に選択します。現在処理中の印刷ジョブがある場合は、それらの印刷を完了してから印刷を行います。
- **日時を指定**：時間を指定して印刷する場合に選択します。選択した場合は、印刷ジョブを本機へ送信する時刻と日付を指定します。
- **保留**：印刷せずに印刷ジョブをコンピュータのキューに残します。キューに残された印刷ジョブは、デスクトッププリンタをダブルクリックして表示されるキューダイアログボックスで、印刷を実行すると印刷されます。

— ファイルとして保存

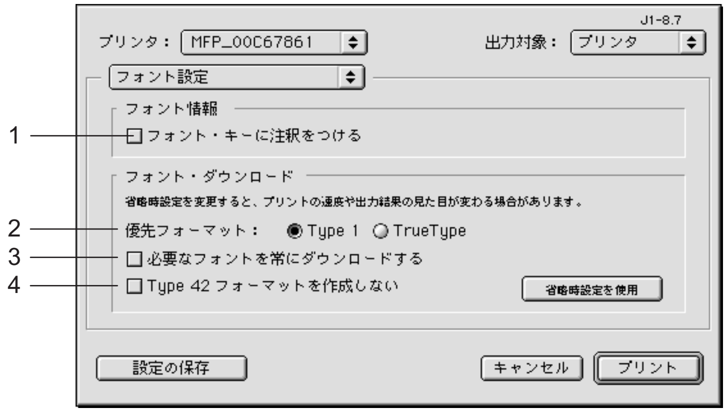
「ファイルとして保存」ウィンドウには、通常LaserWriter 8プリンタドライバが提供する設定項目が表示されます。

補 足

「ファイルとして保存」ウィンドウの詳細については、Mac OSのバルーンヘルプを参照してください。

— フォント設定

フォント設定メニューでは、フォントの印刷方法を設定することができます。



1) フォントキーに注釈をつける
印刷時にフォントキーに注釈を付ける場合にチェックします。

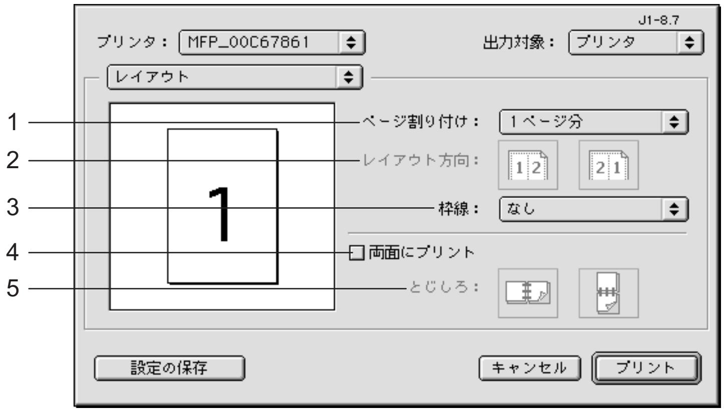
2) 優先フォーマット
印刷時に Type 1フォントを使用するか、TrueTypeフォントを使用するかを設定します。
- **Type 1**：Type 1フォントを使用します。
- **TrueType**：TrueTypeフォントを使用します。

3) 必要なフォントを常にダウンロードする
印刷時に常にフォントをダウンロードします。

4) Type 42フォーマットを作成しない
Type 42形式を生成しない場合にチェックします。

— レイアウト

レイアウトメニューでは、Nin1印刷および両面印刷を設定することができます。



1) ページ割り付け

複数ページを1枚の用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

- **1ページ分**：通常印刷します。
- **2 ページ分**：２ページを１枚の用紙に印刷します。
- **4 ページ分**：4ページを横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6ページ分**：6ページを横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9ページ分**：9ページを横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16ページ分**：16ページを横方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **4（縦方向）**：4ページを縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **6（縦方向）**：6ページを縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **9（縦方向）**：9ページを縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。
- **16（縦方向）**：16ページを縦方向を優先して1枚の用紙に並べて印刷します。

2) レイアウト方向

ページをレイアウトする方向を設定します。ページ割り付けドロップダウンメニューでNin1印刷を選択したときに設定することができます。

3) 枠線

各ページに枠線を付けてNin1印刷するかどうかを選択します。ページ割り付けドロップダウンメニューでNin1印刷を選択したときに設定することができます。

- **なし**：枠線を付けずにNin1印刷します。
- **極細１本線**：各ページに極細の枠線を付けてNin1印刷します。
- **細１本線**：各ページに細い枠線を付けてNin1印刷します。
- **極細２本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてNin1印刷します。
- **細２本線**：各ページに細い二重枠線を付けてNin1印刷します。

4) 両面にプリント

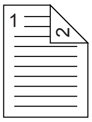
両面印刷をします。チェックボックスをチェックした場合は、「とじしろ」オプションで用紙の綴じ向きを選択します。

5) とじしろ

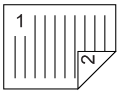
両面印刷した用紙の綴じ方を設定します。

- **長手綴じ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦

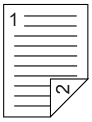


横

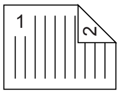


- **短手綴じ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦



横



— 作業記録処理

ジョブ設定メニューでは、エラーが発生したときにどのようにエラーを通知するか、またジョブログを生成するかを設定します。

1) PostScriptエラーが起きた場合

エラーが発生したときに通知するかしないかを選択します。
- **特別なレポートなし**：エラーが発生しても何も通知しません。
- **画面上に要約**：エラーが発生した場合、画面上でエラーの内容を通知します。
- **詳細レポートをプリント**：エラーが発生した場合、詳細レポートを印刷します。

2) 作業記録

ジョブログを生成するか、ジョブの複製を生成するかを設定します。
- **作業内容のコピーを作成**：ジョブの複製を生成する場合に選択します。有効にすると、「作業記録フォルダ」で指定したフォルダにジョブの複製が生成されます。
- **作業のログを作成**：ジョブログを生成する場合に選択します。有効にすると、「作業記録フォルダ」で指定したフォルダにジョブログが生成されます。

3) 作業記録フォルダ

ジョブの複製やジョブログの生成先のフォルダが表示されます。フォルダを変更する場合は、[変更]をクリックし別のフォルダを選択します。

— 表紙

表紙メニューでは、印刷ジョブにバナーページを付けて印刷するかどうかを設定します。バナーページには、ジョブの所有者、ジョブ名、アプリケーション名、日付と日時、プリンタ名、部数などの情報が印刷されます。

1) 表紙のプリント

バナーページを印刷するかどうかを設定します。

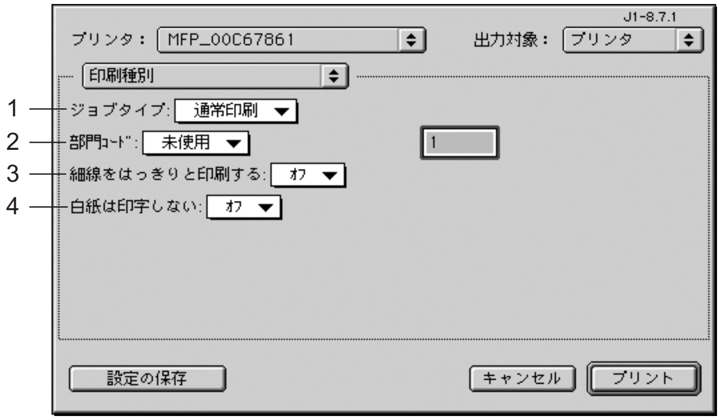
- <u>**なし**</u>：バナーページ印刷を無効にします。
- **書類の前に**：文書の前にバナーページを挿入する場合にチェックします。表紙の給紙方法ドロップダウンメニューで使用する用紙の給紙元を選択します。
- **書類の後に**：文書の最後にバナーページを挿入する場合にチェックします。表紙の給紙方法ドロップダウンメニューで使用する用紙の給紙元を選択します。

2) 表紙の給紙元

「表紙のプリント」オプションで「書類の前に」または「書類の後に」を選択した場合に、表紙または裏表紙に使用する用紙がセットされている給紙元を選択します。

— 印刷種別

印刷種別メニューでは、本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。



1) ジョブタイプ

印刷ジョブの処理方法を設定します。

- **通常印刷**：通常の印刷を行います。（これ以外選択できません。）

2) 部門コード

印刷を実行するのに部門コードを必要とするかどうかを選択します。このオプションを有効にした場合は、右横のフィールドに５桁の部門コードを指定します。本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。使用する部門コードについては、管理者にお聞きください。

注 意

不正な部門コードを入力して印刷した場合、その印刷ジョブは無効（削除）となり、エラーレポートが印刷されます。

3) 細線をはっきりと印刷する

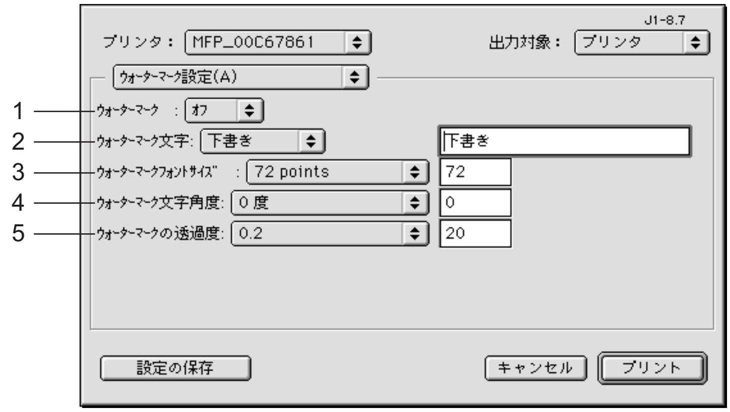
細線をはっきりと印刷するかを選択します。

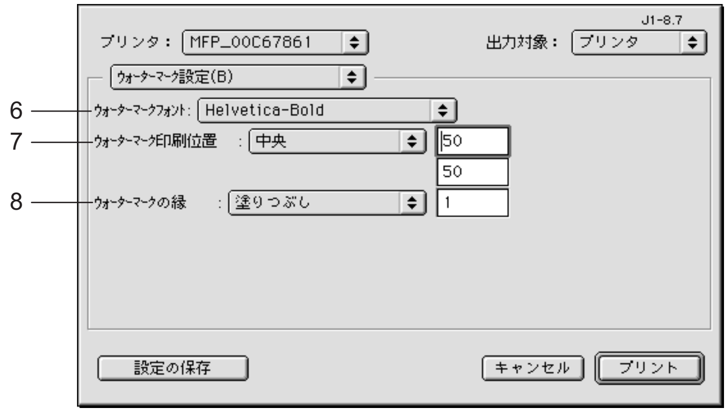
4) 白紙は印字しない

白紙ページを印刷するか選択します。

— ウォーターマーク設定

「ウォーターマーク設定(A)」および「ウォーターマーク設定(B)」メニューで、ウォーターマークの印刷を設定することができます。





1) ウォーターマーク

ウォーターマークを印刷するかを設定します。

- **オフ**:ウォーターマークを印刷しません。
- **オン**:ウォーターマークを印刷します。

2) ウォーターマーク文字

印刷するウォーターマークを選択します。一覧に目的のウォーターマークがない場合は、フィールドに印刷したいテキストを入力します。

3) ウォーターマークフォントサイズ

ウォーターマークのフォントサイズを選択します。一覧に設定したいサイズがない場合は、ポイント単位でサイズを入力します。4ポイント～900ポイントの範囲を1ポイント単位で設定することができます。

4) ウォーターマーク文字角度

ウォーターマークの回転角度を選択します。一覧に設定したい角度がない場合は、0度～360度の範囲を1度単位で設定することができます。

5) ウォーターマークの透過度
ウォーターマークの色に適用するグレーレベルを選択します。一覧に設定したい値がない場合は、1%～100%の範囲を1%で設定することができます。

6) ウォーターマークフォント
ウォーターマークに使用するフォントを選択します。（日本語フォントはありません。）

7) ウォーターマーク印刷位置
ウォーターマークの印刷位置を選択します。一覧に目的の印刷位置がない場合は、縦位置、横位置を手動で設定します。

8) ウォーターマークの縁
アウトラインのポイント、またはウォーターマークを塗りつぶして印刷するための「塗りつぶし」を選択します。一覧に設定したいポイントがない場合は、0.1ポイント～20ポイントの範囲を0.1ポイント単位で設定することができます。

— 画質

画質メニューでは、さまざまイメージ品質の機能を設定することができます。

1) ハーフトーン
ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
- **自動**：ハーフトーン処理を自動的に行います。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

2) スムージング
文字やグラフィックをなめらかに印刷する場合にチェックします。

3) トナー節約
トナーを節約して印刷する場合にチェックします。

アプリケーションから印刷する(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)

📖 P.136「プリンタをインストールする(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)」で説明している手順でPPDファイルのインストールを完了すれば、ほとんどのMac OSのアプリケーションからそのまま印刷を行うことができます。

注 意

Mac OS X 10.2.xのプリビューアプリケーションを使ってPDFファイルを印刷した場合、ページ順序が正しく印刷されないことがあります。Adobe Acrobat Readerを使ってPDFを印刷してください。

印刷方法(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)

すべてのプリンタはプリントセンターユーティリティで管理されており、プリンタを切り替える必要はありません。
プリンタリストにプリンタが追加されていれば、印刷セットアップダイアログボックスからすべてのプリンタを直接選択することができます。

— Macintoshコンピュータから印刷する

Mac OSアプリケーションから印刷する場合は、印刷オプションを用紙設定ダイアログボックスおよび印刷ダイアログボックスで設定し、印刷します。

アプリケーションから印刷する

1 **文書を開き、アプリケーションの[ファイル]メニューをクリックして[ページ設定]を選択します。**

2 **「対象プリンタ」ドロップダウンメニューから本機を選択し、印刷ジョブのページ設定を設定します。**

ページ設定は、どのように印刷するかによって異なります。
📖 P.241「ページ属性」

3 **[OK]をクリックし、設定を保存します。**

4 [ファイル]メニューをクリックして[プリント]を選択します。

5 「プリンタ」ドロップダウンメニューで本機が選択されていることを確認し、印刷設定をセットアップします。

印刷設定は、どのように印刷するかによって異なります。

📖 P.242「印刷ダイアログボックスの設定(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)」

6 [プリント]をクリックし、印刷を実行します。

注 意

- 部門管理をしている環境で不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効(削除)となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。
- ページ数が多い文書やグラフィックを多用している文書を複数部印刷する場合、その印刷ジョブのデータサイズが本機のメモリ容量を超えてしまうと、指定した部数は印刷されず、文書1部とエラーレポートが印刷されます。
- プリンタダイアログボックス設定で設定した内容をプリセットで名前を付けて保存することができます。印刷時に保存したプリセットを選択すると、保存した設定内容を初期値として印刷することができます。

ページ設定ダイアログボックスの設定(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)

ページ設定は、アプリケーションの[ファイル]メニューにある[ページ設定]コマンドを選択して表示することができます。「ページ設定」ダイアログボックスでは、ページ属性を操作します。

注 意

「ページ設定」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。

— ページ属性

1) 対象プリンタ
印刷に使用するプリンタを選択します。

2) 用紙サイズ
印刷に使用する用紙サイズを選択します。
使用できる原稿サイズは、次のとおりです：

- A4
- A5
- A3
- B4
- B5
- Folio
- はがき
- 8K
- 16K
- レター
- Ledger
- リーガル
- Statement
- Computer
- 13"LG

補 足

はがきに印刷したい場合は、ページ属性の用紙サイズではがきを選択し、[OK]をクリックして設定を保存します。次に、[ファイル]メニューの[プリント]を選択し、印刷ダイアログボックス設定の[プリント]をクリックして印刷を実行してください。

3) 方向
給紙方向で選択した給紙元の用紙の向きと印刷する文書の向きに合わせて、印刷の向きを選択します。
- **縦**：文書を用紙に対して縦方向に印刷します。
- **横(90度**：文書を用紙に対して横方向に左から印刷します。
- **横(270度**：文書を用紙に対して横方向に右から印刷します。

4) 拡大縮小
印刷イメージを拡大または縮小して印刷する場合に、倍率を指定します。25～400(%)の範囲を1%単位で設定することができます。

印刷ダイアログボックスの設定(Mac OS X 10.2.4〜10.4.x)

印刷設定は、アプリケーションの[ファイル]メニューにある[プリント]コマンドを選択して表示することができます。「印刷設定」ダイアログボックスでは、以下の設定を行います。

印刷ダイアログボックスのメニューはMac OS X 10.2.4〜10.2.8、Mac OS X 10.3.xおよび10.4.xで異なります。以下の表を見て、各Mac OSバージョンで表示されるメニューと画面説明への参照を確認してください。

メニュー	サブメニュー	10.2.x	10.3.x	10.4.x	参照
印刷部数と印刷ページ		✓	✓	✓	📖 P.243「印刷部数と印刷ページ」
レイアウト		✓	✓	✓	📖 P.244「レイアウト」
両面印刷		✓			📖 P.246「両面印刷(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8)」
出力オプション		✓	✓		📖 P.247「出力オプション(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8/10.3.x)」
スケジューラ			✓	✓	📖 P.248「スケジューラ(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)」
用紙処理			✓	✓	📖 P.249「用紙処理(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)」
ColorSync			✓	✓	📖 P.250「ColorSync(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)」
表紙			✓	✓	📖 P.251「表紙(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)」
エラー処理		✓	✓	✓	📖 P.252「エラー処理」
給紙		✓	✓	✓	📖 P.253「給紙」
ジョブタイプ			✓	✓	📖 P.254「ジョブタイプ(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)」
プリンタの機能	印刷種別	✓			📖 P.255「印刷種別(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8)」
	印刷品質	✓			📖 P.256「印刷品質(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8)」
	部門コード	✓			📖 P.257「部門コード(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8)」
プリンタの機能			✓	✓	📖 P.258「プリンタの機能(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)」
一覧		✓	✓	✓	📖 P.258「一覧」

注 意

「印刷」ダイアログボックスの表示は、アプリケーションによって異なることがあります。

— 印刷部数と印刷ページ

このメニューでは、印刷部数やソート印刷などの一般的な印刷オプションを設定することができます。

1) 部数

印刷する部数を設定します。最大部数はOSのバージョンにより異なります。

注 意

ページ数が多い文書やグラフィックを多用している文書を複数部印刷する場合、印刷ジョブのデータサイズが本機のメモリ容量を超えてしまうと、指定した部数は印刷されず、文書1部とエラーレポートが印刷されます。

2) 丁合い

2部以上を印刷する場合に、部単位に仕分けして印刷します（ソート印刷）。

3) ページ

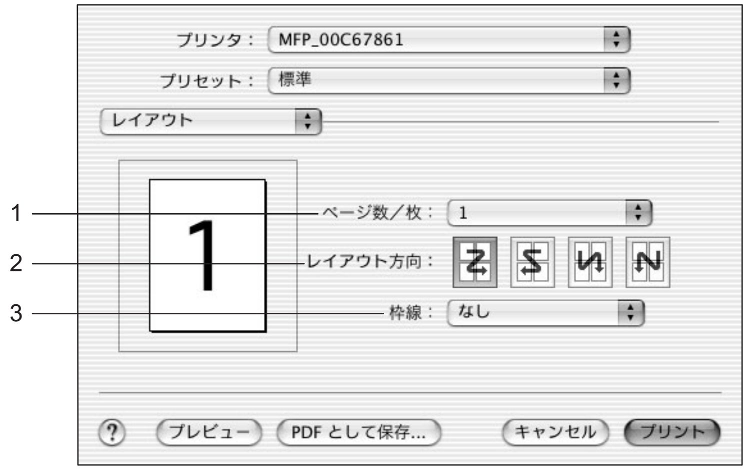
印刷するページを指定します。

- **すべて**：すべてのページを印刷します。
- **開始**：印刷するページを指定して印刷します。選択した場合は、印刷する始めのページと終わりのページをそれぞれ入力します。

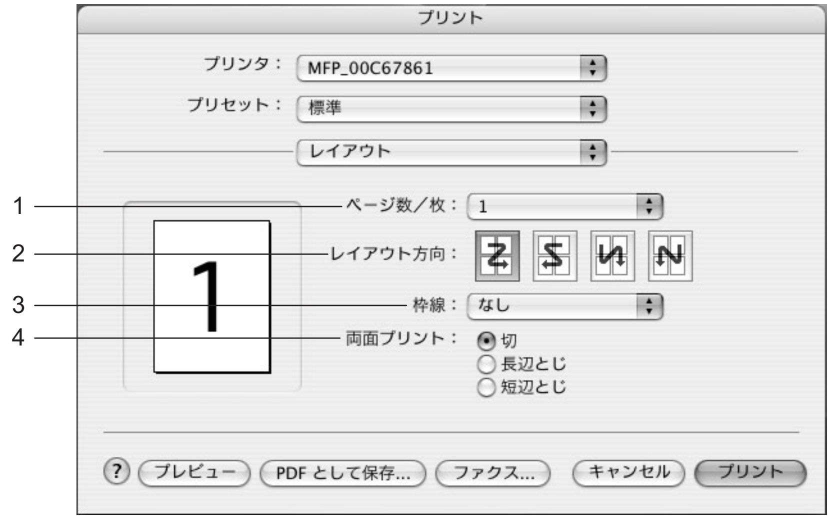
— レイアウト

レイアウトメニューでは、Nin1印刷を設定することができます。レイアウトメニューに表示される設定は、お使いのMac OS Xのバージョンによって異なります。

Mac OS X 10.2.4～10.2.8の場合



Mac OS X 10.3.x/10.4.x の場合



1) ページ数／枚

複数ページを1枚の用紙に印刷します。印刷イメージは指定した用紙サイズに収まるように印刷イメージを自動的に縮小して印刷します。

- **1**：通常印刷します。
- **2**：2ページを 1 枚の用紙に印刷します。
- **4**：4ページを 1 枚の用紙に並べて印刷します。
- **6**：6ページを 1 枚の用紙に並べて印刷します。
- **9**：9ページを 1 枚の用紙に並べて印刷します。
- **16**：16ページを 1 枚の用紙に並べて印刷します。

2) レイアウト方向

ページをレイアウトする方向を設定します。ページ／数ドロップダウンメニューでNin1印刷を選択したときに設定することができます。

- **<u>左上から右下へ(横方向優先)</u>**：ページを左上から右下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ(横方向優先)**：ページを右上から左下に横方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **左上から右下へ(縦方向優先)**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。
- **右上から左下へ(縦方向優先)**：ページを右上から左下に縦方向を優先して1枚の用紙に並べます。

3) 枠線

各ページに枠線を付けてNin1印刷するかどうかを選択します。ページ数／枚ドロップダウンメニューでNin1印刷を選択したときに設定することができます。

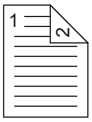
- **<u>なし</u>**：枠線を付けずにNin1印刷します。
- **極細線**：各ページに極細の枠線を付けてNin1印刷します。
- **細線**：各ページに細い枠線を付けてNin1印刷します。
- **極細２本線**：各ページに極細の二重枠線を付けてNin1印刷します。
- **細２本線**：各ページに細い二重枠線を付けてNin1印刷します。

4) 両面プリント

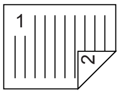
両面印刷を設定します。

- **<u>切</u>**：両面印刷を無効にします。
- **長辺綴じ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦

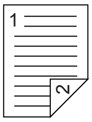


横

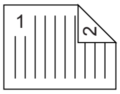


- **短辺綴じ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦



横



注 意

「両面プリント」設定はMac OS X 10.2.4～10.2.8では表示されません。Mac OS X 10.2.4～10.2.8で両面印刷を設定したい場合は、両面印刷メニューで設定します。

📖 P.246「両面印刷(Mac OS X 10.2.4～10.2.8)」

— 両面印刷(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8)

両面印刷メニューでは、両面印刷を設定することができます。

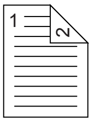
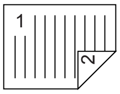
注 意

両面印刷メニューはMac OS X 10.3.x/10.4.xでは表示されません。Mac OS X 10.3.x/10.4.xで両面印刷を設定したい場合は、レイアウトメニューで「両面プリント」を設定します。
P.244「レイアウト」

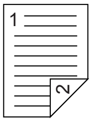
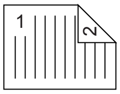
1) **両面にプリントする**
両面印刷をします。チェックボックスをチェックした場合は、「製本」オプションで用紙の綴じ向きを選択します。

2) **製本**
両面印刷した用紙の綴じ方を設定します。

- **長手綴じ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦

横


- **短手綴じ**：用紙の短い辺を綴じるように両面印刷します。裏面に印刷されるページの印刷方向は、用紙の向きによって異なります。

縦

横


— 出力オプション(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8/10.3.x)

このメニューでは、印刷ジョブをファイルとして保存することができます。

1 2

1) ファイルとして保存
印刷ジョブをファイルとして保存する場合にチェックします。チェックした場合は、「フォーマット」ドロップダウンメニューからファイル形式を選択します。

2) フォーマット
ファイルの保存形式を選択します。
- **PDF**：印刷ジョブをPDFファイルとして保存します。
- **PostScript**：印刷ジョブをPostScriptファイルとして保存します。

— スケジューラ（Mac OS X 10.3.x/10.4.x）

スケジューラメニューでは、いつ印刷ジョブを本機に送信するかを設定することができます。

1) 書類をプリント

印刷ジョブを本機にいつ送信するかを設定します。

- **今すぐプリント**：印刷ジョブを今すぐ本機に送信します。
- **後でプリント**：印刷ジョブを指定した時間に本機に送信します。これを選択した場合は、印刷ジョブを送信する時間を指定します。印刷ジョブは指定した時間またはMac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。
- **保留**：印刷ジョブをMac OSのキューに保留します。これを選択した場合は、Mac OSのキューから印刷ジョブの実行を操作するまでMac OSのキューに保留されます。

2) 優先順位

印刷ジョブの優先順位を選択します。「至急」、「高」、「中」、「低」から選択できます。

— 用紙処理（Mac OS X 10.3.x/10.4.x）

用紙処理メニューでは、逆順印刷や奇数ページまたは偶数ページ印刷を設定することができます。

Mac OS X 10.3.xの場合

1) ページの順序を逆にする
最後のページから順に印刷したい場合にチェックします。

2) プリント
すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

Mac OS X 10.4.xの場合

1) ページの順序
印刷するページの順序を設定します。
- **自動**：印刷ページの順序を自動的に選択します。
- **通常**：最初のページから順に印刷をします。
- **逆送り**：最後のページから順に印刷をします。

2) プリント
すべてのページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみを印刷するかを選択します。

3. 出力用紙サイズ
印刷する用紙サイズを設定します。
- **使用する出力用紙サイズ**：文書のサイズと同じサイズで出力する場合に選択します。
- **用紙サイズに合わせる**：変倍印刷をする場合に選択します。選択した場合は、ドロップダウンメニューで用紙サイズを選択します。選択した用紙サイズに収まるように拡大または縮小して印刷を行います。文書サイズより大きい用紙に印刷する場合に、拡大せずに印刷したい場合は、「縮小のみ」をチェックします。

— ColorSync（Mac OS X 10.3.x/10.4.x）

本機能はサポートしていません。

— 表紙（Mac OS X 10.3.x/10.4.x）

表紙メニューでは、印刷ジョブにバナーページを付けて印刷するかどうかを設定します。バナーページには、ジョブの所有者、ジョブ名、アプリケーション名、日付と日時、プリンタ名、部数などの情報が印刷されます。

1) 表紙をプリント

バナーページを印刷するかどうかを設定します。

- **なし**：バナーページ印刷を無効にします。
- **書類の前**：文書の前にバナーページを挿入する場合にチェックします。
- **書類の後**：文書の最後にバナーページを挿入する場合にチェックします。

2) 表紙のタイプ

「表紙をプリント」オプションで「書類の前」または「書類の後」を選択した場合に、挿入する表紙の種類を選択します。

3) 課金情報

バナーページに課金情報を印刷したい場合は、課金情報を入力します。入力できる文字数はOSのバージョンによって異なります。

— エラー処理

このメニューでは、PostScriptエラーが発生したときにどのようにエラーを通知するかを設定します。

1) PostScriptエラー

PostScriptエラーレポートを印刷するかを設定します。

- **特にレポートは行わない**：PostScritエラー情報を印刷しません。
- **詳細レポートをプリント**：PostScriptエラー情報を印刷します。

2) トレイの切り替え

このオプションは、本機ではサポートしていません。

— 給紙

このメニューでは、印刷に使用する給紙元を選択することができます。

1) 全体：

すべてのページに同じ給紙元または用紙タイプを使用する場合は、右のドロップダウンメニューで使用する給紙元や用紙タイプを選択します。「自動選択」、「自動（初期値）」、「カセット」、「普通紙」を選択した場合は、原稿と同じ用紙サイズのカセットから給紙します。「手差し」、「厚紙1」、「厚紙2」、「OHP用紙」を選択した場合は、手差しトレイに用紙を置いて印刷してください。

2) 先頭ページのみ：

先頭ページの印刷とそれ以外のページの印刷を別々の給紙元から行う場合に選択します。ドロップダウンメニューから先頭ページの給紙元を選択します。

3) 残りのページ：

ドロップダウンメニューから、先頭ページ以外のページの給紙元を選択します。「先頭ページのみ」ボタンが選択されている場合のみ選択可能です。

— ジョブタイプ(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)

このメニューでは、本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。

注 意

ジョブタイプメニューはMac OS X 10.2.4〜10.2.8では表示されません。Mac OS X 10.2.4〜10.2.8でジョブタイプを設定したい場合は、プリンタの機能メニューの印刷種別サブメニューで設定します。

📖 P.255「印刷種別(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8)」

1) 部門コード

印刷を実行するのに部門コードを必要とするかどうかを選択します。このオプションを有効にした場合は、右横のフィールドに５桁の部門コードを指定します。本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。使用する部門コードについては、管理者にお聞きください。

注 意

不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効(削除)となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。

2) 白紙は印字しない

白紙ページを印刷するか選択します。

3) 細線をはっきりと印刷する

細線をはっきりと印刷するかどうかを選択します。

— プリンタの機能（Mac OS X 10.2.4〜10.2.8）

このメニューでは、本機が提供する特殊な印刷機能を設定することができます。

印刷種別（Mac OS X 10.2.4〜10.2.8）

このメニューでは、本機が各印刷ジョブをどのように処理するかを設定します。

注 意

印刷種別メニューはMac OS X 10.3.x/10.4.xでは表示されません。Mac OS X 10.3.x/10.4.xで印刷種別を設定したい場合は、ジョブタイプメニューで設定します。

📖 P.254「ジョブタイプ（Mac OS X 10.3.x/10.4.x）」

1) **ジョブタイプ**
印刷ジョブの処理方法を設定します。
- **通常印刷**：通常の印刷を行います。（これ以外選択できません。）

2) **部門コード**
印刷を実行するのに部門コードを必要とする場合にチェックします。このオプションを有効にした場合は、部門コードメニューで５桁の部門コードを指定します。本機が部門コードで管理されている場合に、このオプションを有効にします。使用する部門コードについては、管理者にお聞きください。

注 意

不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効（削除）となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。

3) **細線をはっきりと印刷する**
細線をはっきりと印刷する場合にチェックします。

4) **白紙は印字しない**
白紙ページを印刷するか選択します。

印刷品質(Mac OS X 10.2.4〜10.2.8)
このメニューでは、さまざまなイメージ品質の機能を設定することができます。

1) ハーフトーン
ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。
- **自動**：画像部分は写真にあったハーフトーンで印刷し、文字部分は文字にあったハーフトーンで印刷します。
- **詳細**：ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**：ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

2) スムージング
文字やグラフィックをなめらかに印刷する場合にチェックします。

3) トナー節約
トナーを節約して印刷する場合にチェックします。

部門コード(Mac OS X 10.2.4～10.2.8)

このメニューでは、部門コードを設定します。本機で部門コードが有効に設定されている場合は、部門コードを設定します。部門コードを設定する前に、「印刷種別」メニューの「部門コード」オプションがチェックされているかをご確認ください。

注 意

- 部門コードメニューはMac OS X 10.3.x/10.4.xでは表示されません。Mac OS X 10.3.x/10.4.xで部門コードを設定したい場合は、ジョブタイプメニューで設定します。
  📖 P.254「ジョブタイプ(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)」
- 不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効(削除)となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。

1) 部門コード(1文字目)
部門コードの1桁目を選択します。

2) 部門コード(2文字目)
部門コードの2桁目を選択します。

3) 部門コード(3文字目)
部門コードの3桁目を選択します。

4) 部門コード(4文字目)
部門コードの4桁目を選択します。

5) 部門コード(5文字目)
部門コードの5桁目を選択します。

— プリンタの機能(Mac OS X 10.3.x/10.4.x)

このメニューでは、さまざまなイメージ品質の機能を設定することができます。

1) ハーフトーン

ハーフトーンをどのように印刷するかを設定します。

- **自動**:画像部分は写真にあったハーフトーンで印刷し、文字部分は文字にあったハーフトーンで印刷します。
- **詳細**:ハーフトーンを処理する密度を高くして印刷します。
- **スムーズ**:ハーフトーンの階調をなめらかに印刷します。

2) スムージング

文字やグラフィックをなめらかに印刷する場合にチェックします。

3) トナー節約

トナーを節約して印刷する場合にチェックします。

— 一覧

印刷ダイアログボックスの設定内容を一覧表示します。

UNIX環境から印刷する

アプリケーションから印刷する

印刷方法はご使用のアプリケーションにより異なります。アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

注 意

- 部門管理をしている環境で不正な部門コードを入力して印刷した場合、部門コードが不正であることを示すダイアログボックスが表示されます。この場合は、正しい部門コードを入力するか、送信を中止してください。このダイアログボックスが表示されなかった場合、送信ジョブは無効(削除)となり、本機にてエラーレポートが印刷されます。
- ページ数が多い文書やグラフィックを多用している文書を複数部印刷する場合、その印刷ジョブのデータサイズが本機のメモリ容量を超えてしまうと、指定した部数は印刷されず、文書1部とエラーレポートが印刷されます。

4

トラブルシューティング

本章では、印刷機能に対するトラブルシューティングについて説明します。

印刷を実行できない......262

プリンタドライバエラー......263

プリンタドライバインストールエラーメッセージ......263

プリンタドライバエラー......265

その他のエラー......268

印刷を実行できない

注 意

このエラーは、ハードウェアの故障、ネットワーク接続やネットワーク設定の不具合によって発生する可能性があります。クライアント側の障害と判断する前に、ハードウェアまたはネットワークに障害がないかを管理者にお問い合わせください。ハードウェアやネットワーク関連のトラブルシューティングについては、**クイックスタートガイド[印刷編]**を参照してください。

以下のチェックリストを参照して、問題の原因と実行すべき解決方法を特定してください。

クライアントエラー(Windowsプラットフォーム)

No.	チェック	はい	いいえ	参照ページ
1	印刷ポートは正しいですか?	完了	⇒	📖 P.265「不当な印刷ポート」

クライアントエラー(Macintoshプラットフォーム)

No.	チェック	はい	いいえ	参照ページ
1	作成した本機が、セレクタに表示されますか?	完了	⇒	📖 P.130「プリンタをインストールする(Mac OS 8.6/9.x)」

プリンタドライバエラー

プリンタドライバインストールエラーメッセージ

Windows NTファイルをコピーしてください

エラー詳細
プリンタポートダイアログから誤ったポートタイプが選択された。

対処方法
1. プリンタの追加ウィザードが終了するまで[キャンセル]をクリックします。
2. プリンタフォルダで「プリンタの追加」をダブルクリックし、プリンタの追加ウィザードを再度起動します。ポートの選択画面で「ローカルポート」を選択し、プリンタの追加を行います。

クライアントソフトウェアCDが必要です

エラー詳細
プリンタの追加を行っているときに、ディスク使用からプリンタを選択せず、プリンタの一覧からプリンタを選択した。

対処方法
1. プリンタの追加ウィザードを終了します。
2. プリンタフォルダで「プリンタの追加」をダブルクリックし、プリンタの追加ウィザードを再度起動します。プリンタの選択画面で「ディスク使用」をクリックします。
3. 「現在のドライバを使う」を選択して、現在のドライバのコピーを追加するか、またはインストールするプリンタのINFファイル(*.inf)のあるサブディレクトリを開きINFファイルを選択し、プリンタの追加を行います。

クライアントCDに*.DRVファイルがありません

エラー詳細
プリンタの追加を行っているときに、ディスク使用からプリンタを選択せず、プリンタの一覧からプリンタを選択した。

対処方法
1. プリンタの追加ウィザードを終了します。
2. プリンタフォルダで「プリンタの追加」をダブルクリックし、プリンタの追加ウィザードを再度起動します。ドライバを指定するときは、「ディスク使用」をクリックします。
3. インストールするプリンタのINFファイル(*.inf)のあるサブディレクトリを開きINFファイルを選択し、プリンタの追加を行います。

指定された場所にはハードウェア情報がありません

エラー詳細
ドライバをインストール中にINFファイルを指定したパス名が長すぎる。または、パス名の文字数が多すぎる。

対処方法
ローカルドライブにINFファイルを含むディレクトリをコピーし、インストールを行います。

このポートは現在プリンタが使っているので、削除できません

エラー詳細
ポートを削除しようとしたとき、ドライバが開いているか、印刷中か、もしくはポートが他のドライバで使用されている。

対処方法
ポートを削除する前に、すべての印刷ジョブが完了しているかを確認します。それでも削除できない場合は、すべてのアプリケーションを終了し削除してください。また、ポートが他のドライバで使用されていないかを確認してください。他のドライバで使用されている場合は、そのドライバのポートを変更してからポートを削除します。

現在のプリンタ設定は正常ではありません

エラー詳細
インストールが正常に完了していないため、ドライバ設定が正しく設定されなかった。

対処方法
ドライバを削除し、CD-ROMから再インストールしてください。

プリンタドライバエラー

不当な印刷ポート

エラー詳細
クライアントワークステーションのプリンタドライバが誤ったネットワークのポートに割り当てられている場合、最新ジョブキューに表示されず、印刷も行われません。

対処方法
1. コントロールパネルからプリンタフォルダを開きます。
2. 本機プリンタアイコンを右クリックします。
3. 表示されたショートカットメニューから「プロパティ」を選択します。
4. オペレーティングシステムに合わせて、以下のタブを選択します。
   - Windows 98/Me/2000/XP/Server 2003：[詳細]タブを選択し、プリンタまたはNovellキューを選択します。
   - Windows NT 4.0：[ポート]タブを選択します。新しいポートを追加し、プリンタに割り当てます。
5. プリンタへのネットワークパスおよび装置名が正しいかを確認します。
6. [全般]タブを選択し、[印字テスト]をクリックして、正しく印刷が行われるかを確認します。

コマンドラインオプションが処理されない

エラー詳細
すべての印刷オプションは、印刷ジョブの始めに本機へと送信されます。印刷ファイルがすでにプリントコマンドを含む場合は、そのプリントコマンドで設定したプリントオプションを上書きして印刷を行います。たとえば、印刷ファイルがA4サイズを指定している場合、lpコマンドでA3サイズを指定しても、印刷ファイルはA4サイズで印刷されます。

対処方法
印刷する文書のプロパティを再設定し、印刷ファイルを作成します。lpコマンドでオプション設定をせずに印刷ファイルの印刷を行います。

プリンタ設定の取り込みに失敗した

エラー詳細
プリンタのプロパティにアクセス中に、システムが「プリンタ設定の取り込みに失敗しました」を表示した。

対処方法
プリンタドライバは本機と通信できません。本機が動作しているかを確認してください。動作していない場合は、本機の電源を入れます。TopAccessを経由して本機に接続します。接続できない場合は、本機を再起動します。それでもなお失敗する場合は、プリンタドライバポートの割り当てを確認し、正しく割り当て直してください。

PS3ドライバで印刷したが、期待した結果が出力されない

エラー詳細
PS3プリンタドライバを使用してAdobe Acrobatなど印刷時にPostScriptコードを独自に作成するアプリケーションから印刷する場合は、以下の印刷オプションは正常に機能しないことがあります。
- 手動倍率
- 用紙サイズ
- 用紙タイプ
- 表紙挿入
- 裏表紙挿入
- マガジンソート
- Nin1
- 効果タブの全機能
- 画質タブの全機能

また、一部のアプリケーションでは文字化けなど、正しく印刷されない場合があります。

対処方法
PS3プリンタドライバで「PostScript設定」ダイアログボックスの「アプリケーションのPostScriptを優先」を無効にして印刷してください。

[フォント]タブ、[構成]タブがグレーアウトして操作できない

エラー詳細
[フォント]タブ、[構成]タブがグレーアウトして操作できない。

対処方法
コンピュータにプリンタドライバの設定を変更する権限を持ったユーザでログインしていない場合、[フォント]タブ、[構成]タブの操作を行うことができません。AdministratorあるいはPower Userでログインしてください。

AppleTalk印刷で印刷不良が出る

エラー詳細

- メール受信文書を印刷すると文字部分が帯状の棒として印刷される。
- ファイル印刷をすると、文字が出る部分と出ない部分がある。
- ブラウザから印刷すると、データは送られるが印刷されないことがある。

対処方法

AppleTalk印刷を使用した場合に上記内容の印刷不良が出る場合は、LPR印刷に変更してください。

その他のエラー

プリントスプーラに表示される日本語ファイル名が文字化けする

エラー詳細

Windows 98/MeでIPP印刷を行った場合に、プリントスプーラ画面上に表示される日本語ファイル名が文字化けする。

対処方法

プリントスプーラ画面に表示される文字が化けるだけであり、印刷は正しく行われます。OS上の問題であるため、対処方法は特にありません。

印刷できない

エラー詳細

Windows98およびWindows Meで、印刷できない場合があります。

対処方法

以下の方法で回避できることがあります。

1. [スタート]ボタンを押し、[設定]-[プリンタ]を選択します。
2. 「TOSHIBA e-STUDIO205 series PCL6」または「TOSHIBA e-STUDIO205 series PSL3」を選択し、右クリックしてプロパティを選びます。
3. [詳細]タブを開きます。
4. 「スプールの設定」ボタンを押します。
5. 「印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」を選択し、「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

5

付録

本章には、内蔵フォント一覧が記載されています。

内蔵フォント一覧 270
内蔵PCLフォント一覧 270
内蔵PSフォント一覧..271

内蔵フォント一覧

内蔵PCLフォント一覧

0	Courier	40	Helvetica-BoldOblique
1	CG-Times	41	Helvetica-Narrow
2	CG-Times Bold	42	Helvetica-Narrow-Bold
3	CG-Times Italic	43	Helvetica-Narrow-Oblique
4	CG-Times Bold Italic	44	Helvetica-Narrow-BoldOblique
5	CG Omega	45	Palatino-Roman
6	CG Omega Bold	46	Palatino-Bold
7	CG Omega Italic	47	Palatino-Italic
8	CG Omega Bold Italic	48	Palatino-BoldItalic
9	Coronet	49	ITC AvantGarde-Book
10	Clarendon Condensed	50	ITC AvantGarde-BookOblique
11	Univers Medium	51	ITC AvantGarde-Demi
12	Univers Bold	52	ITC AvantGarde-DemiOblique
13	Univers Italic	53	ITC Bookman-Light
14	Univers Bold Italic	54	ITC Bookman-LightItalic
15	Univers Medium Condensed	55	ITC Bookman-Demi
16	Univers Condensed Bold	56	ITC Bookman-DemiItalic
17	Univers Medium Condensed Italic	57	NewCenturySchlbk-Roman
18	Univers Condensed Bold Italic	58	NewCenturySchlbk-Bold
19	Antique Olive	59	NewCenturySchlbk-Italic
20	Antique Olive Bold	60	NewCenturySchlbk-BoldItalic
21	Antique Olive Italic	61	Times-Roman
22	Garamond Antiqua	62	Times-Bold
23	Garamond Halbfett	63	Times-Italic
24	Garamond Kursiv	64	Times-BoldItalic
25	Garamond Kursiv Halbfett	65	ITCZapfChancery-MediumItalic
26	Mrigold	66	Symbol
27	Albertus Medium	67	Symbol PS
28	Albertus Extra Bold	68	Wingdings
29	Arial	69	ITCZapfDingbats
30	Arial Bold	70	Courier Bold
31	Arial Italic	71	Courier Italic
32	Arial Bold Italic	72	Courier Bold Italic
33	Times New Roman	73	Letter Gothic Regular
34	Times New Roman Bold	74	Letter Gothic Bold
35	Times New Roman Italic	75	Letter Gothic Italic
36	Times New Roman Bold Italic	76	CourierPS
37	Helvetica	77	CourierPS Oblique
38	Helvetica-Bold	78	CourierPS Bold
39	Helvetica-Oblique	79	CourierPS BoldOblique

内蔵PSフォント一覧

AlbertusMT-Light	Eurostile-ExtendedTwo
AlbertusMT	Eurostile-BoldExtendedTwo
AlbertusMT-Italic	Geneva
AntiqueOlive-Roman	GillSans-Light
AntiqueOlive-Italic	GillSans-LightItalic
AntiqueOlive-Bold	GillSans
AntiqueOlive-Compact	GillSans-Italic
Apple-Chancery	GillSans-Bold
ArialMT	GillSans-BoldItalic
Arial-ItalicMT	GillSans-ExtraBold
Arial-BoldMT	GillSans-BoldCondensed
Arial-BoldItalicMT	GillSans-Condensed
AvantGarde-Book	Goudy
AvantGarde-BookOblique	Goudy-Italic
AvantGarde-Demi	Goudy-Bold
AvantGarde-DemiOblique	Goudy-BoldItalic
Bodoni	Goudy-ExtraBold
Bodoni-Italic	Helvetica
Bodoni-Bold	Helvetica-Oblique
Bodoni-BoldItalic	Helvetica-Bold
Bodoni-Poster	Helvetica-BoldOblique
Bodoni-PosterCompressed	Helvetica-Condensed
Bookman-Light	Helvetica-Condensed-Oblique
Bookman-LightItalic	Helvetica-Condensed-Bold
Bookman-Demi	Helvetica-Condensed-BoldObl
Bookman-DemiItalic	Helvetica-Narrow
Candid	Helvetica-Narrow-Oblique
Chicago	Helvetica-Narrow-Bold
Clarendon-Light	Helvetica-Narrow-BoldOblique
Clarendon	HoeflerText-Regular
Clarendon-Bold	HoeflerText-Italic
CooperBlack	HoeflerText-Black
CooperBlack-Italic	HoeflerText-BlackItalic
Copperplate-ThirtyTwoBC	HoeflerText-Ornaments
Copperplate-ThirtyThreeBC	JoannaMT
Coronet-Regular	JoannaMT-Italic
Courier	JoannaMT-Bold
Courier-Oblique	JoannaMT-BoldItalic
Courier-Bold	LetterGothic
Courier-BoldOblique	LetterGothic-Slanted
Eurostile	LetterGothic-Bold
Eurostile-Bold	LetterGothic-BoldSlanted

LubalinGraph-Book	Univers-CondensedBold
LubalinGraph-BookOblique	Univers-CondensedBoldOblique
LubalinGraph-Demi	Univers-Extended
LubalinGraph-DemiOblique	Univers-ExtendedObl
Marigold	Univers-BoldExt
Monaco	Univers-BoldExtObl
MonaLisa-Recut	Wingdings-Regular
NewCenturySchlbk-Roman	ZapfChancery-MediumItalic
NewCenturySchlbk-Italic	ZapfDingbats
NewCenturySchlbk-Bold	
NewCenturySchlbk-BoldItalic	
NewYork	
Optima	
Optima-Italic	
Optima-Bold	
Optima-BoldItalic	
Oxford	
Palatino-Roman	
Palatino-Italic	
Palatino-Bold	
Palatino-BoldItalic	
StempelGaramond-Roman	
StempelGaramond-Italic	
StempelGaramond-Bold	
StempelGaramond-BoldItalic	
Symbol	
Taffy	
Times-Roman	
Times-Italic	
Times-Bold	
Times-BoldItalic	
TimesNewRomanPSMT	
TimesNewRomanPS-ItalicMT	
TimesNewRomanPS-BoldMT	
TimesNewRomanPS-BoldItalicMT	
Univers-Light	
Univers-LightOblique	
Univers	
Univers-Oblique	
Univers-Bold	
Univers-BoldOblique	
Univers-Condensed	
Univers-CondensedOblique	

索引

数字

180度回転する 203

C

CUPS 159

L

LaserWriter 8 224
LPR印刷 23

M

Macintosh AppleTalk/Bonjour印刷
  Mac OS X 10.2.4～10.3.x 145
  Mac OS X 10.4.x 153
Macintosh AppleTalk印刷
  Mac OS 8.6/9.x 135
  Mac OS X 10.3.x 145
Macintosh IPP印刷 143, 151
Macintosh IP印刷 140, 148
Macintosh LPR印刷 131

N

Nin1印刷 217
Novell iPrint印刷 26
Novell印刷 25

P

PCL6プリンタドライバ 11, 20
PostScriptエラー 252
PostScriptエラーが起きた場合 234
PostScriptエラー情報を印刷する 207
PostScriptプリンタ記述ファイル 129
PPDファイル 12, 136
PS3プリンタドライバ 11, 20

T

TCP/IP 22
TrueType設定 208
Type 42フォーマットを作成しない 231

U

UNIX 159
USB接続 22

あ

アプリケーションのPostScriptを優先 207
アンインストール 122

い

一般設定 228
印刷オプション 167, 190
印刷種別 236, 255
印刷ジョブ 210
印刷の向き
  Windows 194
印刷品質 256
印刷部数 194, 212, 213
印刷部数と印刷ページ 243
印刷方式 194
インストール
  IPP印刷 67
  Novell iPrint印刷 121
  Novell印刷 87
  Raw TCP/LPR印刷 38
  USB印刷 28
  Mac OS 8.6/9.x 130
  Mac OS X 10.2.4～10.4.x 136
インターネット接続 24

う

ウォーターマーク 201, 219, 237
ウォーターマーク設定 237
裏表紙挿入
  標準ウィンドウ 199

え

エラー処理 252

お

オーバーレイファイル 202, 222, 223
オーバーレイファイルを作成する 210
オプション構成を設定する 176

か

拡大縮小 227, 241
[画質]タブ 200
画質 238
カセット 209
簡易設定 187, 192

き

[基本]タブ 192
給紙 253
給紙方法 193
鏡像 203

く

グループ 195

け

原稿サイズ 193, 213
原稿の上に印刷 203

こ

[効果]タブ 201
[構成]タブ 178, 180, 209

さ

最初のページのみ印刷する 202
細線をはっきりと印刷する
  .... 200, 236, 254, 255
作業記録 234
作業記録処理 234
作業記録フォルダ 234

し
自動更新 180
自動両面ユニット 209
出力オプション 247
出力形式 206
手動倍率 193, 214
ジョブタイプ 236, 254, 255
処理方法 230
書類をプリント 248

す
スケジューラ 248
スムージング 200, 238, 256, 258

せ
製本 246

そ
双方向通信を使用する 180, 209
ソート 195

た
対象プリンタ 227, 241
縦横交互 195

ち
置換テーブル編集 208
丁合い 228, 243

と
とじしろ 233
トナー節約 238, 256, 258
トレイの切り替え 252

は
ハーフトーン 200, 238, 256, 258
[排紙先/挿入]タブ 198
バックグラウンドプリント 230
反転 203

ひ
ビットマップを圧縮する 207
必要条件
　Macintosh 129
　Windows 21
必要なフォントを常にダウンロードする 231
表紙 235
表紙挿入
　標準ウィンドウ 198, 215
表紙の給紙元 235
表紙のプリント 235
標準に戻す 192

ふ
ファイルとして保存 247
[フィニッシング]タブ 194
封筒の種類 14
封筒に印刷するには 15
フォーマット 247
フォントキーに注釈を付ける 231
フォント設定 231
[フォント]タブ 207
部数 228, 243
部門コード 181, 182, 254, 255, 257
プラグアンドプレイ
　USB印刷 28
プリンタドライバ 20
プリンタの機能 255, 258
プリンタの追加ウィザード
　Novell印刷 101
　Raw TCP/LPR印刷 52
プリント時刻 230

へ
ページ数/枚 244
ページ属性 227
ページの順序を逆にする 249
ページ割り付け 232
ヘルプ 192
変倍印刷 213

ほ
ポイントアンドプリント
　Novell印刷 93
方向 227, 241

ま
マガジンソート印刷 216

も
文字を黒で印刷する 200

ゆ
優先順位 248
優先フォーマット 231

よ
用紙サイズ 193, 213
用紙処理 249
用紙タイプ 194
用紙の種類 13

り
両面印刷 195, 214, 246
両面にプリント 232
両面にプリントする 246
両面プリント 245

れ
レイアウト 232, 244
レイアウト方向 232, 245

わ
枠線 232, 245

GA-1190J
OMJ060178B0

東芝デジタル複合機
印刷ガイド

GA-1190J

＜開発・製造元＞
東芝テック株式会社
＜販売元＞
東芝テックビジネスソリューション株式会社

R061120D0502-TTEC
Ver02　2008-06

© 2007, 2008 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved